

副島隆彦編・著

Traveling to The World of Mary Poppins

### 副島隆彦

(そえじま・たかひこ)

1953年生まれ。早稲田大学法学部卒業。 評論家。現在、常葉学園大学助教授。 著書に『斬り捨て御免!』(洋泉社)『欠 陥英和辞典の研究』(小社刊)『英語 で思想を読む』『現代アメリカ政治 思想の大研究』『英文法の謎を解く』 『続・英文法の謎を解く』(いずれも、 筑摩書房)、『属国・日本論』(五月書房)、 『政治を哲学する本』(総合法令)、『小 室直樹の学問と思想』(共著、弓立社)、 『日本の危機の本質』(講談社)、『ア メリカの秘密』(メディアワークス)、『悪 の経済学』(祥伝社)、翻訳書として『リ パータリアニズム入門』(デイヴィッド・ ボウツ著、洋泉社)などがある。

カバーデザイン: HOLON イラストレーション: 藤川秀之 本文・目次レイアウト: S&P

## 道具としての英語 基礎の基礎

副島隆彦 編·著



宝島社 文庫

宝島社



# 基礎がわかれば 英語はむずかしくない!

この本は、英語嫌いのために作られた、まったく新しい 考え方にもとづいたテキストです。

ここでいう 、英語嫌い、とは、根っから英語が嫌いな人のことではありません。英語を身につけようという意欲はあるのに、勉強をはじめたら英語が嫌いになった人、つまり、学校の英語の授業のせいで英語嫌いにさせられた人、そんな人のことを私たちは英語嫌いと呼んでいるのです。

というわけで、この本は、英語を勉強していて英語が嫌いにならないように気をつかって作られているのです。でも、断わっておかなくてはなりませんが、この本はラクチンをして英語が上達する本なんかではありません。英語であれなんであれ、外国語を学習するのは、苦労がつきものです。努力が必要です。ラクして英語が身につくなんて宣伝してある本があったら、そんな本はウソをついていると思って間違いないのです。

そこで、この本のことをもう少し正確にいうと、努力すればそれだけ実力が向上し、しかも英語を勉強するのが楽しくなる本。あるいは、努力が報われる本ということにな

ります。

もう少し、このテキストについて〝宣伝〟させてもらう ことにしましょう。

1 この本は、英語の基礎の基礎について扱っています。 いまの学校の英語のカリキュラムでいえば高校1年までに学習する範囲をカヴァーしています。そして、高校1年までの英語の授業を完全に理解してしまえば、英語学習はぐんとラクになります。つまり、英語の基礎が身についたと言えるのです。間違えないでください。この本は、英語の初歩を扱っているのではないのです。初歩と基礎は違うのですから。

というわけで、この本の内容には、少しむずかしいかな と思えるところもあるかもしれませんが、基礎を身につけ るためには、やはり、少し苦労してもらわなくてはなりま せん。しかし、苦労のしがいはある、と私たちは信じてい ます。

2 この本は、P.L.Traversの『メアリー・ポピンズ』をテキストにしています。しかし、『メアリー・ポピンズ』の原作ではなく、それを900語レベルのやさしい単語によって書き直したオックスフォード大学出版局版にもとづいています。したがって、テキストにはむずかしい単語はまず出てきません。しかし、高校まで6年間英語を



勉強してきたとしても、この物語をきちんと読める人は非常に少ないのが現実なのです。単語はやさしいのに英語が 読めないという事実、これが私たち日本人の実情なのです。

ということは、つまり、むずかしい単語とかやさしい単語とかが大きな問題なのではない。英語を学習するうえでは、単語の難易度といったこと以上に、いろいろな壁があるのだということになります。

最大の壁はなんといっても、日本語と英語とでは、そもそもコトバのしくみが根本的に違っているのだということです。使用される文字、発音のしかたもひっくるめて、とにかく英語は、日本語とはまったくしくみの違うコトバなのです。だから、私たちは単語のスペリングや意味を一つ一つ理解し覚えなくてはならないし、耳をならす訓練もしなくてはならない。脳ミソだけでなく、口や耳などの身体器官も動員して勉強しなくてはならないのですが、同じように、英語がどういうしくみのコトバなのかということを理解する。つまり、英語文法についても勉強していかなくてはならないのです。

3 ところが、この英語文法がなんともやっかいなもので、学校や英語検定などの試験のほとんどは、この文法の理解の度合いをためすことになっていることもあって、たいがいの人は、英語文法のせいで英語が嫌いになってしまいます。

そこで、英文法なんてものがあるからいけないのだ。あ んなものをやめて勉強しよう――などと言う人も出てくる のですが、それは間違っています。そういうわけにはいか ないのです。しくみが違うコトバを学ぶには、そのコトバ のしくみを理解することが必要だし、それが要するに英語 文法なのですから。

だから、この本でも文法について書いてあります。でも、 学校の先生たちの説明とは違うところもあります。少なく とも、学校の先生の説明よりずっとわかりやすいし、納得 できるはずです。試験で苦しむことも少なくなるはずです。 この本に入っている \*基礎の基礎 。の英語文法はぜひマス ターしてください。

この本の英語文法の説明は、日本語文法についても配慮 しながら、あくまで日本人が英語を勉強するのだ、という 立場からなされています。これまでに、そんな本はなかっ たのです。

### [この本の使い方]

この本は、別冊宝島49号『道具としての英語 基礎の基礎』を改訂したものです。改訂にあたって、3章、4章、5章を削除し1章、2章を読みやすくわかりやすいものに大幅に組み替えました。生まれかわった本書を、気楽にお楽しみください。

- ●まず、テキストページ左の英文を読む。右ページの訳文 は見ないこと。辞書を引いてもよいから、自分の力で読ん でみよう。必要なら各用語解説を参考にしてください。
- ②おおよその意味がつかめたら、まず原文に忠実に訳してみよう。最初からなめらかな日本語訳にしようとしないこと。文法的に考えて、なぜそう訳せるのか理解できないのに、なめらかな日本語に訳そうとすると、必ず中途半端な訳、つまり、いい加減な訳(誤訳)になってしまう。
- ❸自分の力で原文に忠実な訳ができたら、テキストの マークの訳文と見くらべてみよう。
- ●自分の訳した文と マークのガチガチ訳を見くらべて、自分の誤った部分を、もう一度英文に帰って確かめてみよう。

- ⑤なぜその英文が ペークのようになるのかがわかっ たら、ペラマークの訳文を読んでみよう。この訳は原文 に忠実に訳した日本文をふまえて日本語らしく訳したもの だ。ミマークの訳文で太い字になっているところは、 かなり意訳してあるところだ。「 ] (カッコ) のなかに入 っている文は、原文には書かれていない、裏に隠れている 意味が補ってある。
- ⑥さて、◎ マークの、日本語としてなめらかな訳にな った文章を読んでみて、もう一度、自分の訳した訳文と読 みくらべてみる。原文に忠実に訳した訳文がどのようにし てなめらかな日本語に訳されるかを考えてみよう。
- **②**とくに英文で注意が必要な部分には解説をつけてみた。 英文が原文に忠実な訳からなめらかな訳になるまでのしく みが理解できるだろう。
- ●この本で原文に忠実な訳と日本語としてなめらかな訳を 並べたのは、なめらかな訳が訳した人の気分や創作力でつ くられたものではないことを、わかってほしかったからで す。英語の原文に忠実にとりくむことが、英語を日本語に 訳すときのもっとも重要な点であることを、くれぐれも心 にとめておいてほしい。英文を左から右にフィーリングで 読んでしまうことが英文を誤って読んでしまう大きな原因 にもなるのです。



#### ■道具としての英語 基礎の基礎 目次

# INTRODUCTION 基礎がわかれば英語はむずかしくない……3



# East Wind [東の風] 風の強いある日、桜の木通りの小さな家に

不思議な保母さんがやってきた・・・・・19

- ①英文を読み解くために 日本語の「て・に・を・は」を身につける…… 15
- ②命令文がきたら、必ず youを補え……25
- ③ be 動詞はソコにソレがあるということなんだよ……28
- ④ here, there は「ここ」「あそこ」ではない……31
- ⑤ひっくりかえっている文章は元の語順に直せ! …… 35
- ⑥桜の木がダンスする。 えっ!?英語的な言いまわし!?……37
- ⑦either~orを熟語として覚えるな……45
- ⑧ can には三つの意味がある。知ってた? …… 46
- ⑨助動詞になりつつある動詞たちneed 他……49

⑩知覚動詞は英文のなかで どんな使われ方をしているのか69
①文頭にくるItは日本人にはよくわからない70
② out of と from は 同じ「から」なのに全然ちがう77
③ as~asの前のasは副詞、後のasは接続詞79
⑭「見る」と「見える」では天地の差81

- ⑤動作を表わす動詞と 状態を表わす動詞の違い……84
- ⑥形容詞は名詞を飾るコトバ 副詞は動詞を飾るコトバ …… 93
- ⑦疑問形をつくる 疑問副詞の働きを理解しているか?……96
- ®不定詞のほんとうの性格を知れば、 もっと前進できる……100
- ®ifを「もし~ならば」とだけ覚えてはいないか? ····· 112
- ②ofという不思議な前置詞を 理解するのはむずかしい……115
- ②時間の幅を持つ動詞たち、 hold, keep, put, stay ····· 125
- 20 letという使役動詞の使い方を覚えよう…… 131

(A)
❷ have を「持つ」とだけ知っててもダメ·····140
❷whatとは先行詞を食べている関係代名詞151
⑤これだけは覚えておきたい 重要接続詞の使い方166
❸分詞構文はむずかしくない172
②関係代名詞というのは、 二つの文章をつなぐ品詞185
2012 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019
<b>2</b> Laughing Gas [笑いガス] メアリー・ポピンズの叔父さん、 ウィッグさんの部屋でおこった、笑いガス事件 天井からウィッグさんがあいさつする——223
❷「使役」って何のこと? ⋯⋯232
⑩現在分詞と動名詞、 形は同じなのにどこが違うんだ236
③英語の気取った言い回しだって スラスラ読める244

②形容詞の more と

副詞のmoreの違いがわかる? …… 252

33一見、	名詞に見え	てしまう晶	削詞たち
home,	upstairs,	back なと	268

- 図感嘆文のしくみは、こんなにカンタン! ……306
- ⑤ that をどう訳すかでキミの読解力が試される……318
- 36 Thank you よりも You are kind の方が好感がもてる……320
- ⑦ withというコトバは 「して」「で」という言い方を表わす……338
- 38五文型っていったい何なんだろう?……357
- 39動詞の後についたup や on や off は前置詞じゃない! ……381

文庫版のためのあとがき……397

### Point 1

### 英文を読み解くために 日本語の「て、に、を、は」を身につける

英文を日本文に訳すときいちばん大切なことは日本語の 助詞「は」「が」「に」「を」「と」「で」をしっかりと訳し 出すことです。私たちが学校英語で必ず習う「五文型」理 論 (これは、C.T.Onionsという学者の考えです)と私た ちの日本語の助詞の用法の間に、かなり強固な関係がある からです。「五文型」の考えが教育英語の中で重要視され るのは、日本語のしくみが英語の「五文型」の考え方を採 用することによって初めて英語と共通性を持つことが分か っているからです。このことは、私たちが初めに学校で習 った逐語訳(直訳)の仕方の中に表われています。学校訳 にも一定のルールがあったのです。そして、その学校訳 (この本では原文忠実訳/ガチガチ訳と呼ぶことにしまし た)がしっかりできるようになることがまず、英文を読め るようになるための第一歩なのです。そしてその訓練が十 分にできてから意訳(なめらかな訳)へと向かうことがで きるのです。この本では二つの訳を並べて見ることによっ て英文が日本文に置き換わる際の法則性の発見ということ を主眼に置いてみました。

〈例題1〉

I like vou.

を、私たちは普通「私はあなたの好きだ」とやりますが、 正確には「私はあなたの好きだ」となるでしょう。この 「を」がやがて「が」になってしまうことに大変な秘密が かくされているのです。

〈例題 2〉(本書 2-06-A ●)

There was no time to  $\underbrace{\text{send}}_{V} \underbrace{\text{you}}_{O} \underbrace{\text{a postcard,}}_{O} \text{ and } \underbrace{\text{ask}}_{V} \underbrace{\text{you}}_{O}$ 

to come another time.

C

#### 〈原文忠実ガチガチ訳〉

あなた©ハガキ②送るため②時間②そしてあなた◎別の時間②来ること②頼むための時間②なかった。

#### 〈情景把握なめらか訳〉

君©ハガキ⑥出し⑦別の日に来てくれるよう©②連絡する時間砂なかったのだよ。

二つの訳を対比する前に、私たちは、まずどうしても原文忠実訳の方を正確に訳し出せるようにならなければなりません。この努力を抜きにして英語が「できる」ようになることはありえないと思うのです。外国で少年期を過したという特別な体験を持った人でなければ、「日本語という壁」を通り抜けるということはできないでしょう。しかしそういう子供たちは、今度は逆に日本語の方がおかしくなっているようです。つまり、bilingual(バイリンガル、二カ国語を自由に使える人)や polyglot (ポリグロット、

多国語を自由にできる人)というのはありえないのではな いか、とこのごろ私は疑っています。

現在、日本人の同時诵訳者として活躍している人々は、 ほとんどが、私たちと同じようなふつうの生活環境から出 てきて、人の何倍もの努力と苦労をして英語(外国語)を 勉強した人たちなのです。

まずこの国ではとにかく英語の勉強は試験勉強として存 在しているのだという悲しい現実を直視し引き受ける正直 さから始めるしかないのです。

〈例題3〉

Could they call for me in the office today?

S V

I want them to take me out for tea.

S V O

It would be very nice for me.

V S C

この例文は文法的にもかなり複雑な構造をしています。 皆さんが細かい点までしっかりと理解しているかどうかを 検査するのが日本の英語勉強の大きな目標になっているの です。例えば want them to take me という箇所をサラ リと意訳すると大変な誤まりを犯すことになるということ に気づいてください。

原文忠実訳	なめらかな訳
彼らは今日、事務所に私に	子供たちを今日私の会社に
立ち寄れますか。	寄こしてくれないかな。
私は彼らに私をお茶のため	子供たちが私をお茶にさそ
に外に連れ出すことを望む。	うようにしてほしいんだ。
それは私にとって非常によ	その方が私にはいいのだ。
いことでしょう。	

ここでは、二つの訳文(訳は他にも何通りもありえますが)の中の主要な助詞がどう変換したかということを明確にするために両者を線で結んでみました。この相互関連の強さにナルホドと思っていただければ、この本の目的の8割は達成されたのだと私は考えています。

さらに念のために言うと皆さんが「意訳してもいいのですか?」と先生に質問して「やっぱりだめです。きちんと逐語訳しなさい」と言われた経験があるとすれば、それは、逐語訳には逐語訳なりの秀れた面があるからです。それは、その逐語訳文からふたたび英語の原文がほぼ再生されるという点があるからです。そして、この本でも決してなめらかな意訳だけが必ずしも良いのではないということはつねに心に留めて置いてください。いい加減な意訳がどんなに危険かということがわかるようになったとき初めて皆さんは、母国語と外国語の異なった世界に橋を架けることができるのです。



風の強いある日、桜の木通りの小さな家に 不思議な保母さんがやって来た



● If you want to find Cherry Tree Road, ask the policeman at the corner.

2 He will listen, slowly touch his nose, and then point his big finger and say, 'First to your right, second to your left, then right again, and you're there. Good morning.'

#### Good morning.

ここを「おはよう」と訳してしまったら意味が通じない。 道案内の最後に付けたされた、あいさつのようなものだから、 「お気をつけて」といった感じ。

**3** And there you will be, right in the middle of Cherry Tree Road.



#### 1-01-B〔ガチガチ訳〕

- ●もしあなたが桜の木通りを 捜したいなら、角のところ の警官にたずねろ。
- ●彼は聞くだろう、ゆっくりと彼の鼻をさわって、そしてそれから彼の大きな指でさして、そして言うだろう。「最初にあなたの右に、二番目にあなたの左に、それから右にもう一度、そして、あなたはあそこにいる。おはよう」

❸そして、あそこにあなたはいるだろう。まさに桜の木通りのまん中に。



#### 1-01-0 なめらか訳

- ●あなたが、桜の木通りはどこだろうとお捜しでしたら、あの角のところにいるおまわりさんにたずねてごらんなさい。
- ●おまわりさんは、[あなたの質問に] 耳をかたむけ、軽く鼻にさわって、それから大きな指で指さしながら、教えてくれるでしょう。 「一つ目の角を右、二つ目の角を左、それからもう一度右に、そこがあなたのお捜しのところです。お気をつけて」

●そして、やがてそのうちに、あなたはそこにたどりつくでしょう。 桜の木通りの中ほどに。 The houses run down one side, and the Park runs down the other side.

#### The houses run down one side,....

runは広い意味を持つ、むずかしい動詞だが、基本としては「動く、動かす」「続く」「なる」の三つぐらいを覚えておけばいい。いちばん初めに「走る」なんて覚えこんでしまうと(ふつう、そうなんだけど)、あとがやっかいだ。たとえば、「動く」と「続く」を重ねれば「走る」という意味は導き出せるわけだからね。そうすれば、ここを「家々が走りおり」てしまうなんていう、さっぱりわからない訳をすることもない。家々が「続く」つまり「並んでいる」、そして、公園が「続く」→「広がっている」となるわけだ。

**6** And the cherry trees dance right down the middle.



#### 1-01-B「ガチガチ訳」

おり、そして公園がちがう 側に走りおりている。



#### 1-01-C「なめらか訳」

④家たちがひとつの側に走り ●通りの片側には家が並び、反対 側には公園が広がっています。



い下のまん中で踊っていた。

並木がその名のとおりに揺れてい ます。

#### 1-01-D

物語は読者に対する呼びかけのyou から始まる

If you want to find Cherry Tree Road, (1-01-A ●) 「あなたは、桜の木通りをお捜しですか?」

さあ、この物語のはじまりだ。まずこの英文はこの物語の「観客」である皆さんを、この物語の舞台となるある家庭に運ぶ。その家を捜している「あなた」は読者である皆さんひとりひとりだ。まるで映画撮影のロケーションでクレーン付きの映写機が高角度から接近して来て「あなた」つまり読者である皆さんにズーム・アップ(zoom up)するように。

時代は19世紀中頃,大英帝国が繁栄を極めたビクトリア女王時代,場所はロンドンの山の手の住宅街だ。

そこで「あなた」Youは、おまわりさん(イギリス人は ふつう親しみを込めて bobby と呼ぶ)に道をたずねる。「なるほど桜の木通りのお宅をお捜しですか」おまわりさんはちょっとだけ考えてから「あなた」にその通りの方角をていねいにしかし威厳をこめて教えてくれる。ヨーロッパの都市では住宅の住所表示は「何々通り何番地」あるいは「何々広場何番地」というふうになっている。そしてその「番地」は通りの片側ずつが各々の偶数と奇数で並んでいる。つまり17番地の次の18番地の家はちょうど通りに面して向かいにある。そうやって順々に通りの端から番地がついている。

#### And there you will be.... (1-01-A 3)

さて「あなた」は、その通りの中のある家の前に着くこ とになる。この家はバンクス家the Banks だ。ここから 「あなた」の眼は、こんどはこの家の壁を映写機 (カメ ラ・アイ)といっしょに通り抜けてこの家の人々のあわた だしい朝の様子をながめることになる。

バンクス家の主人バンクス氏は、銀行勤めの紳士だ。そ してバンクス家は、この通りでは一番小さな家だが、それ でも、イギリスの中産階級 middle class の家というのはど っしりとしたそれ相応のお金持ちの家なのだ。私たちの日 本語の「中流家庭」とはちょっと意味がズレてしまう。

### Point 2

### 命令文がきたら、 必ず You を補え

ask the policeman.

おまわりさんにたずねなさい。

この場合、askが動詞であるとすぐにピンときたら、す かさず、その前にYouを補うのです。つまり、You ask the policeman, 「あなたはおまわりさんにたずねる」とい うふうにキチンとした元の文章に戻す癖をつけるようにし ましょう。そうでないと、いつまでたっても、命令形の文 章が見分けられるようになりません。このことは英文を正 しく読み取ろうとする訓練の第一歩なのです。

そしてYou を補った後に、心の中で、「おまわりさんに

たずねろ!」というように、きびしい命令口調で、つぶやいてみるのです。これで「命令形の文」と友だちになれましたね。

1	You	Use your head! (自分の頭で考えろ!) use your head! (自分で考えろ!)	
2	You	Get up! (起きろ) get up! (起きろ)	
3	You	Come home! (家に帰って来い) come home! (家に帰って来い)	

このテキストの中にもたくさんの命令形の文(文法的に正しく言うと命令法といいますが)があります。その文章の頭にどんどん You を書き込んでいきましょう。

このように、英文には必ず主語がある、というのが大原 則です。ということは命令形の文というのは、主語のない 文という形をした表現法であるわけです。このことを逆に 言うと、私たちが英文を読んでいて、主語のない文で唐突 に動詞から始まっているような文に出会ったら、それは命 令形の文なのだ、と考えればいいわけです。そのように信 じて99% まちがいないのです。

ところが、例外というものは必ずあります。コトバの使い方という、たいへん人間くさい世界には例外があるのです。それは、私たちがあまりによく知っている二つの言い方の中にあります。そのひとつは、

Thank you. (ありがとう)

という文です。(これだけで立派に文なのですよ)これは、 本来は.

I thank vou. (私はあなたに感謝する) であるわけです。この場合は、命令形の文ではないので、

頭にYou を補うことはできません。どうしても I (私は) でなればなりません。

そしてもうひとつは.

See you again. (さようなら)

これも、もともとは、

I see you again.

(また、お会いしましょう)

なのです。これも I (私は) が省略された形なのです。主 語が省かれているのに命令法でない用法は、極めてまれで すし、ちょっと気づく範囲では上の二つぐらいですので、 これ以外は、すべて主語You が省略されているのだ。と 考えてまちがいないでしょう。

### Point 3

## be動詞はソコにソレがある ということなんだよ

...and you are there.

そうしたら、あなたは、そこに着いていますよ。

You are there.の are つまり be動詞について考えてみましょう。

I am.

You are.

He is.

We are.

They are.

これらのうちのどれで考えてもいいのですが、とりあえず、ここでは、He is.でやってみましょう。

- ① He is. (彼はいる)
- ② He is | in the room.

(彼は部屋にいる)

- ③ He is | in the chair. (彼はイスに座っている)
- 4 He is | at the desk.

(彼は机に向かっている)

- ⑤He is | in the dark. (彼は暗やみの中にいる)
- ⑥He is | in (the) bed.(彼はベッドのなかにいる)
  - → (彼は寝ている)
- ⑦He is | at the window. (彼は窓のそばにいる)
- ⑧ He is | in spectacles.(彼はメガネをかけている)
- ⑨ He is | in trouble.(彼はトラブルのなかにいる)
- → (彼は悩んでいる)

  ® He is | in love
- (彼は恋をしている)
- ①He is | in good health. (彼は良い健康状態だ)
- ②He is (dresses) | in black. (彼は喪服を着ている)
- ③ He is | in. (彼はナウい)
  (He is inthing.) (彼はナウい)

(このinは、私たちが何気なく使っているナウいというコトバに相当します。他にも He is with it. これもナウいです。このin やwith はもはや前置詞ではなくて、副詞なのです。前置詞と副詞はよく似ているのに、どうちがうのかについては、ポイント図を読んで下さい。p.381)

このように、He is + in (onでも with でもfor でも何で

もいいのですが)という形で考えてみると、逆に、He is の is というコトバの働きが、わかってきますね。つまり、この is というのは、「存在」(在るということ)を表わしているのです。彼が居る、ということ、たったそれだけのことを表わしているのです。このことに気づくと、英語のなりたちということが、少しずつ、わかってきますよ。

そうすると

He is **good** . (彼はいい) 形容詞

He is **smiling** . (彼は笑っている) 現在分詞
現在進行形の文

He is **killed** . (彼は殺された) 過去分詞
受動態の文

He is **a boy** . (彼は少年です) 名詞

He is **upstairs** . (彼は2階にいる) 副詞

というような、他の形になった場合でも、実は、はじめの 例文と全部おなじようなしくみをしていることがわかって くるのです。「現在分詞」や「過去分詞」というなんだか とってもむずかしそうな品詞についても、ここから理解の 糸口をつかんで下さい。

このようなHe is... の型の文章を、「文型」という基本的な考え方の面から見つめてみると、すべて、第 2 文型 (S+V+C) というふうに考えることができるのです。

### Point 4

### here, there は 「ここ」「あそこ」ではない

here と there というコトバの中には、 場所を指し示す at や in や to の意味が含まれる。 だから here と there は「ここに」、「あそこに」なのだ。

...and you are there.

は,「そうしたら, あなたは, そこに着いていますよ」と 訳すのが正確な訳です。

さて.

You are there.

(あなたは、あそこにいる)

I am there.

(私はあそこにいる)

He is there.

(彼はあそこにいる)

のthere という語のしくみはどうなっているのかをここで, 考えてみましょう。

その前に,

I go to school. (私は学校に行く)

I go to the park. (私は公園に行く)

この二つの例文の場所を示している部分をthere という語で置き換えてみましょう。

そうすると, どちらも,

I go to school.

I go there (私はそこに行く)

I go to the park.

I go there (私はそこに行く)

という形になりますね。このthere 「そこに」というコトバは、go to の to を食べてしまって内部に含んでしまっている語なのです。だから、ただの「学校」とか「公園」だけを代名しているのではないのです。前置詞の to の分までも代理しているわけです。このことは、英文のしくみを考える上でたいへん、重要な点です。

だから、初めの、You are there.も、You are in the street. (あなたは道にいる) とかYou are at Tokyo. (あなたは東京にいる) のように具体的に場所を示すことができるわけです。その場合も in や at という前置詞を there が含んでいることを忘れてはいけません。これらの文の are (be動詞) は、

You arrive at the street.

(あなたは道につく)

You live in the house.

(あなたは家に住む)

You come to the house.

(あなたは家に来る)

You go to the place.

(あなたはその場所に行く)

のように、他の一般動詞に置き換えて考えることもできる

のですね。

このように、there (あるいはhere) というコトバは、

I am there. (私はそこにいる)

I am in the place. (私はその場所にいる)

というふうに、まとめて考えることができるのです。した がって、

here = in this place

there = in that place

なのです。つまりこのhereとthere は、たった一語ですが、副詞という品詞なのです。(副詞についてはポイント lbp.93を参考にして下さい)

そしてこのhere, there と対等の関係にある in the place という三語のひとかたまりで、文章の構造上は、副詞句(adverbial phrase)と言います。かんたんに言うと、ひとつの文章を金魚に例えれば、その金魚のフンのように、くっついている、文章のふうくのようなものですね。もっとも、金魚のフンだからといって大切ではないというわけではありません。文章の内容の点から言うととても大事な部分なのです。したがって、

	I 主語	go 動詞	to the station 場所を表わす 副詞句	at 10 o'clock in the morning. それぞれが時間を表わす 副詞句
(私は朝の10時に駅に行く)				

ふつうの英文ならこういうしくみをしているわけです。

there (場所を表わす副詞)

to the station (副詞句)

このような構造を見てとることができますね。

ふつう皆さんは、I go to school. やI live in the house. を、go to とか live in というふうな区切り方をして、それらを「熟語」のようなものだと、そのように覚えなさいと学校では教えられることが多いので、to schoolとか in the house をひとまとまりに考えるという区切りのつけ方をしていません。このことが、あとあとで、英語の勉強の上で、大きな障害になってくるのです。live in/the house 「~に住む」という区切り方よりも、live/in the house という区切り方の方が、英文のしくみという点を考えるうえでは、より根本的であることをそろそろわかってほしいと思います。

さて、この there や here という語が、さらに発達して、where「どこに」というコトバになっていきます。形からしてよく似ているでしょう。この where を「疑問副詞」とか「関係副詞」とか言いますが、その説明については、ポイント団(p.96)をしっかり読んで下さい。なぜ here、there だけでなく where というコトバまでも「副詞」なのか、これでわかってもらえたことと思います。同じように考えると時間を表わす、副詞句 at the time は、then「そのとき」という副詞に置き換わり、これが発達して、when「いつ」「~のとき」という「疑問副詞」「関係副詞」になるのです。コトバの勉強というのは、このように、大切なことをうまくまとめ上げてゆくように考えることが大切なのですね。

# Point 5

# ひっくりかえっている文章は 元の語順に直せ!

And there you will be.

そして、あなたはそこにいるでしょう。

この文章は、And you will be there. というふうに書き直すことができます。there 「あそこに」という副詞が強調されたために文章の頭にはみ出していたわけです。このような、語の順序がひっくり返っている文章を、倒置の文(inversion)と言います。

倒置の文は,英文では時々出てきます。語順が,わざと ひっくり返されているために私たち日本人は,まず,とま どいを感じます。しかも文章の冒頭でそうなっていること が多いのです。

倒置の文がきたら、必ずその文章の語に区切りをつけて、 例えば、

So do I. So/do/I. ③ ② ①

I do so.

 $\widehat{1}$  $\widehat{2}$  $\widehat{3}$ 

「私もそうするよ」は区切り線を入れて その次に小さな数字を下につけて、元の 語順に直す作業をやって下さい。

このように倒置の文は、このテキストでも、各所に出て きます。例えば、

All round her flew the birds

という文章の場合

All/round her/flew/the birds.

(1) (4)

(3) (2)

というふうになっていて、元の文章に直すと、

All the birds flew round her

(1) (2) (3) (4)

(鳥たちはみんな、彼女のまわりを飛びまわりました) となっているのです。

いや、実を言えば倒置の文はもっとひんぱんに出てくる のです。p.64の1行目, 'What can I do about it?' asked Mrs. Banks

(「その件について私は何ができますの」とバンクス夫人は たずねました。)

この 'セリフ' asked Mrs Banks あるいは、'Yes' said Iane.のような、ごくごくありふれた文章も、倒置の 文であることに気づきませんか? つまりこれは、

Mrs. Banks asked, 'What can I do about it?'

Iane said. 'Yes'

(ジェインは「はい」と言った)

これがもともとの形なのです。こんなに身近なところに 倒置の文があるわけですね。

### 'Yes'/said/Jane.

(3) (2) (1)

= Jane said, 'Yes'.

では次に、なぜ、倒置の文章というものが、英語の文章にあるのか考えてみましょう。それは、すべて、文章の内容を強めたいからです。いちばん先に言いたい大切なコトバから先に書いてしまいたいという気持ちからなのです。この部分はぜひ強調しておきたいと思ったとき倒置の文という変な書き方が起きたのです。このテキストを読みすすめていて、アッこれは倒置の文だ、と皆さんが気づいたら、しめたものです。そのとき皆さんは、英語の読み方に大きく近づくのです。このテキスト全体に、はっきりした倒置の文が六つあります。あなたは、そのうちのいくつに気づくでしょうか。

## Point 6

# 桜の木がダンスする。えっ!? 英語的な言いまわし!?

the cherry trees dance...

その桜の木たちは踊っている。

桜の木が踊るのです。風に揺られて、枝を激しく揺すって、左右に、並木のラインダンスをしているのです。

このような言いまわし (表現形) を, 擬人法と言いますが, 英語の文 (文章の種類) としては, 物主語の文あるい

は、無生物主語の文と言います。物や事柄が主語の位置にきて、まるで、人間たちがダンスしているように桜の木々がダンスしているという表現の仕方なのです。日本文にもたくさんありますね。私たちだって、ふつうの日本語で、よく使いますよね。例えば「夜風が冷たい」とか「静けさが広がった」とか「怒りがこみあげる」とか。これらの文章も、形だけから考えると、物や事柄が主語になっています。ここが、ポイントです。物や事柄が主語になっている、ということは、実は、たいへん謎につつまれた言い方です。文章の主語には、やっぱり人間が来てほしい、と思うのがふつうではないでしょうか。

例えば,

I love you.

(私はあなたを愛してる)

のように、「私は」という人間が主語であるような文章が、 この世の中にありうるたくさんの文章の種類の中でいちば んの基本型だと思いますが、皆さん、いかがでしょう。

まるで人間が踊るように桜の木が踊る,このような文章は、要注意なのです。なぜかと言えば、私たちの日本語の方が英語よりもこの物主語の文に近い言いまわしが、たくさんあるために、英文の物主語の文が出てくると、頭の方からそのまま直訳してみると、スラスラと読めてしまうということがよくあるからです。

例えば,

The train comes. (電車が来る) という言い方の裏側には、まるで人間が猛スピードで走り 込んで来るように電車がやって来る、ということが読み取 れますよね。このように、物主語の文は、擬人法という考 え方が背後にあって成立する表現法なのです。



● If you are looking for Number Seventeen and that is the house of this story — you will very soon find it.

That is the house of this story ....

that や this とくるとすぐに「あれ」と「これ」になってしまうのでは困る。この that は、文章の頭にきて、すでに言われたこと。あるいは言われたことから推測できることを受けて言われる that。「that」についてはポイント國を参照(p.318)。

- 2 It is the smallest house in the Road.
- 3 And it needs a lot of fresh paint.



●もしあなたが17番地を捜 しているなら――あれがこ の物語の家なのだが――. あなたはそれを非常にすぐ に見つけるだろう。

- ②それは通りでいちばん小 さな家だ。
- 3そして、それはたくさん の新しい塗料を必要とする。



●あなたが、17番地をお捜しなら ――そしてそれがこの物語の家な のですが---それはすぐに見つか るでしょう。

- ②その家はこの通りでいちばん小 さな家です。
- ❸そして、「きれいにしようと思っ たら] きっと、新しいペンキがた くさん必要でしょう。

4 But Mr. Banks once said to Mrs. Banks, 'You can either have a nice clean house, or our four children.

You can either have a nice clean house,

can にはほぼ三通りの意味がある。「~できる」能力による可能、「~してよい」許可による可能、そしてここでの用法にみられる「~しかできない」「~しなければならない」義務ないし命令の三通り。口語では、能力の意味にはほとんど be able to のほうを使い、can は後の二通りの意味で使われることが多い。例えば Can I have your name?「あなたの名前を教えてもらえるか?」「知らせてもらってよろしいか?」という許可の可能の用法にあたる。ここでは either「かどちらか」という限定を加えることで「~しかできない」の can の解法が導かれている。きれいな家か、子供たちか「どちらかしか持てない」、つまり「遺ばなければならない」。最後のboth はこの either に対応する「どちらも」。

**5** But I haven't money for both.'



#### 1-02-B「ガチガチ訳」

●しかしバンクスさんはバンクス夫人にかつて言った。「あなたは素敵な清潔な家を持つか,あるいは私たちの四人の子供を持つことができる。



### 1-02-C「なめらか訳」

●でもバンクスさんは、バンクス 夫人に昔から言ってあるのでした。 「君はね、立派なきれいな家か、そ れとも、四人の子供 [にめぐまれ た生活] か、どちらかを選ばなけ りゃいけないよ。

**⑤**しかし、私はその両方のためのお金を持っていない。」

⑤だって、その両方をまかなえる お金は私にはないからね」

#### 1-02-D

findには「見つける」と「見つかる」の 二つの意味がある

### If you are looking for.... (1-02-A ●)

このifはふつう条件法の文なのだが、とりわけ「もし~ならば」と考えないで、例えば、接続詞のasやwhenと等しいと考えてみよう。

英文では —— (ハイフン) は文章の途中に、その文章 やそこで使われている言葉を説明したり限定したりするような補足文をさしはさむのに使うことがある。日本語訳文にどうしてもはさみ込めない場合は、独立させて、次の文にするなり、文章の中になんとか繰り込んでしまう。ここでは、なるべく、原文と訳文の区切り方を対応させながら、ハイフンを生かす練習をしてみよう。はじめはむずかしいかもしれないが、挿入文の訳文を工夫して前後とつなげて読めるようになろう。

### you will very soon find it. (1-02-A 1)

このitは、「桜の木通り17番地」の家をさす。You find it で「あなたはそれは見つける」になる。findは「見つける,気づく,わかる」の意味だ。でも私たちは「見つける」のかわりに「見つかる」と言ったりする。そのせんさくはともかく,findに関して,この「見つける」と「見つかる」の区別に気をつけて,使い分けると,訳文はずっとなめらかになる。

It is the smallest house.... (1-02-A ②)

この It も、先の that, it と同じく家をさすが、「それ は見つかる | に続けてまたも「それは」と置くのを避けて 「その家は」としてよいだろう。

# Point 7

# either ~ or & 熟語として覚えるな

He loves either Mary or Jane.

彼はメアリーかジェインのどちらかを愛している。

either ~ orを「~かどちらか」と覚え込むからかえっ て使えなくなるのです。

例えば、

He loves either Mary or Jane.

(彼はメアリーかジェインのどちらかを愛している) という文章は.

	either	(He loves) Mary.
He loves		
	_	or (He loves) Jane.

というふうに、either の後で、バッサリとななめ切りの線 を入れてから、前の方から考えていくのです。このような 訓練をすることが大切です。なぜならそもそも、この either は「代名詞」なのです。それが接続詞としての使い 方にも拡張されたのです。

He loves either

(He loves) Mary

or (He loves) Jane.

完全な文章にすると、( )の中の文章が省略されていた ことがわかります。

だから,テキストの例文でも,

You have either/a house or children.

という具合に区切って、前の方から「あなたはどちらかを 手に入れることができる」「家か、子供たちかどちらかを」 となるのです。

## Point 8

# can には三つの意味がある 知ってた?

You can have a house.

あなたは家を買うことができる。

この can の「~できる」の中身を考えてみましょう。 皆さんはこの can を何でもかんでもただの「できる」だ と思っていないでしょうか。

canの「~できる」には、三通りの意味があります。つまり、

Can の意味は 3つある

- Can の意味は ①「能力があるからできる」
  - ②「可能性があるからできる」
  - ③「許可されているからできる」

の三つの「できる」です。この三つの区別に自覚的でない Aは たったの can ひとつ自由に使えません。

トのテキストからの例文は、明らかに③の「許可」です。 つまり、ご主人が、奥さんに「君は、家を買ってもいいよ」 と許可を与えている場面なのです。

他に、この③「許可」の can の例としては、例えば、 ロンドンの二階建て赤バス (ダブル・デッカー Double Decker) の中で、子供連れのお母さんが、子供に向かっ T.

You can't sleep in the bus. (バスの中で眠ったらダメよ)

と言う場合のように「許可されていない」から「できない」 「してはいけない」のような場面で使われます。

①の「能力のできる」は、最も素朴なcanです。

Do it. You can do it.

(やってごらんよ。君ならできるよ)

②の「可能性のできる」の場合は、主語にくる You に 特別な感じがあります。

You can pass through the road.

(その道は通り抜けることができますよ)

この場合のYouは、「誰でもいい、人間なら誰でも可能」 である、「一般的なYou」なのであって、特定の「あなた」 ということを含んでいない You なのです。この Youは、 実はWe, They, Man, One, People などの「一般的な主 語 | (私の考えでは、これらを非人称主語 Anonymous Subject の文と言います。「一般的な人々」の You なので

す。これは「諸君は」と訳したり「人々は」と訳したりすることが多い場合のYou なのです。

さて、この can の使い方と非常によく似てまぎらわしいものに may があります。はっきりと区別をつけるために、ここであわせて考えておきましょう。

You may have a house.

これをふつうは、「あなたは家を買えるかもしれない」というふうに「かもしれない」と覚えている人が多いのではないでしょうか。この may が「かもしれない」である場合は、実は、かえって少ないのです。それは、たいていは may be の形で使われる場合なのです。may は、実は私たちが考えているのとはちがって、「許可のcan」などよりもずっと「強い命令」を含んだコトバなのです。

You may do it.

(あなたは、それをやってもいいよ)

という意味の後ろには「強い許可・命令」がかくれている のです。ほとんど must や should に近づいているのです。 can や may などの身近なコトバの使い方こそ, くれぐれ も慎重にやって下さい。

# Point 9

# 助動詞になりつつある動詞たち need 他

一般動詞の中には助動詞に近い働きをする動詞たちが いくつかある。助動詞とは何か考えてみよう。

The house needs paint.

その家は塗料を必要としている。

The house needs paint.

(その家は途料を必要としている)

「その家は途料を必要としている」という文を読むと、私 たちはすぐにピンと来て、そうだ、壁の塗りかえがそろそ ろ必要になっているのだ。この家の壁はもう汚なくなって しまっているのだろうな、ということに気づきます。「家 が必要とする | という言い方はポイント同 (p.37) で出て きた「擬人法=物主語の文|ですが、ここではneedとい うコトバが、なんだかとても気になるコトバなので、考え てみることにしましょう。

I need you.

(私はあなたを必要としている)

あるいは「私はあなたが欲しい」と言ってもよいかもしれ ません。この場合、この need は本動詞ですね。つまり助 動詞 (auxiliary verb) ではありません。

それから、次のような格言 (maxim) があります。

A friend in need is a friend indeed.

(まさかの時の友は真の友) この場合の need は名詞ですね。 それから、

助動詞	◎I need <u>not</u> help you.	「私はあなたを助ける 必要はない」 (あまり使われない)
の動詞	◎ I don't need your help.	「私はあなたの助けを 必要としない」 (こちらが□語的)

という二つの言い方があることに注意して下さい。上の文では、needは助動詞になっています。だから、直接 need notとなるのです。ところが下の文では、doという代動詞(という便利屋さん)が出てきて、それに not がついて、do not need という形になっていますね。この場合は本動詞あるいはふつうの動詞であるわけです。このような違いがどうして出てくるのか、ということに、改めて注目してみましょう。

では、助動詞と言われているコトバたちについて復習とまとめをやってみましょう。

### Iグループ

I will do it. (私はそれをするだろう)

I must do it. (私はそれをしなければならない)
I may do it. (私はそれをするかもしれない)
I can do it. (私はそれをすることができる)

これら will, must, may, can たちが助動詞であるこ とははっきりしています。後ろの do という本動詞を助け る意味しかない役割を果たしていることがよくわかるから です。ところが、次の動詞たちは、どうでしょう。この動 詞たちも、ふつうは助動詞だ、と言われているのです。

### Ⅱグループ

I need to do it. (私はそれをする必要がある)

I want to do it. (私はそれをすることを欲する)

I ought to do it. (私はそれをするべきだ)

I have to do it. (私はそれをしなければならない)

I used to do it. (私はそれをいつもしていた)

これらの need, want, ought, have, used などの動 詞は、あとに to がついて、それと一組でようやく一人前 の助動詞として扱われているようです。だから厳密に言う とこの Ⅱ のグループの動詞たちは、まだ助動詞ではなくて、 助動詞になりつつある動詞たち、と言うべきなのです。あ とに to をつけなければならないのは、これらの動詞が助 動詞になりきっていない何よりの証拠です。

だから、これらの助動詞たちは、それぞれを、否定文に してみると、

## Iグループ

I will **not** do it. (私はそれをしないだろう)

I must **not** do it. (私はそれをすべきでない)

I may **not** do it. (私はそれをしないかもしれない)

I can **not** do it. (私はそれをすることができない)

というふうに、助動詞のあとに not がつく形になります。

ところが Ⅱ のグループの方は,

### Ⅱグループ

I don't need to do it.

(私はそれをする必要はない)

I don't want to do it.

(私はそれをしたいと思わない)

I ought not to do it.

(私はそれをすべきでない)

I don't have to do it.

(私はそれをすべきでない)

I didn't use to do it.

(私はそれをいつもしていなかった)

というように、ought 以外は、これらの動詞の前に、その動詞を否定する形で、do not が入る形になります。これで、これらの need や want や have などが、まだ助動詞になりきっていなくてふつうの動詞扱いされていることがわかりました。

ところが ought につづいて, need も,

I need not to do it.

(私はそれをする必要がない)

という言い方が、時々使われているのです。

ということは、これも近い将来は、Iのグループのはっきりとした助動詞の仲間入りをしそうですね。その際には、うしろのtoも消えてしまうでしょう。このようにコトバは生きているのです。コトバを使っている人間が生き物であるようにコトバもまた微妙に変化してゆく生き物なのです。

否定文をつくる not と同じような問題として、疑問文 に直すとどうなるか、という問題が必ずありますね。念の ためやってみましょう。ここでは主語は You に換えるこ とにします。

## Iグループ

Will you do it?

(あなたはそれをしますか)

Must you do it?

(あなたはそれをすべきですか)

May you do it?

(あなたはそれをしてかまいませんか)

Can you do it?

(あなたはそれができますか)

このように、助動詞が文章の頭に出て来るだけの形のひ っくりかえり方をするわけです。ところが、

### Ⅲグループ

Do you need to do it?

(あなたはそれをする必要がありますか)

またはNeed you to do it?

Do you want to do it?

(あなたはそれをしたいですか)

Do you ought to do it?

(あなたはそれをすべきですか)

Do you have to do it?

(あなたはそれをすべきですか)

Did you use to do it?

(あなたはそれをいつもしていましたか)

こちらの方は、代動詞 do を使う形になってしまうわけです。need の場合だけは、両方の使い方があるわけです。この Do you ~ 形は主にアメリカで発達した言い方なのですが、イギリスでは、have というコトバは、完全に助動詞になっているらしくて、ここでの have も do you 形ではなくて、

**Have** you to do it? (あなたはそれをすべきですか) になるようです。

さあ、これだけのことが、しっかりと頭で理解できたでしょうか。そして、自由に使えるほど声に出して言ってみて、なめらかに言えますか。この助動詞のしくみと使い方は、ものすごく基本的なことであるのに、中学校の英語の授業でしっかり習わないままで、高校生になってしまう人が非常に多いのです。助動詞の場合だけでも Do you 形が何故こんなに多いのか、ということもしっかり理解して下さい。

最後に同じように助動詞化しているコトバなのに、ちょっとだけ癖のあるhad better (~した方がよい) についても、ここで考えておきましょう。

had better は、皆さんもよく知っているとおり、何回も何回も試験問題に出されますね。それは、これが、特殊な形(haveではなくていつも必ず had である。そして、いつも必ず better という good の比較形を伴っていて、この二語で併せて一つと考えられています)をしている上に、Iグループに属することになっているからです。だから、

I had better do it.

(私はそれをしたほうがいい)

のようにbetterとdoの間に前置詞toが、入らないことになっています。ところが、否定文にして、not形の場合には、

I had better not do it.

(私はそれをしないほうがいい)

というふうに、notは、betterのすぐあとにくることになっています。決して、

× I don't had better do it.

 $\times$  I had not better do it.

でもないのです。この文を疑問文にすると,

Had you better do it?

Had I better do it?

というように、Iグループの変化の仕方を取って、hadが、 そのまま文章の頭にくる形になるのです。決して

× Do I had better do it?

ではないのです。このように、had better は、一応は助動詞のグループに入れられていながら、こみ入った動きをするので、中学校の試験問題として出されることが多いのです。had better not という言い方が、Do you~形の重大な例外であることを皆さんは知っていましたか?

not はその文章の中のどこにきても意味として通じるのです。例えば、

I go to school.という文は,

- × I not go to school.
- × I go not to school.
- × I go to school not.

と書いても、相手に伝わるのです。しかし、これらの書き 方は、教育用の英語文章としては、大まちがい、というこ とになっています。そして I don't go to school. だけが正 しいとされていることは、十分に知っておいて下さい。

ちなみに You better do it. (あなたはそれをした方がいいよ) というように、現在では、ふつう英米人は had を抜いてしゃべっているようです。





● So, after some thought, Mrs. Banks chose the children — Jane, the eldest, and Michael, and the twins, John and Barbara.

#### the eldest

「いちばん年上の」。この物語では Jane は女の子なので「長女」。パンクス夫人は子供の方を選んで、期待どおりちゃんと四人(うち二人は双子)の子供ができたわけで、家はあいかわらず小さく汚れっぱなしのままだ。それでもイギリスの19世紀の中産階級というのは、それ相応の金持ちなのだ。

- 2 So there they all are now, at Number Seventeen.
- 3 Mrs. Brill cooks for them, and Ellen helps her, and Robertson Ay cuts the grass and cleans the shoes.

#### Mrs. Brill cooks for them,

ここでの them はバンクス一家。「彼」や「彼女」はだいぶ日本語としてもこなれてきて日常使われるようになっているが「彼ら」も日本語としてまだすわりがよくない。 they に関しては状況に応じて「みんな」とか「二人」とかに訳し分けてみよう。





●そこで、いくつかの考え … 供たち――いちばん年上の てジョンとバーバラの双子 ----を選んだ。

- ②そして、17番地のそこに … は、今彼らはみんないる。
- ❸ブリル夫人は彼らのため に料理をし、そしてエレン リル夫人で、エレンがその手伝い が彼女を助ける。そして、!! ロバートソン・アイは草を 刈り靴をきれいにする。



●で [その時]、**しばらく**考えた後 の後で、バンクス夫人は子 に、バンクス夫人は、子供たち [のいる生活]を選びました――長 ジェインとマイケル。そし 女のジェイン。マイケル。そして 双子のジョンとバーバラの四人で す。

- ❷そんなわけで。今、こうして17番 地にみんなが暮らしているのです。
- ③ 家のために料理をするのはず をし、ロバートソン・アイは夢を 刈り靴をみがきます。

**1** And there ought to be a nurse to look after the children, but she has just left this morning.

#### a nurse

普通「看護婦」と訳されるが、一般に「めんどうをみる者」 のことで、この本では住み込みの子供世話係を保母とした。 小説「赤毛のアン」の邦訳では、「家庭教師」となっている。



●そして、子供たちの世話 ど出て行った。



●それに当然, 子供のめんどうを をする保母がいるべきだっ みるための保母がいるべきなので たが、彼女は今朝、ちょう … すが、その女性はちょうどこの朝、 家を出て行ってしまったのです。

#### 1-03-D

▮文章の初めに置かれたsoは副詞として、

後の so は接続詞として、働く

So. (1-03-A 1)

このsoは文章の初めに so が置かれている場合,前の文を受けて次の文に接続する「だから」「そこで」「したがって」などの接続詞としての意味と, I am so happy. のように,「とっても幸せよ」の「とっても」のような副詞としての意味がある。

## after some thought, (1-03-A 1)

この thought は「しばらく考えた後に」, なのだから本来の文章は she thought something for a while,となって,この thought は、もともとが動詞なのです。それを名詞として使っているのが after some thought なのです。そこで、まず「いくつかの考えの後で」ぐらいは思いつくだろうから、そこから「あれこれ考えて」ぐらいまで想像できれば、よい。「考えた後に」バンクス夫人が選んだ、という文意さえつかめれば、あとはこのsomeを「ちょっと考えた」の「ちょっと」という日本語に直せばよい。

## So there they all are now, (1-03-A 2)

So「そして」there 「そこに」they「彼ら,バンクス夫人と子供たち」が all みんな are 「いる」。there は場所を示す副詞で、日本語の「そこに」だ。「そこ」とはどこかといえば、それは「桜の木通り17番地」だ。there というとまず there are (is) の構文が思い浮かぶが、there はあ

くまで場所を示す副詞として覚えておく必要がある。 there are (is) の場合でも、原則は何ものかが「ある」 「いる」を「そこに」と限定しているのだ。ここの now は 「いま」,「さて」「ところで」。あるいは「さあ」「まあ」 「そもそも」などと訳すこともある。

■ there はあくまでも場所を示す副詞である there ought to be a nurse (1-03-A4)

元は there is の構文で、料理頭のブリル夫人、その手 伝いのエレン、庭番に当るロバートソン・アイとあげてき て、「当然保母さんもいるべきだ」ということを表わすよ うにought to be としてある。しかし、また「当然いるべ き」と強調しているということは、すぐ後で、保母は今朝 出て行ってしまってもういないことの伏線になっている。 ought についてはポイント⑨p.49を参照。

■現在完了形を日本語にするときは文脈にそって、 ■過去か現在に訳そう

# she has just left this morning. (1-03-A4)

she は保母さん。「彼女」と書くと、日本語ではちょっ と唐突かもしれないので、「その女性は」としておいた。 保母はいたのだが、just「たったいま」出て行ってしまっ た、というわけで、現在完了形が使われている。日本語に はこの現在完了形に対応するものはないのだから、気にせ ずに、過去か現在か、すわりのよい日本語にすればいい。

## • What can I do about it?' asked Mrs. Banks.

#### ...asked Mrs.Banks.

会話が先に入る場合、語順が逆になる。つまり Mrs. Banks が主語、asked が述語、そして会話文が目的語となっている。

次の●Mr.Banks said, は語順どおり、主語、述語、目的語 (会話文)が並ぶ。saidの後の、(コンマ)は英文のきまりで、 前の語順が逆になる場合には、が入らないのもきまり。「文 の倒置」についてはポイント⑤参照(p.35)。

2 Mr. Banks said, 'You can only put a notice in the newspaper.

3 Say that you need someone to look after four children for very little money, and see how many come.

### for very little money

この for は「ために」ではなく「とひきかえに」の意味で使われている。「ごく安い給料で」の「で」がこの「ひきかえに」を表わす。日本文ではこの助詞「で」の扱い方が重要。特に前置詞の処理には助詞の工夫をすること。



**●** 「それについて私は何がで きるだろう」とバンクス夫 人はたずねた。

- 「あなたにできるのは新聞に 広告をのせることだけだ。
- 3とても少ないお金で四人の 子供の世話をしてくれる誰 かが必要だと言え。そして、 どんなにたくさん来るか見 ろっ



●「私は何をしたらいいのかし ら? | とバンクス夫人はかずねま した。

- はただ、新聞に広告を出せばいい Litin
- ❸そこに、当家ではごく安い給料 で四人の子供のめんどうをみてく れる人を求む、と書いて、何人ぐ らい応募してくるかチェックして みるんだ。

- **4** Ask the policeman to help you if there are too many.
- 5 Now, I must go off to the City.
- 6 It's terribly cold today.

It's terribly cold today.

terribly は強調の副詞。日本語でも「オソロシク寒い、暑い、 速い」などと言うのと同じで、何も「恐ろしい」のではない。 「たいへん」「すごく」と同様、べつにたいへんでなくても一種 の誇張として、日常語化したちょっとした強めの言葉になっ ている。この点は日本語と同じ。だから、この種の「強めの 副詞」に足を引っばられないように。

Which way in the wind blowing?"



### 1-04-B「ガチガチ訳」

- ◆もし多すぎるならあなたを
  助けるために警官を呼べ。
- **⑤**さて、私はシティに行かなくてはならない。
- 6 今日は恐ろしく寒い。

**⑦**風はどちらから吹いているのか?



### 1-04-C「なめらか訳」

- 動んまり多く来るようだったら、警官の助けを頼めばいいさ。
- ⑤さあ、私はシティにでかけなく ちゃ。
- 6恐ろしく寒いな、今日は。

⑦風の向きはどっちかな?」

#### 1-04-D

口語表現に表われる can は,

▶許可や命令の意味で使われる

You can only put.... (1-04-A 2)

いうまでもなく義務ないし命令のcan。「君は新聞に広告を出しさえすればいい」「君は……出しなさい」の意味。onlyは強調。ここでは「……出せばいいんだ」という形で強調を表現している。すでに述べたが、口語でのcanはまずめったに能力による可能の意味では用いられず、ほとんど許可による可能か、義務(命令)の意味で使われることが多い。

off や out や away という前置詞は 動詞について副詞としての動きをする

I must go off to.... (1-04-A 6)

「出かけなければならない」。普通、「出かける」だとgo out となるが、go off を使って、off の「離れる」という意味から、同じように「出かける」となる。off、out、away、up、down、これらは、副詞です。前置詞ではない(念のため)。英語というコトバ独特の働きを持っている副詞。これらをイディオムとして覚え込むよりも、英語特有の表現法としてその都度、文脈から読み取ることの方が必要だろう。

# Point 10

# 知覚動詞は英文のなかで どんな使われ方をしているのか

You see people come.

君は人々が来るのを調べなさい。

このseeは、ふつう知覚動詞と呼ばれているものです。

I	see hear	him	sing.
主語	知覚動詞	人間目的語	※動詞の原形即ち不定詞
(私は彼が歌うのを見る)( -聞く)			

※これを原形不定詞という言い方がありますが、不定詞は、いつも原形に決まっているのです。toがつかないということを強調した場合の言い方らしいのですが、toは前置詞です。念のため付言しておきます。

上の例文では、singという動詞の前にtoがつかないことが重要な事ですね。このことは試験によく出されます。これは、これとして、まず理解して下さい。

さて、そのあとが問題なのです。

この sing は、絶対に原形でなければならないのかというと、そうではないのです。

I hear him singing. (私は、彼が歌っているのを 聞く)	この singing は現在分詞 (動名詞ではない!)
I hear him sung. (私は、彼が歌われているのを 聞く)	このsungは過去分詞

このように、singは、動詞の原形(私の考えでは、動詞の終止形= 不定法)だけではなくて、「現在分詞」や「過去分詞」というような他の形をした動詞もくるのです。このことは、たいへんむずかしい文法理論ですが、このことがわかった人が、だいたい大学入学レベルに達している、とこの国では考えられています。

このことをまったく別の側面から観察したときに、「五文型理論上の第五文型の文」と言います(五文型理論については、別のポイントを参照して下さい。ポイント38 p.357)。

# Point 11

# 文頭にくる It は 日本人にはよくわからない It's cold today.

今日は、寒い。

これは、「それは寒い、今日」と訳さなければならない はずですが、それではあまりに変なので、「今日は寒い」

つまり「今日=寒い」というふうに訳すことになっていま す。なぜでしょうか。そう訳す以外に手がないからです。 このItとは何でしょう。「だから、今日だよ」ではすまさ れないのです。このItは、たいへんな謎につつまれている コトバです。ふつうの教科書では、このItのことを「時間、 天候のit」と言います。代々木ゼミナール講師の鬼塚幹彦 さんはこれら、全てのItのうち文章の冒頭に来るItのこと を『文頭のIt』(雑誌「アルファ」連載)と呼んでいます。 私は、昔から『よくわからないIt』と呼んでいます。

Itというコトバには巨大な謎がかくされています。Itを 「それ」とやって意味が通ることは、かえって少ないので す。

文頭のItが、ピンと来るようになれば、皆さんはスラス ラと英文が読めるようになるのです。(この種のItについ ては『道具としての英語・しくみ編』別冊宝島43号. p.44の表を参考にして考えてみて下さい。)

その他、文章の頭に来るこのItには、むずかしい使い方 がいくつかありますが、それを説明するのは、またたいへ んむずかしい問題を含んでいます。ポイント23 (p.140) のIt's difficult の使い方についての説明を読んでじっくり 考えたのちに参考にして下さい。Itを「それは」と訳した だけではうまく行かない場合が実際にたくさんあるのだ、 ということだけはここでしっかりと心にとめておいて下さ 130

● And Mr. Banks looked out of the window as far as Captain Boom's house.

#### looked out of the window

窓から見るという言い方が、窓を通して外を見るということを意味する場合にこの out of を用いる。「~から」というと、普通 from を思い浮かべるかもしれないが、from と out of は、向きがちょうど逆の関係になる。from は例えば from inside 「内部から」のように、その起点の方に向いて、「その起点の方から」を示すのに対し、out of は起点を背にして、あるいはその場を起点にして「そこから」外の方へ向かう方向を示す。ちょうど矢印が逆向きになるわけだ。

#### Captain Boom

Captain はふつう、軍隊の階級で陸軍では大尉、海軍では 大佐のこと。海軍大佐というのは、軍艦の艦長になれる地位 にある。この場合、Boom さんが退役海軍大佐なので、船の ような形をした家に住んでいるところから近所の人が「船長 さん」というニュアンスを込めて Captain が使われている。

- ② It was the biggest house in the road, and it looked just like a ship.
- 3 The flag on the roof always showed which way the wind was blowing.



●そしてバンクスさんはず っとキャプテン・ブームの 家の方まで窓から見た。

- ん大きい家で、それはちょ うど船みたいに見えた。
- 3屋根の上の旗はいつも風 がどちらの方向に吹いてい きを示しているのです。 るかを示していた。



#### 1-05-C 「なめらか訳

●バンクスさんは窓の外に目をや って、ブーム船長の家の方をなが めました。

- ②それはその通りでいちば ●その家はこの通りではいちばん 大きな家で、ちょうど船のように 見えました。
  - ③屋根の上の旗が、いつも、風向

- 4'Ah ha', said Mr. Banks.
- **6** 'It's an East wind. I thought it was. I shall put on two coats today.'

**6** And he waved to his wife and children and went off to the City.

#### he waved

waveは「手をふる」。smoke という一語の動詞に「タバコを吸う」の「タバコを」の意味が含まれるように「手を」という目的語が含まれている。



#### 1-05-B「ガチガチ訳」

- **④**「アーハー」とバンクスさんは言った。
- ⑤「それは東の風だ。私はそれはそうだと考えた。私は二枚のコートを今日は着ることにするだろう」
- ⑤そして彼は彼の妻と子供 たちに手を振り、シティに 出かけた。



#### 1-05-C「なめらか訳」

- ▲「ははあ」バンクスさんは言いました。
- ●「今日は東風だな。私が思って たとおりだ。今日はコートを二枚 着て行くことにしよう」
  - **●**バンクスさんは、奥さんと子供 たちに手を振って、シティへ出か けました。

#### 1-05-D

lookやseemやseeという動詞は 不完全自動詞といい、be動詞に置き換わる

### it looked just like a ship. (1-05-A 2)

このlook は「見る」ではなく、「見える」、このit は the house だから、「その家が見る」のではなく「その家が見える」。これは You look at me. 「あなたは私を見る」と You look nice. 「あなたはよく見える」  $\rightarrow$  「あなたはかっこいいよ」の違いで、後者は不完全自動詞のlook。この「不完全自動詞」と言われる種類の変な動詞たち(seem, sound, see など)は be 動詞に置き換わるのだ。

### The flag on the roof always showed.... (1-05-A 3)

この show は「示す」「見せる」だ。旗が風向きを「示している」といっても、これは、同時に、人間の方が旗を見ることによって風向きを知る、というしくみがあって、はじめて成り立つ。そこで、バンクスさんが旗に問いかけ、旗がそれに答えて風向きを「示している」。この show にかざらず物が主語の場合、いったん人間との関係のなかに置き換えてみると、日本語の表現として自然な形がつくれることが多い。

## I thought it was. (1-05-A 6)

このitは日本語でいう「そういうわけで」とか「それでだね」の「そう」に当たる漠然とした表現で、状況や前の文の全体をさしている。(itの項参照)。つまりここは「そうだと思ってた。 東風だと思ってたらやはりそうだった」

の意味。「私が思ってたとおりだ」としておいたが、日本 語の場合、一人称の「私」をハッキリ出すと、かえって強 調した感じが出るという性格があって、ここでは、バンク スさんの予想が当たって得意になっている感じが、「私が」 と一人称を置くことによってうまく表わせる。という効果 がある。逆に次の文では、一人称の主語を入れない方が、 日本語では自然になる。

### I shall put on two coats today. (1-05-A 6)

shall が「単純未来」でwillが「意志未来」だ、などと いう文法理論があるが、それは疑問だ。「単純未来」か 「意志未来」かは、文章の流れとして判ることなのであっ てshallを「意志」とだけ決めることはできない。現在で はもはやshall も will も同じだと考えていい。

## Point 12

## out of と from は 同じ「から」なのに全然ちがう

He looked out of the window.

彼は窓から外を見た。

この文の中に、「外をしつまり outside というコトバは入 っていません。それなのに、「外を」と入れて訳さないと おかしいことになります。

では、この文を、

He looked from the window.

と書きかえると、どうなるでしょう。「彼は、窓(そのも

の)から見た」という意味になってしまいます。

私たちは、fromを「~から」と、覚え込んでいますが、この場合、out of という、もうひとつの重要な「~から」との区別をつけておくことは大切なことです。

ある意味では、この from と out of は、まったく逆の 使い方をするのです。つまり、

He looked from inside the room out of the window.

(彼は、部屋の中から窓の外の方を見た)

という文に作りかえてみると、よくわかるでしょう。つまり、見ている人の「視点」の位置によって、そのコトバの位置が決まってくるのです。fromは、もともと、ものごとを客観的に観察しようとしている人の立場から考えて、「~どこどこから、どこどこまで」from A to Bというふうに使います。それに対して、out of は、あるものの中にいる人が、「その外側」のことを指そうとするときに使います。

つまり,

He went out of the room.

(彼は部屋から出ていった)

となります。

もちろんこの場合, out は副詞(動詞を強めるための飾りコトバ)ですし, of は, 前置詞です。(しかし, もしかしたら, この of も, 強めのための副詞かもしれないのですが)。from と out of の使い方のちがいにご用心。

## Point 13

## as~asの前のasは副詞, 後のasは接続詞

He looked as far as Mr. Boom's house. 彼はブーム氏の家の方を見た。

「as far as」は、辞書で調べると「~までは」という訳が載っていますが、その英文を実際に日本語にしようとすると、かなり無理な場合があります。「家の方まで見た」とやると、日本文としては、「程度」あるいは「限界」を示す意味にしか受け取れなくなるからです。これと同じくas much ~as などの「等量比較の表現」なども、私たち日本人には、なかなか使いにくいコトバです。だから、こういう時にこそ文法理論に戻る必要があるのです。

前の方の as が副詞で、あとの方の as が接続詞だ、ということを知っていましたか。「~と同じだけ」ととにかく覚え込んでも実はまったく、わかったことにならないのです。

前のasは副詞,つまり次の形容詞を強めるための飾り コトバです。例えば、

He has as much money/as I have (money).

(彼は、私が持っているのと同じだけたくさんのお金を 持っている)

の先の as は、muchを強めているだけなのです。そして、 あとの as は接続詞ですから、as 以下は、別の文章になっ ているのです。「熟語で覚えよう」とか言うのではなくて、 もっと理屈で考えてからにしてほしいのです。

ポイント⑦(p.45)のeither~orもそうでしたが、このように、ふつう「熟語」と言われているものを、とにかく形にはまった意味で暗記させようという方針を取る先生たちが、あまりにも多すぎます。その結果として、私たちはいよいよわからなくなり、実際に使えないことになるのです。文章のしくみの上から言って、その as (この as は、よく so になったりもします)が、どういう働きをしているのか、そして、あとの方のasとは、品詞がちがうのだということを理解して下さい。そうするとはじめの例文も、

He looked as far/as Mr. Boom's house is there. というふうに分けて、考えてみると、「彼は、遠くの方まで見た。ブーム氏の家があるあたりの」ということになります。何でもかんでも熟語にして覚えようという考え方に、私は大反対しています。英語を一語(wordと言います)一語にまで細かく分けて考えてみると、その一語ずつは決してむずかしい意味を持っていません。皆さんも一度、辞書にズラズラ載っている「熟語」を相手にして、このような品詞分析法を試しにやってみて下さい。

## Point 14

# 「見る」と「見える」では天地の差

主語を動かす動詞を自動詞、目的語をあれてれ動かす動詞を 他動詞という。その自動詞のなかには be 動詞に置きかわる ものもある。

He looks good.

彼はカッコいい。

He looks good.

(彼はカッコいい)

あるいは

He is looking nice.

(彼ってカッコいいね)

この場合のlookは、次の

He looks at her.

(彼は彼女を見る)

のlookとは、ちょっとちがうゾ、と思いませんか。上の 方のlookは、「見る」ではなくて、「見える」なのです。 さあ、誰が見ているのでしょう。誰が誰を見ているのでし ょう。

「彼は見える」のです「goodに」。このことは、英語の動詞の働き、というものを考えていく上では、けっしておろそかにできない重要なポイントを含んでいます。

「彼はカッコよく見える」のであって「彼がグッドを見る」 のではないのです。「見ている」のは、この文章の周りに いる、私たち、あなたたち、読者、この文章の作者など、もろもろの人々なのです。不思議ですね。「文章の中に出てこない人々が見ている」のです。しかも「彼を」です。「彼が」ではないのです。英語の動詞の中には、このように、たいへんよく見かけるくせに、ちょっと変な働きをする動詞たちがいます。この同じ仲間の動詞をあげてみましょう。

#### is

He seems well.

He feels well

He smells bad.

He sounds nice.

He gets well.

He goes wrong.

He proves bad.

He keeps well.

彼は元気そうに見える

彼は気分がいい

彼は嗅う

彼は元気そうな声だ

彼は元気になる

彼はまちがっている

彼は体をこわしていることが判る

彼は良好を保っている

このようなちょっと特別な動詞たちのことを, 英文法では「不完全自動詞」と言います。「自動詞」なのです。「自動詞」というのは,「主語を動かす動詞」のことです。例えば,

I sleep. (私は寝る)

は、「寝る」のは私です。したがってこの場合この sleep

という動詞を、自動詞と言います。ところが、

I sleep her.

と書くと、「私は、彼女を寝かしつける」

という意味になります。この場合、「寝る」のは「彼女」 なのです。それを、「私」が「させる」のです。このよう に、「目的語に働きかけて、目的語をあれこれ動かす動詞 のことを他動詞」と言います。

左の表にあげた動詞たちは、一応自動詞の仲間なのです が、しかし、そのうちでもちょっと気の弱そうな動詞で、 実は、be動詞という根本的な動詞と血縁関係にある動詞 たちなのです。なぜなら上の表の動詞は、すべて、be (is) に置き換えることができるのです。ふつうの他動詞たちに は、決してこのような性質はありません。日常でたいへん よく使うからこそ、かえって、なかなかその性質の特殊性 がわかりにくい動詞たちであるわけですね。よく表を見直 し、考えてみて下さい。

ついでに、皆さんに、ここで軽い質問をしておきますと、 さて、これらの文章は、第何文型でしょう? この「文型」 ということがわかるようになると、シメたものなのですが, このあとの方で、いっしょに考えることにしましょう。

そこで、このテキストの例文である,

The house looks like a ship.

は、「そのお家は、まるで船のような形をしているように 見える」の「見える」の「見」は、「私たちが見る」ので す。このことをもう一度、かみしめて下さい。

## Point 15

## 動作を表わす動詞と 状態を表わす動詞の違い

英語の動詞は「動作」を表わす動詞と「状態」を表わす動詞の二つに分けられる。その違いを現在進行形という形から見てみると? I put on a coat.

私はコートを着る。

これは、「着る」という「動作」を示している言い方です。それに対して、「着ている」という「状態」を表わす動詞は、

I wear a coat.

(私はコートを着ている)

です。英語の動詞たちは、大きく分けて、この「動作」か「状態」かに二大分類されると言われています(その他の分類の仕方に「自動詞」と「他動詞」がありますが)。例えば、have、look、think、know、forget、love、likeなどは、もともとが、「状態」すなわち一定の時間の幅を内部に含んでいるので、瞬間的な動作、例えば「食べる」eatとか「飛ぶ」fly のように、現在進行形の文章、

I am eating lunch.

(私は昼食を食べている)

I am flying in the sky.

### には、ならないとされています。つまり、

- × I am having a book.
  (私は本を持っている)
- × I am looking at him. (私は彼を見ている)
- × I am thinking of her.
  (私は彼女のことを考えている)
- × I am knowing it.
  (私はそれを知っている)
- × I am forgetting you.
  (私はあなたを忘れかけている)
- × I am loving you.
  (私はあなたを愛している)
- × I am liking you.
  (私はあなたを好いている)

などは、ふつう言わないことになっている、とされています。なぜなら、こういう非常によく見かける動詞たちは、もともと「~にしている」という一定の「状態」を含んでいるのだから、進行形の文になじまないのだ、と説明されています。

だから,初めの例文も,

I am wearing on coat. 「私は、コートを着つづけよう

としている」というのは、おかしい、ということになります。

このように、動詞の種類によって、「~している」という意味を含んでいるかいないかで分ける考え方を知っておくことは英作文の試験勉強のためにはたいへん重要なことです。

ところがです! 皆さん、ほんとうのふつうのアメリカ人たちは、先ほど、×にした表の言い方を実際には使ったりするのですよ。

I am thinking of her.

I am knowing it.

I am loving you.

と言ってみて、それほど、おかしいですか。おかしくない でしょう?

現在進行形にしようと思えば、どんな動詞だって、進行 形にすることができるのです。

しかし、いいですか。このあとの私の話をしっかり聞いて下さい。「進行形」(それと「完了形」と言われているhave + p.p.) というのは、もともと、変な表現形ですよね。「進行形」の場合だけ「~している」と訳して、そうではない「現在形」の場合には、「~する」と訳すということに、一応なっているらしいのですが、それでは、あまりのことに、日本語訳(この本では原文忠実訳のことです)が、ギクシャクしてしまいます。そこで、「進行形の文」でな

くても例えば、He runsを「彼は走っている」というふう に訳す必要があって、そのようになんとなくみんなやって いるわけです。

進行形と完了形というのは、おかしな言いまわしです。 ヨーロッパ語の中では英語だけに強く感じられる言い方で すね。そして、この感じが外国人である私たちには、どう やってみてもはっきりとつかめません。

この動詞は進行形にしようかな現在形でいいかなとか、 変な悩み方をして、少しも英語がしゃべれないということ になります。同じことが、「現在完了形で言おうか、過去 形で言おうか」という点にも表われています。

日本人は、現在形と、過去形、この二つの動詞の形の使 い方さえしっかりできれば、それでいいのです。それでト 分なのです。それ位に考えた方がよいのではないのでしょ うか?

● Now, the City was a place where Mr. Banks went every day — except Sundays and Bank Holidays, of course — and there he sat on a large chair in front of a large desk and made money.

#### Now

「さて」「ところで」と話題をかえるために使う語で「今」のことではない(念のため)。

#### the City

ロンドンの旧市街。金融、商業の中心地。一マイル四方に 数百の銀行、証券会社が集まっていて、今でも世界の銀行業 の中心地でもある。

#### there he sat on ....

前の where とこの there が一種のかけ言葉のように対 応して「そしてそこでは」という意味を表わしている。 つまり バンクスさんが毎日行った、「その場所では」。

2 The children thought that he cut the money from metal or from paper.

#### The children thought that ...

that以下のことを考えた、という構文。注意して欲しいのは、続く二つの文にもこの構文が生きているという点だ。



### 1-06-B「ガチガチ訳」

●さて、シティはバンクスさ んが毎日行く場所で――も ちろん, 日曜日と銀行の休 彼は大きな机の前の大きな イスに座ってお金を作った。



### 1-06-C [なめらた

●さて、シティというのは、バン クスさんが毎日出勤するところで ――もちろん日曜日と銀行の定休 みの日は除いて――そこで 日は別ですが――そこでは、バン クスさんは大きな机の前の大きな 椅子に座り、お金をこしらえてい るのです。



2子供たちは彼は金属や紙 からお金を切るのだと考え た。

②子供たちは、お父さんが金属や 紙からお金を切り取っている。と 考えていました。

**3** He then brought it home with him in his little black bag.

4 If he made enough money that day, he sometimes gave some to Jane and Michael to put in their money-boxes.



#### 1-06-B「ガチガチ訳」

- ●それから彼は彼の小さな 黒いカバンといっしょにそれを家に持ってきた。
- ●もし彼が充分にお金を作った日は彼はときどき彼らの貯金箱に入れるためにいくらかをジェインとマイケルに与えた。



### 1-06-C「なめらか訳」

- [子供たちの考えでは] お父さんはそうやってお金を黒いかばんに入れて家に持ってくるのです。
- ●お金を充分つくった日には、お 父さんは少しだけお金を貯金箱に 人れるようにジェインやマイケル にくれたのです。

#### 1-06-D

### 主語が述語以下で説明している英文の訳しかた

### the City was... (1-06-A 1)

ここまでにすでにthe Cityというコトバは出て来ていたわけだが、あらためてここで説明されることになる。このようにして主語が述語以下の文で説明される場合には「~というものは」「~ということは」あるいは「~とは」と訳すと読みやすくなる。これ以外の場合でも、「は」「が」ではおさまりが悪い時には、「とは」「というものには」などを使うとなめらかな日本文になる。

### a place where Mr.Banks went ... (1-06-A 1)

where は関係副詞。日本語の構文だと「バンクスさんが毎日かよっている場所」となってこの where になるものが消えてしまうが、英語では落とせない。

heやsheを「彼」や「彼女」と訳さずに それが指すものをきちんと訳し出す

### he cut the money... (1-06-A ②)

この he はバンクスさんのことだが、ここは子供たちが頭の中で考えている内容なので、子供たちから見たバンクスさん、つまり「お父さん」と訳す方がいい。「彼は」とやると日本語ではひどく他人行儀な感じになってしまう。しかし、英語では、逆に、きわめて明白なのだ、という点を忘れずに。

cut the money from metal or ... (1-06-A 2)

この from はまさに「~から」。「お金を金属や紙の型か ら切る、切り取る」。子供たちは、make money「お金を 作る」という言葉から、貨幣や紙幣を金属や紙の型から切 り取ってくることだと考えた、ということ。こうした一種 のコトバの遊びを利用した話しの運びは、英語の文学の得 意とするところで、ルイス・キャロルの『不思議の国のア リス」などではよく使われている。

## Point 16

# 形容詞は名詞を飾るコトバ 副詞は動詞を飾るコトバ

形容詞は名詞の前にきて名詞を修飾し、副詞は動詞の後に きて動詞を修飾する。副詞はまた形容詞、副詞を修飾する。 He is looking nice.

彼ってカッコいいね。

形容詞 (adjective) というのは、名詞を飾るコトバで す。ふつう名詞の前にきて、名詞(体言)を、形容(修飾) する語のことです。pretty girl (かわいい女の子)とか、 nice day (いい日より) とか、good morning (よい朝) とかのような、二つの語の前の方は、形容詞なのです。

それに対して副詞 (adverb) というのは、動詞を飾る コトバです。動詞を修飾して動詞の働きに特別な方向性や 強さを与える語のことです。例えば、

He runs fast (彼は凍く走る)

She smiles beautifully. (彼女が美しくほほえむ)

You get well. (あなたはよくなる)

We hope **much**. (私たちはおおいに期待する) などのように、動詞のあとに来て、前の動詞の意味を強め たりする働きのある語のことです。

この形容詞と副詞の意味を知っていることは、たいへん、 重要なことですから、しっかりと自分の頭で考えて理解し て下さい。それから副詞は、別の副詞を修飾することがあ ります。

She is pretty. (彼女は、かわいい)
She is very pretty. (彼女は非常にかわいい)

この very という副詞は、prettyという形容詞を修飾していますね。

さあ、これだけのことがわかったら、あとは、

(I) thank you much.(たいへん感謝します)
(I) thank you very much. (非常にたいへん感謝します)

この very は、much という副詞をさらに強めている副詞です。その他に、副詞は、形容詞を強めたりすることもあります。

	She	is	pretty
1(品詞という分け方で考える	ると) 名詞	動詞	形容詞
2(文型という分け方で考える	3と) 主語	動語	補語
3(格という分け方で考えると	:) 主格	動作格	補格
3(格という分け方で考えると ただし3の分類法は一般	-7		144

というように老えてみましょう。

さてこの中で 2の「文型」という方向の考え方から見てみると、この文は S+V+Cで「第二文型」を作っているのだ、ということを、この先少しずつ理解していかなければなりません。

さらにこのあと指摘しておくべき点として、日本語の「形容詞」「副詞」は、英語の「形容詞」「副詞」と一致しないことが多い、ということも知っておくべきでしょう。例えば、「美しい」という日本語の形容詞は、「美しく」と変化させても、語としては形容詞です。ところが、英文の中で考えると「美しく」というのは、どう考えてみても「副詞」なのです。「美しく咲く」というように、動詞にかかるからです。このことは、実は日本文法学というものが、本当の本当は、たいへん大きな理論的欠陥を秘めている、ということを示しています。

品詞分類法というのが、文法学の基本であり、その中でも「品詞活用表」というのが、日本で出まわっている文法理論の大半なのですが、この「活用」にしてみても、英語の品詞の活用と、日本語の品詞の活用を同じ視点から観察して比較してみようとする学者がこの国には今のところい

ません。「国文法と、外国文法はそもそもちがう」「ちがうからちがうのだ」「お互いの研究分野を侵し合うのはやめよう」と考えているらしいのです。同じコトバの研究なのに、変ですね。コトバというのは、お互いに置き換えられるべきなのですから、すっきりした統一的な文法理論というのが、必要だとは思いませんか。皆さん!

## Point 17

## 疑問形をつくる疑問副詞の 働きを理解しているか?

疑問文の前にくる Where, Who, How などはそれが指し示すものによって、疑問副詞、代名詞、形容詞となる。 the City is a place where Mr. Banks goes everyday. シティというのは、バンクス氏が毎日出勤するところです。

さて、このようにwhere などによって、二つの文章が前と後につながれてしまう言い方が、英語にはありますね。その代表例は、まず、何と言っても which や who などの「関係代名詞による文」(ポイント図を必ず見て下さい。p.185)ですね。その他に、I think that...に見られる「接続詞のthat」による文ですね。(このthat についても、ポイント図を参照下さい。p.185)。その他にもいろいろな種類がありますが、ここでは、以上の二種類のことだけ頭に置いておいて下さい。さてWhereというのはそもそも何でしょう?

Where do you live?

(あなたはどこに住んでいるの?)

は「疑問文」ですので、where (このwhere を疑問副詞 と言います)が文の頭に来ているのですね。この文を、も ともとの形に戻してみますと、

You live where?

(あなたはどこに住んでいるの?)

= You live in Sendai city . (あなたは仙台市に住んでいる)

You live in the house. (あなたは家に住んでいる)

You live in the park. (あなたは公園に住んでいる)

つまり where

in the place なのだ

なのです。where という一語は, in the place という, 三 つの語の代わりだ、ということがわかりますね。この場合、 where は place (場所) という語よりも, in という前置詞 を含んでいるということの方がたいへん重要なことなので す (この点が、「関係代名詞」の文との大きなちがいなの ですり。

ここを副詞句と言います。← He lives in the town. (彼はその町に住んでいる) live in というような変な熟語で覚えないようにして下さい。かえってわからなくなりますよ。そして、このところを5W1H(いつ、どこで、誰が、何を、どちらに、どうした)形の疑問文にするわけですから、

ふつうの文	1 He lives in the town.		
これでも立派な疑問文	2 He live where?		
疑問文用の倒置形	3 Where does he live?		
答えの文	4 He lives in the town.		

というようなグルグルまわるしくみになっているのです。

in the townという副詞句(主語や動詞や目的語のような文章の骨格となっている語とはちがう、文章のふろくのこと。文章のおしまいの方にくる。金魚のふんのようなもの)が、where という一語で置き換わるので、このwhere を副詞というのです。そして、この場合は疑問文「どこに」ですから、疑問副詞というのです。

したがって、カンのいい人なら、これだけですぐにわかるでしょうが、では、what や who は品詞名で言うと何でしょう?

What is he? (彼は何ですか)

= He is what? (彼は何ですか)

He is a teacher. (彼は先生です)

この what は、疑問代名詞と言います。

なぜなら、「先生」という名詞の代わりをしているから

です。同じく.

Who is she? (彼女はだれですか)

= She is who? (彼女はだれですか)

She is Mary. (彼女はメアリーです)

この who は、「メアリー」の代わりをしているから、 こちらも疑問代名詞ですね。How はどうでしょうか。

How is he? (彼はどうですか?)

= He is how? (彼はどうですか?)

He is fine. (彼は元気です)

この fine は、形容詞ですね。だから、その代わりをし ているこの how は、疑問形容詞と言うのです。 which は どうでしょうか?

Which book do you like?

(あなたはどちらの本が好きですか)

You like which book?

(あなたはどちらの本が好きですか)

I like this book

(私はこの本が好きです)

which はthis という指示形容詞の代わりをしているわけ ですから、疑問形容詞ですね。これだけのことがわかれば、 かなり英語の文章のしくみというのが、わかりはじめたと 言えると思います。

## Point 18

## 不定詞のほんとうの性格を知れば、 もっと前進できる

不定詞は動詞なのだ。前の方に動詞を使っているから"一文章一動詞"の原則に違反しないよう、前置詞 to をつけて不定詞にするわけ。

He gave her some money to put in the money box. 彼は貯金箱に入れさせるために彼女にちょっとしたお金をあげました。

私たちは、ふつう英文の中で、to がくっついている動詞のことを「不定詞」(infinitive) と呼んでいます。最も代表的な文章は、

	I come to see you.
	(私はあなたに会いに行く)
efet.	<b>†</b>
酮詞的用法	(私はあなたに会う <b>ために</b> 行く)
	I want to go there.
	(私は、そこへ行きたい)(名詞的用法としてもいい)
	<b>†</b>
	(私はそこへ行くことを欲する)
形	I want something cold to drink.
形容詞的用法	(私は何か、冷たい飲みものがほしい)
前	<b>†</b>
法	(私は飲む <b>ための</b> 何か冷たいものがほしい)
名	
名詞的用	To see is to believe.
用法	(見ることは信じることだ→百聞は一見にしかず)

などです。

ふつう私たちは、不定詞がくると、瞬間的に上の三つの 用法があるというふうに、中学二年生以来覚えこまされて きました。そして.

副詞的用法	的用法 「~するために」	
形容詞的用法	「~するため 🕖 」	
名詞的用法	「~すること」	

という日本語訳が決まっていることになっています。

だから、このテキストでも、不定詞が出てくるたびごと に、原文忠実訳の方は、上の日本語のうちのどれかをその ままあてはめて訳してあります。

このことをさらに例文をあげて考えてみましょう。

He tried to do it

という英文があると、私たちには、次の四つの訳し方が考 えられます。

- ①彼はそれをするために試みた。
- ②彼はそれをすることを試みた。
- ③彼はそれをしようと試みた。
- ④彼はそれを**しようと**した。
- ①は、この不定詞が「副詞的用法」なので、「~にする ために」とやったわけです。すると日本語としては、なん だかおかしな文章になってしまいましたね。②は日本文と しては、おかしくはないのですが、「~すること」とやっ ていますのでまるで、名詞的用法の訳し方になってしまい

ました。問題ですね(しかし、ふつう私たちは、このように訳しています。この点を考えてみて下さい)。さて③は、なかなか日本語としてはなめらかですね。「~しようと」とやって、「と」を使うと、自然な感じが出るのですね。④は、try という動詞を、あえて「試みる」と訳さないで、「した」とやってすらりとした日本語にしたのです。テキストの「なめらかな訳」の方では④の訳になっているはずです。

さあ、そこで、この「不定詞の三つの用法」というのは、 一体全体、どういうことになるのだ、ということを考え直 してみましょう。そもそも、「副詞的」とか「形容詞的」 とかいうのは、何のことなのでしょうか?

「名詞的」というのは、皆さんにもすぐわかりますね。動詞に to をつけて「名詞のようなものとして使う」ということです。だから「~すること」でいいわけですね。

次に「形容詞的」と「副詞的」というのは何でしょうか。 「形容詞と副詞」については、ポイントIII(p.93)で説明 してありますから読み直して下さい。しかし、ここでもう 一度、念のため説明しましょう。

形容	評	名詞を飾るコトバ				
副	詞	動詞	(ときには副詞、	形容詞も)	を飾るコ	トバ

そうすると、それぞれ形容詞的と副詞的というのは、それぞれ、名詞か動詞のあとにきて、前の詞を飾るのだな、 ということがわかりますね。だから、形容詞的用法は、 「~するための何々」なのですね。副詞的用法は、「~にす るために何々する」であるわけです。これで、一応学校で 皆さんが習っておくべきことの復習は終わりです。

さあ、冒頭にあげたこのテキストからの例文を、もう一 度見直してみて下さい。「貯金箱に入れるためにお金をあ げた」という訳は、少しおかしいと思いませんか。その場 面の情景に合わせて考えると、これは「彼は彼女にお金を あげた。そしてそれを(彼女は)貯金箱に入れた」と訳し た方が賢いでしょう。このように、「副詞的用法」と言わ れるものは、なんでも「~にするために」と目的や理由の 意味に訳せばいいというものではないことを、わかって下 さい (だから、わざわざこのような例文の場合を、「結果 用法 と説明する教科書があります)。ここから、いわゆ る「用法分類」という考え方自体がそもそも疑わしい。と いうことにピンときて下さい(同じようなことが例えば 「現在完了形の四つの用法 | と言われるものにも見られま す)。「用法」で覚えればすむというのは、はっきり言って、 おつむの程度の低い考え方です。そのことの説明を、これ からやりましょう。

さあ、そもそも「不定詞」というのは、何なのでしょう。 皆さんは不定詞という品詞を初めて教えられたとき以来, 不定詞というコトバを何十回も聞いていますが、その「不 定しというのは、どういう意味なのか知っていましたか。 「不定詞」という品詞を、辞典で引くときは、何を引くの ですか。「動詞」を引くでしょう。そうなのです。不定詞 というのは、動詞のことなのです。もっとくわしく言うと、

動詞なんだけれども、その文章の中に、前の方にすでに別に動詞があるから、動詞とは言えなくなって、そこで仕方がないから、toという前置詞を付けてもらって、「不定詞という名前をもらったコトバのことなのです。だから、正確に言うと、不定詞というのは、動詞の不定詞形のことなのです。これを原形不定詞と言ったりする先生たちがいますが、不定詞というのは、いつでも必ず原形なのです。だから不定詞なのでしょう? そうではありませんか。したがって、私の考えを徹底させると、不定詞というのは、日本文法で言う動詞の終止形ということになります。I want to go there.の不定詞goは、「行くということ」つまり「行く」という基本形なのです。これを不定詞と言うのです。ちょっとむずかしいことを書きましたので、なかなかわかりにくいと思います。しかし、しっかり考えてみて下さい。

英語の文章は、たいてい主語+動詞+目的語(or補語)という形をしています。したがって、一つの文章に、動詞が二つ(以上)あるというのは、おかしな話になってしまうのです。これを、「一文章一動詞の原則」(Principle of one verb in one sentence )と、私は名づけています。そして、この大原則に反して、動詞が二つ以上あるとき、あとの方の動詞には前置詞のtoをつけて、「不定詞」という名前にしたのです。これが、理由のすべてなのです。このことがわかったとき、皆さんは、初めて「不定詞」の意味がわかることになるのです。

もっとわかりやすく、日本語との関係で考えてみましょ

う。

日本語の動詞には、連語動詞というのがあって、「作り上げる」とか「死に絶える」とか「考え込む」とかいうふうに、「作る」と「上げる」の二つの動詞をくっつけてまるでひとつの動詞としてしまう、たいへん便利な使い方があります。見事な合成語法と言うべきでしょう。ところが、英語というすばらしく簡潔なコトバには、この連語動詞というのがありません。

そこで、何か言いたいときに、どうしても二**つの動作性**をひとつの表現の中にとじ込めなければならない必要に迫られるのは避けられないことでしょう。そこで、動詞を二つ(あるいはそれ以上)くっつけるようにして使う方法が、発達したのです。また、そのために、私たち外国人が、英文を正確に読もうとするとき、いろいろ苦しむことになったわけなのです。けれども、その苦しみも大半はわけもわからず「用法」とかいうふうに覚えこもうとするからなのです。

to go は to と go の二語あわせて不定詞なのではないのです。 to はただの前置詞なのです。 go だけが不定詞なのです。

そして、不定詞というのは、もともと動詞のくせに、副詞のような顔をしてみたり、形容詞のように名詞のあとからくっついてみたり、名詞そのものとして使われたりするというわけです。これだけのことがわかれば、さあ、皆さんは、自分の足で立って、英文の中の「不定詞」をやっつけながら読みすすめて行くことができるのです。前進!!

● So Mr. Banks went off to cut out some more money, and Mrs. Banks wrote letters to the newspapers.

#### wrote letters

f wrote to you.で「私はあなたに手紙を書く」となり、 write toだけで「手紙を書く」という意味まで含む。ここで の letters は求人広告の依頼状の意味で、「新聞社に広告の依 頼状を出しました」と訳せる。

② In these letters she asked if anyone knew of a children's nurse.



### 1-07-B「ガチガチ訳」

●そこでバンクスさんはい くらかのもっと多くのお金 を切り出すために出かけた。 そしてバンクス夫人は新聞 に手紙を書いた。

②これらの手紙の中で彼女は もし――子供たちの乳母を 知った誰かがいないかとた ずねた。



### 1-07-C「なめらか訳」

●こういうふうにしてバンクスさんがもっとお金を切り取るために出かけると,バンクス夫人は新聞に手紙を書きました。

●この手紙の中でバンクス夫人は、 誰か保母[に適当な人]を知って いないか問い合わせました。 Output Upstairs, in the nursery, Jane and Michael sat and waited for this new nurse.

Upstairs, in the nursery,

この upstairs は「二階に、二階で」という副詞、正確に訳すと「二階では、保育室で」となる。

4 They were glad to get a new one, because they did not like the old one.

- **6** In the evening they sat at the window and looked down the road for her.
- **6** The cherry trees were dancing in the cold wind.



❸二階の子供部屋で、ジェ インとマイケルは座って新 しい保母を待った。

- △彼らは新しい一人を得る ことを喜んだ。なぜなら、 彼らは古い一人が好きでは なかった。
- ⑤ 夕方に彼らは窓に座り。 そしてこの新しい保母を待 った。
- ₿桜の木は冷たい風の中で ダンスをしていた。



⑥二階の子供部屋では、ジェイン とマイケルが座りこんで、次の新 しい保母さんを待っていました。

- ●子供たちは、新しい人が来るの を喜んでいます。というのも、こ 人は、前の人が嫌いだったからで す。
- 5 夕方。 二人は窓のところに座っ て、新しい保母さんが来ないかと、 通りを見おろしていました。
- B桜並木は寒い風にあおられて舞 うように揺れていました。

### 1-07-D

for というコトバは

【「~へ」という方向を表わすだけではない

waited for this new nurse. (1-07-A 3)

this は「今度の」で、「この」ではない。まだ新しい保母さんはきていないのだから。例えば、今日が月曜日で、今週の金曜日に会おうと言う場合、See you, this Friday.とthisを使う。「今度の金曜日」という意味。それを来週の金曜日にと言うつもりなら、next Fridayとする。つまり「次の金曜日」。日本語だと、この区別は英語ほどはっきりしていないので、「今度の」をnextと言ってしまったりしないように注意がいる。waitだけでも、「待つ」の意味なのだからfor は単なる強めのために置かれている。私たちはwait forを「熟語」だと覚えさせられてきた。そして、この種のforを「原因」とか「目的」の用法としての「前置詞」と習わされた。しかし、もう少し考えてみると、このfor はただの「副詞」ではないのだろうか。私の考えでは、「後置詞」だ。「前置詞」と「副詞」の違いについてはポイント図(p.115)を参照。

They were glad to get a new one, (1-07-A4)

このgetはemploy「雇う」の意味だ。つまり「新しい 人を雇う」ことだ。

get はごく普通の日常語で使う「やる」「する」という 汎用語なので、ここではさらに get を have に置き換えて 考えることもできる(have のくわしい用法についてポイ ント図参照 p.140)。そしてその have を「彼らは新しい保母さんを得たのが嬉しかった」と考えるのが基本だが、 have をそのように「持つ」「得る」とだけ考えないで、「いる」「ある」というふうに考えて「保母さんがいてくれるようになって嬉しい」としてもいい。 a new one、 one は人称代名詞、 the old one は the former 「前の保母さん」のこと。

they sat at the window and looked down... (1-07-A ⑤) ここ数行のthey はジェインとマイケルなので、「二人は」としているが、何度も繰り返し出てくる場合にはいっそのこと、とっぱらってしまってかまわない。日本語では、いちいち入れていくとうるさい感じになる。

■ 英文の中に出てくる代名詞が 何を指すのかをしっかり理解しよう。

for her (1-07-A6)

herは「新しい保母さん」。英語では前の文章に出てきた人や物を、話しが進んでしまってからでも代名詞のままで登場させてしまうので、まどわされないように。

## Point 19

# ifを「もし~ならば」 とだけ覚えてはいないか?

仮定法の文章は二つのタイプしかない。文頭にifがついたから といって、すべてが仮定法の表現というわけではない。

She asked if he knew of it.

彼女は彼がそのことを知っているかどうかたずねた。

ifという語がくると、皆さんはなんでもかんでも「もし~ならば」だとだけ覚えているのではないでしょうか。そのような「もしも」の if で始まる文章を**仮定法(conditional**)の文と言います(条件法、あるいは、叙想法と呼ぶ人もいます)。この仮定法の文は、ちょっとやっかいな問題をかかえています。

まず、次にあげる二つの例題だけを、しっかり暗記して、 仮定法の文章は、実際には、この二つのタイプしかないの だなということをわかってほしいと思います。

### T仮定法過去

If I had the book, I would give it to you.

(もし、私の手元にその本があれば、あなたにさしあげるのですが)

If I were a bird, I would fly to the sky.

(私が鳥だったら、空に飛ぶのに)

### II 仮定法過去完了

If I had known it, I would have told you.

私がそれを知っていたら、あなたに教えただろうに。

この二つの例文を覚え込むことによって、仮定法のむず かしい問題は解いてゆけるのです。

Ⅰの例文は、現在の事実に対して現在の時点での「仮定」 を表わしています。「もしAがBなら、CはDでしょう」 という判断を示しているだけなのです。それに対してⅡの 「仮定法過去完了」は、語る人に感情がこもります。「あの 時私 (あなた) が~していたら、私 (あなた) は~だった のに | というふうに 「たら | 「のに | という言い方にみら れるように非難や反省やくやしさを含んでいるのです。 「仮定法過去完了」は「過去の事実」に対して現在の時点 からふりかえって、あれこれ悩んでいるのです。

ふつう教科書では、仮定法は四つあることになっていて. 上の二つ以外にも「仮定法未来」と「仮定法現在」という のがあるとしています。この二つの文は、ほんとうは、実 際の英文ではめったに見かけることのないものです。それ を上の二つといっしょに習うので、私たちの頭は大混乱を 起こすのです。例えば、

a. If it will be fine, we will go there.

(もし、晴れそうだったら、そこに行こうよ)

これは、文の形から、「仮定法未来」に分類されてしま いそうです。 If の文の中が will be というように未来形 になっているからです。しかし、ちょっと考えてみればわ かるように「仮定法未来」というのは、ただの未来なので す。私たちが誰でも、日常でしゃべっているように、「明 日~だったら~しよう」という言い方なのです。

そして、上の a の例文は通常は

a'. If it is fine, we go there.

(もし、晴れそうだったら、そこに行こうよ)

という文章とまったく同じ内容なのです。このa'の例文 のことを指して「仮定法現在」と言いたければ言ってもい いのです。しかし、そう言って何の役に立つのでしょう。

そして「仮定法現在」というのは、英米人ですら現在では使わない言い方ですので、この形の文にまどわされる必要はありません。要するに「文語」「堅苦しい言い方」すなわち「古語」なのです。これを、無理やりに、はじめの二つ、つまり「仮定法過去」「仮定法過去完了」と同じ種類のものと考えたことが、そもそものまちがいなのだと思います。「仮定法」とただの「仮定的な言い方」とは、ちがうのです。このことが長年わからなかったので、私たち日本人は「仮定法」というものが何なのかわからないできたのです。(私の考えでは、英語以外のヨーロッパ語では、「仮定法」ではなくて、「接続法」という文法理論が中心のようです。)

そして、そのくせ、「仮定法」の試験問題としては、はじめの二つの「仮定法過去」と「仮定法過去完了」以外の「古語」を平気で出題するのです。このことが、混乱にさらに拍車をかけているのです。ですから、私たちとしては、まず、はじめの表の「二つの仮定法」の文の形をしっかり覚えて、それを書けるようになること、その次に、「ただの未来のことの仮定的な言い方」を自由にwillを使って言えるようになればそれでいいのです。

さて、はじめの三つの例文に話をもどしましょう。まず

大切なのは『の方で、この例文のお尻半分のコンマ後の方 の文(これを「帰結」apodasisの文と言います)には would have been というふうに、ここに助動詞のwould という語がくることです。このことを覚えることが何より も大切なことなのです。これ以上のことはわざと説明しな いことにします。この三つの例文をしっかりと見比べて、 どうちがうかを考えてください。

そして、はじめにあげた、ask if の if が「~かどうか」 であることを忘れないで下さい。if がきたら何でも「もし も | だと思わないで、その前に、「かどうか」という意味 があることを理解しましょう。また、「仮定法」と「ただ の仮定的な言い方」とはちがうのだということを肝に命じ てください。

## Point 20

# ofという不思議な前置詞を 理解するのはむずかしい

前置詞を他の単語と結びついた形で覚えると、英文の微妙 な表現は理解できない。

He knew of her.

彼は彼女について知っていた。

この文からofを取り去って、

He knew her.

(彼は、彼女を知っていた)

とやって、文としてまちがいでしょうか。そんなことはあ

りません。こっちでも正しい文です。同様に、

I think of it.

(私は、そのことを考える)

٤.

I think it.

(私は、そのことを考える)

は、同じですね。どうして、このように前置詞のofというのは、くっついたり、取れたりするのでしょうか?

ふつう学校の英語の先生たちは、このような動詞のあとにくる前置詞は、動詞と組になっていて、それでキマリ文句、すなわち、熟語なのだから覚えなさい、と教えます。私たちは、何だかよくわからないけど一応覚えることにしています。しかしですね、なぜそうなっているの、ともう一度聞きに行くと、先生たちは顔を青くして、ふるえあがるのです。これは日本人の英語教師だけでなくてアメリカ人の英語教師に聞いても同じことです。要するに、この人たちは「覚えなさい」という以上のことは考えてはいないのです。これが英語文法理論の実際の水準なのです。英語のことなんか何にも知らない皆さんとたいした差はないのです。ほんとうのことを言うと。

熟語を覚えてすむのであれば、辞典に載っている重要熟語を全部覚えれば、英語がもっとわかるようになるはずではないですか。実際は少しもそんなことはないではないですか。**私は、熟語で覚えよう主義が大嫌いな人間です**。熟語ですむなら文法理論などいらないのです。

さあ、この of について考えてみましょう。of だけでは

ないのです。他の with や for や in や to や by などの前 置詞の場合にもまったく同じことが言えるのです。例えば

I marry to you.

(私はあなたと結婚する)

I marry you.

(私はあなたと結婚する)

to がつくのとつかないのとどちらが正しいのか。しゃ べっている英語人にもわからないそうです。何かとっても 微妙な差がありそうな気がしますが、うまく説明はできな いのだそうです。でも何とか、前置詞がついたりつかなか ったりする場合の説明をやってみましょう。

まず、冒頭の例文の of の例ですが、

I know it of him

というふうに、knowのあとにitという代名詞を置いてみ ます。同じく、

I think it of him

というふうに考えると、この文も、なるほど、というふう になります。このように、動詞とそのあとにくる前置詞 (と言われているもの) の間には、今ひとつかくされてい る本来の目的語が浮かびあがってくる気がします。

ドイツ語の動詞にはこのように、目的語を間にはさみ込 む動詞がたくさんあります。動詞自身が二つに分裂してし まうのです。分離動詞と言います。つまり、ofknowとか ofthink という形に相当する動詞が実際にあるのです。そ して、この動詞が二つに分裂することと、同じく目的語も

二つに分裂することがあります。それを、むずかしい文法 理論では、分離主体と言います。ラテン語の文法では、 「変格」と言います。

例えば、ふつうの英語にも、

I pat him on the shoulder.

(私は彼の肩をポンとたたく)

というような重要な例文があります。これなどは,

I pat his shoulder.

と言えばすむのに、わざわざ him と shoulder を分けて考えて、しかも、その shoulder に the をつけるというキマリになっています。「彼」と「彼の肩」が分裂して置かれているので、これを分離主体あるいは、奪格と言うのです。of という語の使い方の秘密もこの辺にかくされています。

He is my friend.

(彼は私の友人です)

と言えばいいのに、わざわざ,

He is a friend of mine.

(彼は私の友人です)

という言い方を時々しますね。ここにも,分離主体のしく みが非常によく観察できます。

だから、このように、動詞のあとに of や for や with がくるときは、実はその間に、昔は本来の目的語がおかれていたのだ、それがいつのまにか省略されてしまうようになったのだ、と考えないわけにはいかなくなります。そうでないと、of がつく場合とつかない場合の区別などできなくなってしまうではないですか。

さらに言いましょう。この of はほんとうは、前置詞で はありません。think の後にあるから後置詞なのです。こ の後置詞という考え方はアメリカの文法学者の中でも新し い考え方ですが、私は採用したいと思います。ふつう、私 たちは、日本語の助詞の「て・に・を・は」と、英語の前 置詞がよく似た働きをしているということを知っています が、そのしくみのちがいを観察してみると、

### 私「は」学校「に」行き「ます」

というふうに、日本文では、私、学校、行く、という主要 な語のあとに助詞や助動詞の「は」「に」「ます」などが置 かれているのであって、「は私」、「に学校」「ます行く」と はなっていません。英文では、

I go to school.

というふうに、to school「に学校」になっているのであっ て school to とは言いません。だから、この to は、後置詞 なのです。前置詞というのは、in the morning「午前中に」 のときの in のように morning の前にあるものや, at 3 o'clock「3時に」の at のようなものを言うのです。この 区別の仕方がわかっていただけたでしょうか。

さてそこで、ふつう熟語で覚えましょう、と言うとき、 三語連語の形のものがあります。catch up with「おいつ く」や、make up for 「つぐなう」 put up with 「がまんす る」などですが、ここに出てくる up という語は、決して 前置詞ではありません。副詞なのです。前置詞と副詞はし っかり区別して下さい。

●'Look, there's Daddy,' said Michael when they saw someone at the gate.

No,' said Jane, 'that's not Daddy. That's a woman.'

3 The woman was holding her hat on with one hand, and carrying a bag and an umbrella in the other.

carrying a bag and an umbrella in the other.

carry を「運ぶ」とだけ覚えるとあとで困ったことになる。 bring とか carry はたいへん広い意味を持った言葉なので意味の広がりがかえって理解しにくくなってしまう。ここでは「持っている」でかまわない。そして、バッグと傘をそれぞれ小わきにかかえているのだから、ここでは「かかえる」という言葉の方がぴったりくる。



- 彼らが門のところに誰かを 見た時マイケルは言った。
- ②「ちがう」とジェインは言 った。「あれは女の人です」
- ③その女の人は片手に帽子 !! を持ち、もう一つの手にカ バンと傘を持っていた。



- ●「見て、お父さんがいる」: ●「ほら、お父さんだ! 門のとこ ろに誰か見えた時、マイケルが言 いました。
  - ②「ちがうわ」とジェインは言い ました。「あれ、お父さんじゃない わ。女の人よし
  - ⑥その女性は、片手で帽子を押さ え、もう一方の手にバッグと傘を かかえていました。

• When she was inside the gate, the wind blew very hard.

### When she was inside ....

日本語の「ある」「いる」には動きが含まれないが、beには「ある」だけでなく「なる」「ゆく」などの生成や移動までも含む。 she was inside the gate は「門の内側に入って行った」ということ。

- **5** It threw her at the front door of the house.
- 6 There was a loud bang and the house shook.

There was a loud bang ....
bangは「バーン」という音。音は「あった」ではなく「した」。



### 1-08-B 「ガチガチ訳」

● 彼女が門の中にいた時, ● その人が門の中に入った時, 風 風がたいへん強く吹いた。

- **5**それは彼女を家のドアの 前に飛ばした。
- ⑥大きな音と家の揺れがあ った。



がとても激しく吹きました。

- ⑤その風は彼女を家の玄関の前ま で一瞬のうちに運びました。
- ⑥バーンと大きな音がして家が揺 れました。

1-08-D

英文をその流れに沿って、前から 訳し出すクセをつけよう

when they saw someone.... (1-08-A 1)

「二人が門のところに誰かを見た時」とまず原文に忠実に 訳してほしい。しかし see は、前に find の例で述べたの と同じく、目的語の方を「~を | と置けば「見る | だが、 「~は(が)」と置けば「見える」となる。しかも日本文の 慣習からいえば、ここで見ているのはマイケルとジェイン に決まっているのだから、いちいち thev「二人は」と置 く必要はない。そこでここは「誰かが門のところに見えた 時」とすると簡潔な表現となる。ここでは、これまでの英 文和訳の習慣にしたがって、when以下を後から訳して said Michael につないだが、to不定詞についてもそうであ ったように、whenの場合にも、英文の流れの通りに読み、 前から流れにそって訳す方が適切だ。もちろん、日本語の 性格からしてすべてそのようにできるとは限らないが、で きるだけそうするべく努力しよう。するとその努力が確実 に英語を読み理解し日本語の表現として自然なものにする 能力を養うことになる。

単語を日本語の一つの意味だけで 覚えてしまうと英文は読みとれない

It threw her at .... (1-08-A 6)

It は風のこと。throwの意味は、ふつう「投げる」だが、 ここでの使い方に対してはまったく役立たない。瞬間の内 に行われる移動について使う言葉で、一語で対応する日本 語はない。carry や bring などと同様, こういう言葉は 「訳語」で覚えないでその場の雰囲気で納得しておきまし よう。

## Point 21

# 時間の幅を持つ動詞たち、 hold, keep, put, stay

She holds her hat.

彼女は自分の帽子をおさえている。

このholdという動詞は「~しつづけている」という意 味を内部に含み持っています。つまり一定の時間を継続さ せる性質の動詞なのです。このholdには似たような仲間 たちがいます。それは、keep, put, stay, go on, run と いった動詞たちです。これらも継続を内包している動詞た ちですから使えるようになりましょう。例文としては、

He runs a shop.

(彼はお店を経営している)

He keeps a dog.

(彼は犬を飼っている)

He stays there.

(彼はそこでじっとしている)

を知っておきましょう。

• How funny! I've never seen anything like that before,' said Michael.

2'Let's go and see who it is,' said Jane.

### go and see

これは go to see と同じ。「見に行く」。同様の表現に、come and see (You come to see me.) 「うちにいらっしゃい」がある。「読み終わる」のような日本語に相当するものとしては、連語動詞がある。動詞二つがつながって、動作、行為を表わすもの。「不定詞」についてはポイント圏を参照(p.100)。

### who it is.

itとして she としていないのは、まだそれが女性かどうか はっきりしていないから。ドアがノックされた時に「どな た?」と聞く場合もだから、Who is It? となる。

### ... said Jane. She and Michael ...

英語ではすぐ前の文に出た語をくり返すのは美しくないとして、避ける。したがってここでは Jane の代わりに She をもってきている。日本語ではむしろ同じ語を反復して文の調子をつけるところがあるのだけれど。



- ●「なんて変なんだ。あれに たことはない | とマイケル !! イケルは言いました。 は言った。
- ②「それが誰なのか行って見 ◎「行こうよ、誰だか見に」とジ てみよう」とジェインは言・・・エインは言いました。 った。



- ●「わあ、変なの! ぼく、あん 似た何かを前には決して見 なの今まで見たことないや」とマ

- 3 She and Michael went out of the nursery to look down the front stairs.
- 4 They saw their mother, and a visitor.
- 6 The visitor was a woman with shiny black hair —'like a doll,' said Jane—and large hands and feet.
- 6 She was very thin.
- They could just see her small, sharp blue eyes.



- ❸彼女とマイケルは一階を 見降ろすために子供部屋を 出た。
- △彼らは彼らの母親と訪問 者を見た。
- 局訪問者は輝く黒髪をした 女性で――「人形みたいだ」 とジェインは言った――大 きい手と足だった。
- 6彼女はとてもやせていた。
- ●彼らは彼女の小さくて鋭 い青い日を見ることができ too



### 1-09-0 (なめらか訳)

- ●ジェインとマイケルは子供部屋 を飛び出し、 玄関の階段を見おろ しました。
- ●お母さんとお客さんが見えまし to
- ⑤そのお客は、つやのある黒髪の 女性で――「お人形さんみたい」 とジェインは言いました――大き な手足をしていました。
  - ⑥彼女はとてもやせていました。
- :人には、やっとどうにか彼女 の小さな。鋭い青い眼が見えるだ けでした。

### 1-09-D

英文を日本語に訳すとき、

■誤訳、珍訳を恐れるな

I've never seen anything like that before, (1-09-A 1)

現在完了形になっているが、こういう文法上の形式をいちいち気にして訳し分ける必要はない。日本語にはこれに一対一で対応する表現の形式がないのだから、ひとまず英文の意味を大ざっぱにつかんだら、日本文として自然に前後につながるようにすればよい。誤訳や珍訳はどうせ避けられないのだからどんどんやればいい。間違いをやって、それが間違いだったことがわかれば、同じ間違いはやらなくなるものだから。とにかく完全な訳なんてない、誰だって(学校の英語教師だって)多かれ少なかれ誤訳、珍訳をやっているのだから、あまりガチガチに訳そうと構えないことが肝心だ。

I never saw anything like that....は「私はあのようなもの(こと)を前に全然見なかった」。さて、大ざっぱに意味がつかめたら、今度は日本語の文章表現の工夫をする。「見ていない」「見なかった」は口語では普通「見たことがない」とやる。この「こと」というのは「見る」「聞く」「する」など動作や行為を表わす動詞には何にでもくっついてしまう。現在形につくと動詞を名詞化し、過去形につくと現在までの経験を表わす。というわけで、日本語の表現にとって欠かせないこの「こと」を使ってみると、I never saw anything like that before、は「私はあんなもの

を前に見たことがない」とできる。

## Point 22

# letという使役動詞の 使い方を覚えよう

Let's goとはLet us goなのだ。つまり「私たちが私た ちを行かせる」という意味。let というのはそのうえに丁 **寧な表現が含まれる。** 

Let's を「~しましょう」とだけ覚えているから、高校 生になってから、大混乱するのです。

Let us go.の let は, 使役動詞 make の重要な一員で, この let の使い方がよくわからない人は、絶対に大学入試 レベルの英語の学力がつくことはないと思ってよろしい。 これは、元の形は、

We let us go.

(私たちは、私たちを行かせよう)

なのです。「私たちが私たち**をして**行かせしめる」と古風 な日本語で言った方がピンとくるかもしれません。「~を して~せしめる | という使い方をする動詞のことを使役動 調というのです。make, have, help, bid などがありま すが、その他に、これにきわめて接近してきている動詞と してget, want, hope, wish などがあります。とりわけ getという語は、現在のアメリカの若者たちのおしゃべり 会話を占領したと言っていいほどよく使われています。こ のget は, be, have, make, take, must などの重要動詞 の代用をしているのです。

このような一見かんたんにみえる、letという一語を、let'sで「~しましょう」というふうに軽く考えることが、あとあと英語の勉強でのたいへんなつまずきの元になるのです。

I let him go.

(私は彼を行かせる)

(You) let me see.

(あなたは私に、それを見させる)

(→あなたは私に、考えさせる)

(→ちょっと考えさせてください)

(→あのう)

(You ) let me show you it.

(あなたは**私に**あなたにそれを見させるのを,させて下さい)

(→どうぞ,これをご覧下さい)

そしてこれらもまた、第五文型という最高級にむずかしい文章の型(形ではない!)の重要な例なのです。(第五文型についてはポイント圏参照 p.357)

このlet は、「バカ丁寧に相手の許可を求める」というような意味の動詞なのです。たいへんにへりくだった(謙譲の)表現なのです。だから、この let は、英語のおしゃべりの中でもひんぱんに出てくるのです(このことはポイント③ p.236 「動名詞」のところで同じことを別の方向から考えていますが)。

英語の文章というのは, 内容の点から根本的に考えてみ

- ると、次の三つの質問型からできています。
  - 1 May I open the window?

(私が窓を開けてもいいですか)

- (2) Would you (please) open the window?
- (私のために)(どうか)(あなたが)窓を開けてくださ いませんか)
  - (3) Do (Would) you mind me opening the window?

(私が窓を開けることを、あなたは気にしますか?)

(→ [私] が窓を開けても「あなたは」いいですか)

この $(1\rightarrow 2)\rightarrow 3$ の段階で複雑化してゆく、おしゃべり質 問の形が、じっくりと理解できた人は、英語のしくみがは っきりとわかったと言える人です。わずか、この三つの言 い方の中に、きわめて高級な英語の理論がかくされている のです。しかし、ここでそれを説明しつくすことは、もは や無理と言わざるをえません。ただ、次の一行の意味を正 確にわかっていただければ、それで、私としては満足と致 しましょう。

Would you let me help you off with your coat, Madam?

(どうか、私に、貴方がコートをお脱ぎになるのをお手 伝いさせて下さいませ、奥様。)

こんな気どりに気どった表現形まで、編み出した英語と いうコトバの前で、敬語が発達しているのは日本語だけだ、 などと平気で言っている人は、考え直す必要があるでしょ う。

●'They are really very nice children,' Mrs. Banks was saying, in her soft voice.

### Mrs. Banks was saying,

進行形というのは英語にしかないが、要するに口濶上のちょっとした変化で、意味上の違いはたいしてない、と考えればいい。つまり、進行形なる文形があると考えるのではなく、be 動詞に ing がついて形容詞に変身しつつある動詞がついているとみなせばよいということだ。

### in her soft voice.

inは前置詞の中では、一番やさしいと考えられている。しかし、実際の使い方ではちょっと高級な感じのものがよくある。speak in English (英語で話す)、write in ink (インクで書く)とかのような使い方。日本人には by (~によって)とのちがいがむずかしい。

2'You won't have much difficulty with them.'

3 Above their heads, Jane and Michael looked at one another.



●「彼らはとても非常によい」 子供たちだ」バンクス夫人 は彼女の柔らかい声で言っ ていた。

- ②「あなたは彼らについて多! くの難しいことは持たない でしょうし
- 3 彼らの頭の上でジェイン とマイケルは互いを見つめ た。



### 1-10-C「なめらか訳」

●「みんなとてもよい子たちなん ですよ とバンクス夫人は、優し い声で言っているところでした。

- ② 「あなたの手に負えないような ことはありませんわし
- ③ 「話をしている〕 二人の頭上で、 ジェインとマイケルは互いに顔を 見合わせました。

- **4** The visitor sniffed loudly.
- 5 Perhaps she did not believe it.

she did not believe it.

このitはバンクス夫人の言ったこと、子供たちが面倒をかけないということをさす。

**6** 'And have you a letter,' Mrs. Banks went on, 'from the family you were working with before?'

Mrs. Banks went on, go on 「続ける」。この on は先行する言葉 saying の継 続を表わす。



### 1-10-B [カチカチ訳]

- ◆訪問者は大きく鼻をすすった。
- **⑤**たぶん彼女はそれを信じていなかった。

⑤「そして手紙を持っていますか」バンクス夫人は続けた。「あなたが前に働いていた家庭からの」



### 1-10-0 「なめらか訳」

- ◆そのお客は、大きな音をたてて 鼻をすすりました。
- ●たぶん、彼女は [バンクス夫人の言う] そんなこと信じていなかったのです。

●「それで、紹介状をお持ちかし ら」とバンクス夫人は続けました。 「前にお勤めになっていたお宅から のものを?」

### 1-10-D

▼really は口語でよく使われる

■「本当に」「すごく」といった強めの表現

They are really very nice children, (1-10-A 1)

このthey は children だが、この家のすべての子供たちを含むので、「みんな」と訳した。こういうところが、日本文の方に工夫がいるところで、「彼らは」とやると「彼ら」が誰をさすのか漠然としてしまう上に、唐突な感じさえ与える。 really は「本当に」「すごく」といった口語の感じが強い語。

have には「持つ」という意味だけではなく 「ある|「なる」という意味もある

'You won't have much defficulty with them.' (1-10-A 2)

You won't はyou will notの短縮形。haveは、「持つ」ではなく「ある」ないし「なる」の場合もある例(別項ポイント図参照 p.140)。with については、まず「と」と覚えるといい(with はそのほかに付帯状況、理由、所有、材料を表わすが、これらも、基本の「と」で表わされる関係から派生する)。

### Above their heads,.... (1-10-A 3)

above は前に出た upstairs と同様副詞で、「 $\sim$ の上に」という方向を示す。 their heads はバンクス夫人とお客の頭。この二人の頭上で、ジェインとマイケルは、 looked at one another 「たがいに顔を見合わせた」 look には「目」だけでなく「顔」も含まれている。「 $\mu$ 0スがいい」な

んて日本語にもなっているぐらいだから。one another は each other と同じ「たがいにし

前にある名詞が目的語や補語のとき

■関係代名詞は省略される

'from the family you were working with before?' (1-10-A )

これはvou were working with が the family にかかっ ているもので、関係代名詞が省略された文。the family と vouの間にwhichが入る。work with「~と働く」は、相手 が場所や集団の場合、「~で働く」となる。「あなたが「そこ で]働いた家庭|という風につながるのを、whichが入ると、 そのwhich が場所を示すことになる。前にある名詞が、 それにつながる後の文章の目的語や補語になっている時に は、関係代名詞は省略されるが、これもその一例。

## Point 23

# haveを「持つ」 とだけ知っててもダメ

have は be 動詞の次に大事な動詞 be 動詞と have は兄弟なのだ。 be 動詞は必ず have に置き換わる。 You have difficulty with them. あなたは彼らに手こずる。

①You have difficulty with them. (あなたは彼らにむずかしさを持つ)

(→あなたは彼らに手こずる)

have は、be動詞のつぎに重要な動詞であることは、誰でも知っています。英語の動詞は、beとhaveとdoが横綱クラスで、あとはまあ、getと make とか think とかが大関とすれば、その他の40個ほどの幕内力士がいて、あとの一万語ぐらいの動詞は、すべて、ヒラの動詞たちです。このヒラたちは、要するに「~する」という日本語の形で覚えられるものです。

だから、beとhaveとdoの関係がどうなっているのかさえ、しっかりと理解できていれば英文は読めるわけです。

さて、be動詞とhave動詞は、実は兄弟です。be動詞を使って言える表現は必ずhave動詞を使った文に置き換わると、私は断言しておきたい。したがって、はじめのこの例文も、もともとは、

(2) They are difficult for you.

(彼らは、あなたにとって難しい)

(→彼らは、手のやける子供たちですよ)

なのです。それを、何かのはずみで、おしゃべりの相手で ある You (あなた) を主語にして言おうと思ったら、とた んにYou have (a) difficultyというように、difficult(む ずかしい)という形容詞を、difficulty(むずかしいこと) という名詞に置き換えて、それをhaveという動詞で結ん だ形で言ってのけたのです。ここに. 英語の文章というも のが持っているひとつの、大きな特徴があります。beの 文と、haveの文は、相互に置き換わるのだ、という私な りの考えを、もっとわかりやすくしてみましょう。皆さん は、中学二年生で、

We have much rain in Japan in June.

(私たちは、日本で六月に雨をたくさん持つ)

(→日本の六月は、梅雨の季節です)

という言い方を習います。あるいは、

We have two children.

(私たちは二人の子供を持つ)

(→私たちには、二人の子供がいます)

という文章も習いました。

これは、haveをそのまま直訳して「持っている」と頭 の中でやって、それから、それを、それぞれの文章の流れ (context といいます) に合わせて「雨が多い」とか「子供 がいる というふうに、日本文にするのでしたね。だから、 この場合のhaveの使い方には強いクセがあって、それは

英語独特のクセなのだということに気づく必要があるので す。この二つの英文は、それぞれ、書きかえてみると

### (存在の文)

There is much rain in Japan in June.

### (存在の文)

It rains much in Japan in June.

### (物主語の文)

June is the rainy season in Japan.

(この場合は人間中心の文がまさしく We have ....なのだ)

あるいは,

### (存在の文)

There are two children in my family.

### (物主語の文)

My family consists of two children and us couple.

### (人間主語の文)

Two children are in my family.

このように言いかえられなければならないのです。

さて、そういうわけで、冒頭のhave difficultyの形も、素直にやれば、be difficultでよかったのです。だから、ここではhaveという根本的な動詞を、「持つ」とだけ覚えて、

それでどんな場合でも切りまくろうと思っているとしたら. それは野蛮で原始的な学習法だから、もうそろそろやめに した方がいいですよ、ということを結論にしておきましょ う。

ヒントとしては、haveというのは実は、heの弟子なの ですから、beの根本が「~がある」という「存在」の意 味だとすると、haveは、それよりも「もっと身近の存在」 を含んでいるというふうに考えるとわかりやすいと思いま す。すなわち、「子供がいる」「雨がある」なのですよ。

と、ここまで書いてきて、実は、もう少しだけどうして も説明しておかないといけないことがあることに気づきま した。それは、Itというコトバとからまってきます。冒頭 の例文の言いかえの方(②の文)は、受験用英文では、

It is difficult for you to get along with them.

(その子供たちとうまくやってゆくのは、なかなかたい へんですよ)

というふうに、It is で始まる文章になることになってい ます。そして、この形の方が基本だ、というような教え方 をします。ここが、日本人が英語となかなかお友達になれ ないひとつの壁だということを、早く、日本の英語教師の 皆さんに気づいてほしいですね。

このItを、「仮主語」と言って、「to以下」を「真の主語」 として、これを「It ~ toの構文」などと称して、平気で 参考書を書きまくっている受験屋先生たちがほとんどです が、もっとよく考えてみて下さい。

Itが文章の頭にくるということのスゴさをもっと深く考

えてみなければいけないのです。たいていの参考書では、「意味上の主語」として It しか主語に取れない形容詞は決まっているとして一覧表があって、difficult の他にも、impossible (不可能な)、careful (注意深い)、good (よい)、kind (親切な)、stupid (おろかな) ……などが書かれています。

だから、例えば、

English is difficult for us to learn.

(英語は、学ぶのがむずかしい)

という言い方よりも,

It's difficult for us to learn English.

に直せ、というようなことばかりを私たちに教え込ませようとするのが、日本の英語教育のやり方なのです。

「英語はむずかしい」と、私たちがアメリカ人の前で、とっさに言いたい、と思ったら、

English is difficult.

でいいではないですか。だから同じように、冒頭の「子供たちとうまくやってゆけないだろうな」の文も

3 I am difficult with them.

でも、いいではないですか。それを、何が何でもIt is ~の文章で言わせようとする態度、かつそれ以外は認めようとしない(試験問題としては、③は、まちがった文ということになっています)態度。このことを、なんとかしないかぎり、日本人が英語と仲良くなる時代はなかなかやってこないのではないでしょうか。





• The visitor said coldly, 'I never bring a letter from another family to a new place. That kind of thing is very out-of-date now.'

### I never bring a letter ....

a letterは紹介状のこと。普通は履歴書をそえる。履歴書のことを英語では personal history あるいは、のでは、かった。からながなった。 イギリスなどでは、前の職場の上司や雇い主が書いた紹介状が、採用の際に大きな役割をはたす。紹介状は一種の証言なので、裁判同様、判断を下すための証拠として扱われ、紹介状を書く方も、そういう扱われ方を承知の上で書くという慣行がある。

2'Oh, yes, very well then,' said Mrs. Banks quickly.

3 She did not want to be out-of-date.

**4** 'Now, please follow me upstairs to the nursery.'



## 1-11-B「ガチガチ訳」

●訪問者は、冷たく言った。 「私はもう一つの家庭から新 しい場所に決して手紙は持 って来ない。そんな種類の ことは今では非常に時代遅 れだ」

- ②「おう、そうです。そのようだ。それから」バンクス 夫人は急いで言った。
- ❸彼女は時代遅れであることを望まなかった。
- ◆「さて、どうぞ私について 二階の子供部屋に行きまし ょう」



### 1-11-C「なめらか訳」

●お客は冷たく言いました。「私, よそのご家庭からの紹介状を,新 しいところへ持って行くことはい たしません。そんなことは,この ごろでは,時代遅れですわ」

- ②「あら、ええ、そうですわね」 とバンクス夫人は急いで言いました。
- **③**夫人は時代遅れになりたくなかったのです。
- ●「では、さぁ、二階の子供部屋 にまいりましょう」

- **5** She went upstairs first.
- 6 So she did not see what the children saw.

The visitor, with her large bag in her hand, just jumped upstairs in one jump.

- Her feet did not touch the stairs at all, and she arrived at the top at the same time as Mrs. Banks.
- Jane and Michael often jumped down the stairs, yes, but up — in one jump — never.



# 1-11-B [ガチガチ訳]

- 5彼女は最初に二階へ行った。
- **⑤だから彼女は子供たちが何を見たのかを見ることができなかった。**
- ●訪問者は、彼女の腕の中に 彼女の大きなカバンを持っ て、一つのジャンプでまさ に二階へ飛び上がった。
- ③彼女の足は、階段に全然ふれなかった。そして、彼女はバンクス夫人と同時にいちばん上に到着した。
- 動ジェインとマイケルはしば しば階段を飛び降りた、は い、しかし、飛び上がる 一一つのジャンプで── ことはしなかった。



## 1-11-C「なめらか訳」

- ⑤夫人が先に階段を上がりました。
- ●そのため夫人には、子供たちには見えたものが見えなかったのです。
- ●お客は、大きなバッグを手に、ひとっ飛びで二階まで飛び上がったのでした。
- ●その足は階段には全然さわらないのに、バンクス夫人と同時に
  [階段の]上に着いていました。
- ●ジェインとマイケルだって、よく階段を飛び降りましたが、でも 飛び上がる——しかもひとっ飛び で——なんてとてもできたもので はありません。

### 1=11=D

what は先行詞 the thing を

■自分の中に含んでいる関係代名詞だ

That kind of thing (1-11-A 1)

「そんなこと」「そういうたぐいのこと」、つまり「紹介状を持ってくるようなこと」。かなり強調した表現で、普通ならItですむところだ。thing というのは、日本語の「こと」「もの」と重なるが、日本語の「こと」「もの」ほど融通はきかない。

very というコトバは強めのコトバ かならずしも訳し出す必要はない

very out-of-date now (1-11-A 1)

very は強めで、必ず訳さなければならないようなものではない。ここでは「~ですわ」の「わ」で強めの代用をさせている。out-of-date 三語でひとつの形容詞をつくっているので、間をハイフンでむすんでひとまとまりの語であることを表わしている。「時代遅れ」「流行遅れ」「時期はずれ」。

## she did not see what the children saw. (1-11-A6)

what は関係代名詞で、the thing which に置き換えてもいい言葉。それが she did not see it  $\mathcal{E}$  the children saw it  $\mathcal{E}$  との二つの文のそれぞれの it をつないで一文にしている。 she did not see the thing which the children saw に置き換える $\mathcal{E}$  きゅ did not see the thing 「彼女はそのものを見なかった」、その見なかった「もの」とは何かというと

which, それはthe children saw it. 「子供たちが見た」。 つまり、she did not see the thing. The children saw it. の the thingとitが同じものであることを which が示す、 という形になっている。こうして which の場合には the thing に当たる何らかの名詞が前に置かれて、それに後の 文をつなぐという働きをするわけだが、what は the thing まで自分の中に含んでしまっている形の関係代名詞だ。そこで、「彼女(バンクス夫人)は、子供たちが見たものを見なかった」となる。この「もの」が what に含まれ、その「もの」は子供たちは見たがバンクス夫人は見なかった「もの」として、what の中でつなぎ合わされ重ねられる。バンクス夫人がお客の先に階段を上がって行き、階段の上から子供たちが見おろしているという情景からすると、ここは、「夫人には、子供たちには見えたものが見えなかった」と訳した方が自然だろう。

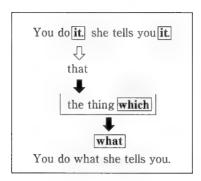
# Point 24

# what とは先行詞を 食べている関係代名詞

You have to do what she tells you to do. (p.178) あなたは、彼女があなたにしなさいと命じたことをしなければいけません。

この文をもっとかんたんにすると,

You do what she tells you. となって、これは、途中を分解してみると、



# となります。

what は、すなわち、the thing which という三つの語を、内部に含んでいる関係代名詞であるということがわかります(関係代名詞のしくみの表→ポイント図参照 p.185)。

ふつうWhatは、文章の頭にきて「何が」というふうに使われます(このWhatを疑問代名詞と言います)が、それ以外の使われ方をしているwhatはすべて、この関係代名詞のwhatであると考えていいのです。しかし、これを「何」だと思いこんで読もうとするから、私たちはバタバタあわてしまうのです。このwhatとは「こと」なのです。もっと言うと「そしてそのこと」なのです。

したがって、このように、文章の中に出てくる what は、必ずその場で the thing which と書きかえて下さい。そして、関係代名詞の文章というのは、前に述べたとおり(ポイント図参照 p.185)、二つの文章をガチャンと、前後に衝

突させて、まるでひとつの文章のようにしてしまうことで した。その二つの文章のそれぞれがまるで、列車のようで あって、その間をつないでいる連結機 joint が、関係代名 詞なのです。

そして、ここでは、ふつうの関係代名詞とちがって、 what は、thing (あるいは it) という先行詞 (前の方の 文章がさし出すべき分のコトバ)を内蔵している。ちょっ とだけ偉い関係代名詞なのです。さあ、このことさえわか れば、あとは、自分でできます。ちょっとだけ練習してみ ましょう。

① I don't know what you like.

# the thing which

(私はあなたの好きなものを知らない)

② I bought what was sold in the shop.

# the thing which

(私は店で売られているものを買った)

3 What he did is not what I did.

## the thing which

(彼がしたことは私がしたことではない)

念のため言いますが①の文のwhatを「何」という疑問 代名詞だと考えてもいいのです。つまり「私はあなたは何 が好きなのか知らない」とやってもいいのです。それは、 まったく同じことなのです。

■ Mrs. Banks saw the children and said, 'Now, Jane and Michael, come and say how-do-you-do to your new nurse.

② Her name is Mary Poppins. And these,' she said, and waved her hand at the twins, 'these are the babies — the twins. Is that all right now?'

**3** 'Yes, it'll be all right if *I'm* pleased,' said Mary Poppins.

 She took out a very large red and white handkerchief and blew her nose on it.



- ●バンクス夫人は子供たち を見た、そして言った。「さ あ、ジェインとマイケル、 来であなたたちの新しい保 母に『今日は』を言え。
- 2 彼女の名前はメアリー・ ポピンズだ。そして、これ らは と彼女は言い、そし て双子に彼女の手を波立た せた。「これらは赤ちゃんた ち――双子だ。今は大丈夫 だろうか?
- ③ 「はい、もし私が楽しめ るのなら大丈夫だろう」と メアリー・ポピンズは言っ ton
- △彼女は非常に大きな赤と白 のハンカチを取り出し、そして その上で彼女の鼻を吹いた。



### 1-12-C「なめらか訳」

- ●バンクス夫人は子供たちを見て. 言いました。「さあ、ジェインとマ イケル、こちらに来て、あなたた ちの新しい保母さんに、「はじめま して のあいさつをなさい。
- ②この方はメアリー・ポピンズさ んですよ。それから、こちら」と 夫人は双子の方に手を振って、言 いました。「この子たちは赤ちゃん ----双子ですの。さて、これで全 部ですが、よろしいかしら? |
- ◎「ええ、「あとは」私の方が納得 がいけば、それでけっこうでござ いますわ | とメアリー・ポピンズ は言いました。
- ●彼女は紅白の大きなハンカチー フを取り出して、鼻をかみました。

**5** Then she took a long look at all the children.

**6** 'Will we be good enough?' asked Michael, but Mrs. Banks said, 'Michael, be quiet now!'

- For another long minute Mary Poppins looked at the children.
- She was trying to decide if she liked them or not.
- 9 Then she gave a loud sniff, and said, 'I'll come.'



- 6 それから彼女は子供たち 全部に一つの長い見ること を取った。
- ⑥「ぼくたちは充分に良い」 だろうか? | とマイケルは たずねた。しかしバンクス 夫人は言った。「マイケル、 今は静かにしていなさい / |
- **かもう一つの長い間、メアリ** ー・ポピンズは子供たちを 見つめた。
- 8もし彼女が彼らを好きか嫌 いか彼女は決定することを 試していつづけた。
- **9**それから彼女は大きく鼻を すすることを与え、そして 言った。「私は来るだろう」



- ⑤それから、子供たちをまじまじ と見つめました。
- ⑥ 「ぼくたち、いい子になれるか な?」とマイケルがたずねました が、バンクス夫人は「マイケル、 静かになさい。 今は! | と言いま Lto
- ●次の一分間が長く感じられるほ どの間、メアリー・ポピンズは子 供たちを見つめていました。
- ❸彼女は、この子供たちを好きに なれる**かどうか**、決めようとして いました。
- ●やがて、彼女は大きく鼻をすす って言いました。「いいですわ。私、 [こちらに] ごやっかいになります!

■ When their mother left the nursery, Jane and Michael went over to Mary Poppins.

### went over to

overはup, down, out などと同じ副詞。ジェインとマイケルがメアリー・ポピンズの方へ「かけよる」の「よる」という感じをこの overが出している。「うちに遊びに来いよ」という場合、Please come over to my place. とこの overを使うが、ここにも「よる」の感じが生かされている。

2 She didn't move, but stood in the middle of the floor, with her hands in front of her.

3'How did you come here?' asked Jane.

4 'Did the wind really blow you?'



●彼らの母親が子供部屋を 去った時、ジェインとマイ ケルはメアリー・ポピンズ にかけよった。

- かし、彼女の両手を彼女の 前にして、床の真ん中に立 っていた。
- ❸「どのようにしてあなたは」 ここに来たのか? | とジェ インはたずねた。
- ▲「風は本当にあなたを吹き」 寄せたのか?



●母親が子供部屋からいなくなる と、ジェインとマイケルはメアリ ー・ポピンズの方へかけよりまし to

- ②彼女は動かなかった。 し : ②彼女は動かず、ただ部屋の中央 に、両手を前にして立っていまし to
  - ●「どうやってここに来たの?」 ジェインがたずねました。
  - ▲「本当に風に乗って来たの?」

6 'Yes, it did,' said Mary Poppins.

- **6** She took off her hat and hung it on the end of the bed.
- Then she put a key into the lock of her large bag.

8 Michael could not take his eyes off her.

9'What a funny bag!' he said.



- **6** 「ええ、それはしたのだ」 とメアリー・ポピンズは言 った。
- ⑥彼女は彼女の帽子を脱い でベッドの端の上にそれを かけた。
- → それから彼女は彼女の大き なカバンの錠に鍵を入れた。

- 8マイケルは彼の目を彼女 から離すことができなかっ た。
- ♀ 「なんて変なカバンだ!」 彼は言った。



### 1-13-C 「なめらか訳」

⑤「ええ、そうですよ」とメアリ ー・ポピンズは言いました。

- ⑥彼女は帽子を取って, ベッドの 端にかけました。
- **②それから**、鍵を彼女の大きなバ ッグの鍵穴に差し込みました。

- ❸マイケルは彼女から目を離せま せん。
- ●「変なバッグだな!」とマイケ ルは言いました。

• But when Mary Poppins opened it, it was more surprising still — because there was nothing in it.

more surprising still

この still は副詞で、「さらに」とか「もっと」の意味。比較級の副詞 more を「もっと」強める働きをする言葉。



**の**しかし、メアリー・ポピン ズがそれを開けたとき. そ れはまだもっと驚きだった。 驚くべきことがありました―と なぜならばその中には何も なかったから。



●けれども、メアリー・ポピンズ がそのバッグを開けると、もっと いうのは、その中には何もなかっ たのです。

### 1-12-D

takeという動詞の持つ 意味の広がりを感じとろう

She took out a very large red and white handkerchief.... (1-12-A 4)

「彼女はとっても大きな紅白のハンカチーフを取り出した」。

a very large...以下の全部がhandkerchiefを形容している。このように形容詞を重ねて使う書き方が英文では日本文よりも多い。そのために形容詞をつづけて訳すときになめらかな訳にならないで苦労することが多い。

take out の out はいままで出てきた up, down, offな どと同様副詞風に考えて, take「手に取る」の強めとして 扱うことにしよう。out は in との対比では「外」の意味を示すから「取り出す」だろう, と見当がつけば, これはもう相当英語がわかった, ということだ。take out といった「熟語」を覚えようなどとしない方がいい。takeをちゃんと覚え, outをちゃんと理解できれば, あとは何とか連想できるのだから。

Then she took a long look at all the children.

(1-12-A 6)

この take は have, get, let, make, put など, 特殊な意味のひろがりを持つ動詞で, ここでは「すべての子供たちを長く見ることをしていた」と読めるもの。ここは take a long look at といった「熟語」として考えようとす

るだろうが、そうではない。なぜなら、意味においては、 she looked at all the children for a whileと等しいのであ って、ちょうど日本語で「見た」と「見たことがあった」 とが同じことであるのと同様だ、lookとtake a look とは. 口調ないし表現上の差異を持つだけだからだ。つまり. take a long look at 12, look at for a while for a while & いう副詞をtake a long lookに置き換えただけのこと。こ こを「まじまじと見つめました」と訳したのは、take a long look at を look ~ for a while の副詞をつかった表現 にいわば先祖がえりさせたわけ。ただ a long にしろa while にしろ長さや時間の意味を示す言葉で、意味の上で は「まじまじと」に対応しないので、これは意訳というべ きだろう。

# Point 25

# これだけは覚えておきたい 重要接続詞の使い方

主な接続詞の使われている様子を表にしてみました。

- 1 When <u>A</u>, <u>B</u>.
  - (A。するとBだ)
- 2  $\underline{\mathbf{A}}$ , and then  $\underline{\mathbf{B}}$ .
- 3 As <u>A</u>, so <u>B</u>. (A なので B だ)
- 4 Since <u>A</u>, <u>B</u>. (A なのでBだ)
- 5 Though <u>A</u>, <u>B</u>. (A なのだが B だ)
- 6 <u>A</u>, because <u>B</u>. (A だ。なぜならばBだから)
- 7 <u>A</u>, for <u>B</u>. (A だ。というのはBだから)
- 8 While <u>A</u>, <u>B</u>.
  (A ではあるが B だ)
- 9  $\underline{\mathbf{A}}$ , and  $\underline{\mathbf{B}}$ .
- 10 <u>A</u>, but <u>B</u>.
  (A そしてB だ)

接続詞の使い方として重要と思われるのは、左の10通 りだと思います。これだけの接続詞をそれなりに使えさえ すれば、あらゆる英文に応用できるでしょう。ここでは、 それぞれ例文をあげることはしませんので、皆さんが、な るほどと思っていただければ、それでけっこうです。

とくに注意するポイントとしては. 9と10の and と but という、この、あまりにありふれた接続詞の「そして」 と「しかし」が、英文と日本文では、時々、逆の意味に取 らなければならない場合が、あるということです。このテ キストでも、何カ所かあります。それは、英米人の考えの 流れ方と、日本人の考え方に、ちょっとちがっている点が あることを示しています。例えば、

He said nothing, but he smiled.

を、「彼は何も言いませんでした。しかし、ほほえみまし た」とやるよりは、「彼は何も言いませんでした。そして ほほえみました」とやった方がいい場合があるのです。こ のbut には、強い逆説の意味がないからです。反対から言 えば、私たちがよく使う日本語の使い方に「~なのですが」 というのがあります。

「私たちはそこへ行ったのですが、誰もいませんでした」 11.

We went there, but I found nobody there.よりも, We went there, and I found nobody there. と and にした方が、適切なのです。

- 1 'Look,' said Jane, 'there's nothing in it!'
- ②'What do you mean nothing?' asked Mary Poppins, with a very angry look at Jane.

- 3'Nothing in it, you said?'
- **4** And saying that she took out from the empty bag a clean white apron and tied it round her.

### And saying that....

ここはちょっと難しい。というのは、saying の主体が誰か、実ははっきりしないからだ。ジェインが言ったとすると、彼女が「何もない」と言ったにもかかわらず、という意味になる。これは一応、文法上あり得なくはない。一方メアリー・ポピンズだとすると、すぐ直前のセリフを「言いながら」ということになるが、文法上ちょっと無理がある。少なくとも、And she、saying that....としなければならない。ここでは「そう言いながら」と訳したが、これは前後の文脈を考えた無理のない意訳と考えてほしい。いずれにせよ、このsaying that の置き方は英文でも避けるべき表現と思ってもらってかまわないがろう。



- ●「見よ」とジェインは言っ た。「その中には何もない」
- 2 「何をあなたは意味したの か---何もないか? | とメ アリー・ポピンズは非常に **怒った様子で聞いた。**
- 3 「その中には何もないとあ なたは言ったのか?
- ●そして、言いながら彼女 は空のカバンから一つの白 いエプロンを取り出し、そ して彼女のまわりにまきつ けた。



### 1-14-C 「なめらか

- ●「見て」ジェインが言いました。 「中には何もないわ!」
- 「何もないって――どういう意 味? | メアリー・ポピンズは、ジ エインにとても怒っているような 眼をむけながら、たずねました。
- ③「中に何もないって、言ったわ 12? I
- ●そして、そう言いながら、彼女 は空のバッグからきれいな白いエ プロンを取り出し、自分の体にま きつけました。

**6** Then she took out a large cake of soap, a toothbrush, a box of hair-pins, a small glass bottle, and a folding chair.

a large cake of soap.... a box of hair-pins, この場合の of の用法は「ひとつの大きな角石けん」、「一箱のヘ アピン」と頭の方から訳す。目的属格の of という。

6 Jane and Michael could not believe their eyes.

Thus I saw it,' said Michael.

(a) It was empty.



局それから彼女は大きな石 けんのケーキ。一つの歯ブ ラシ、一つのヘアピンの箱、 一つの小さなガラスびん。 そして一つの折りたたみ椅 子を取り出した。

- fi ジェインとマイケルは彼 らの日を信じることができ なかった。
- **介**「しかし僕はそれを見た」 とマイケルは言った。
- ❸「それは空っぽだった」



●それから、大きな角石けん、歯 ブラシ、ヘアピン箱、小さなガラ スぴん。そして折りたたみ椅子を 取り出しました。

- ⋒ジェインとマイケルは自分たち の目が信じられません。
- ●「でも、ほく見たよ」とマイケ ルは言いました。
- ●「空っぽだったのに|

### 1-14-D

take out from は take out of と同じ意味

she took out from the empty bag a clean white...

(1-14-A 4)

この take out from は、ポイント② (p.77) にあった 「out of と from のちがい」と同じで、本来は take out of なのだ。従ってこの文を正確に書きかえると、She took out a clean white apron from the empty bag なのだ。もっと厳格に書くと take out an apron out of the bag なのだ。

take out 「 $\sim$ を(外 $\sim$ )取り出す」なのだから「 $\sim$ から」の意味は含んでいない。実は,a clean white apron の箇所が長すぎるために文章の後ろの方に回されてしまって the empty bag を前に持って来たために,fromが仕方なくここに置かれることになってしまったのだ。out of と from はこのように紛らわしい。

# Point 26

# 分詞構文は むずかしくない

In no answering to him, she watched it. 彼に答えようともしないで、彼女はそれを見ていた。

このように、文章の頭に主語が来ないで、いきなり~ ing (これを現在分詞と言います。ポイント図を読んで下 さいp.236 )という語で始まる文章を「分詞構文 | participial constructionと呼びます。

英文の中で分詞構文に出会うとゾッとして、全然読めな くなってしまう人がたくさんいます。しかし分詞構文は. それほどむずかしいしくみをしていません。英語国民のお しゃべり口調がそのまま英文になったのだ、と考えるとよ くわかるのです。つまり、ふつうの文のように「私は」と か「彼は」とかの人間主語で始めたくないような気分のと きに、主語をはぶいてしまって、その上で動詞を ing 形 にしてポンと前に出した言い方なのです。例えば.

(1) Walking in the park, I met him. (公園を散歩していたら、彼に会った)

この walking は、

When I walked in the park. I met him.

という形に戻せます。つまり、後ろの方の文の人間 I(私) を前の方の文に復活させてかつ動詞を元の形に戻し、それ から適当な接続詞 (AsかWhenか、Ifか、And、Though これだけでよいのです。このうちどれかです。)を頭につ けさえすればいいわけです。

2) Being ill in bed, she can not go out. (病気で寝ているので、彼女は来れません) これは.

As she is ill in bed....

に直ります。このように「分詞構文」は、これだけのこと がわかっていれば必ず読めるのです。

● The last things Mary Poppins took out were a large medicine bottle and a spoon.

They could read on the front of the bottle 'One teaspoon at bedtime.'

They could read on the front of the bottle...

「ビンには……と書いてありました」と訳すしかない。このような they は「非人称主語」なのだ。「人間ならば誰でもよい主語」としての they なのだ。「彼ら」という特定性は全然ない。このような言い方は日本文にないので、しっかりと区別をつけよう。

Mary Poppins now poured something dark red into the teaspoon.

### something dark red

something には形容詞が後ろからつく。従って dark something とはならないで、必ず something dark となるのだ。このきまりは、something の thing という「物、事柄」を表わすコトバが世の中のすべての事をつつみこんでしまうぐらい大きなコトバだからだろう。



## 1-15-B「ガチガチ訳」

- ●メアリー・ポピンズが取り出した最後のものは一つの大きな薬びんと一つのスプーンだった。
- ②彼らはそのびんの前に 「寝るときにスプーン一杯」 と読むことができた。



### 1-15-C「なめらか訳」

- ●メアリー・ポピンズが最後に取り出したのは、大きな薬びんとスプーンでした。
- ●子供たちには、そのびんの表面 に「競狩時にティースプーン一杯」 と [書いてあるのが] 読めました。

●メアリー・ポピンズは、そこで、何か濃い赤いものをティースプーンにつぎました。

- 4 Michael was very interested.
- (5) 'Is that your medicine?' he asked.
- 6'No,' said Mary Poppins,
- Tit's yours,' and she held out the spoon to him.

❸'But I don't want it. I don't need it. I won't take it…' he began.



## 1-15-B「ガチガチ訳」

- ▲マイケルは非常に興味を 持った。
- ⑤「あれはあなたの薬なの」 と彼はたずねた。
- ピンズは言った。
- **1** 「それはあなたたちのため」 だ」そして彼女はそのスプ ーンを彼に差し出した。
- ❸「でも僕はそれを欲しくな」 い。僕はそれを必要としな い。僕はそれを飲まないだ ろう……」彼は、始めた。



- ●マイケルは、とても興味を引か れました。
- ⑤「それあなたの「飲む」お薬な の? | とたずねました。
- ⑥「いいえ」とメアリー・ポ ... ⑥「いいえ」とメアリー・ポピン ズは言いました。
  - 言って、彼女はスプーンをマイケ ルの方に差し出しました。
  - ■「やだ、ぼくそんなの欲しくな い。いらないよ。飲まないからね …… | とマイケルは「言い] 始め ました。

• But Mary Poppins' eyes were on his face, and Michael found something out.

You have to do what Mary Poppins tells you to do.

You have to do what Mary Poppins tells you to do. この You はマイケルだけではなく読者である皆さんをも含んでいて、「人はみな誰でも」を意味する。これは、前に They の例でも述べたように、非人称の You だ。

Something about her made him afraid, and yet was very exciting.

4 So he shut his eyes and opened his mouth.



#### 1-16-B「ガチガチ訳」

- ●しかしメアリー・ポピンズ の目は彼の顔の上だった。 そしてマイケルは何かを発 見した。
- ②メアリー・ポピンズがするべきだとあなたに告げたことをあなたはしなければいけない。

- ●彼女についての何かが彼を恐れさせた。そして、それでも非常に刺激的だった。
- ◆そこで彼は彼の目を閉じ、そして彼の口を開けた。



### 1-16-C「なめらか訳」

- ●けれども、メアリー・ポピンズ の目はマイケルの顔にそそがれて いて、マイケルは、何か変な感じ にとらわれました。
- ●どんな人でもメアリー・ポピン ズにするようにと言われたことは やらなければならない[というこ とを感じたのです]。

- ●彼女についての何かが、マイケルを不安にさせましたが、でもそれはとても人々を、興奮させるものでした。
- ◆それでマイケルは目を閉じて口 を開けました。

- **6** His tongue touched something very nice, and he smiled happily.
- 6'It's chocolate ice!' he cried.

#### he cried.

cry は普通「叫ぶ」と訳されるが、「叫ぶ」ではちょっと強すぎる場合もある。cry の幅は「~と言う」から「叫ぶ」までの間をおおっているので文脈に応じて「声を張りあげた」とか「大声で言った」とか訳す工夫がいる。

More, more, more!' But Mary Poppins, with a stern face, was giving a different spoonful to Jane.



### 1-16-B「ガチガチ訳」

- ⑤彼の舌は非常に素敵な何ものかにふれた。そして彼は幸せに笑った。
- ⑥「それはチョコレート・アイスだ」と彼は叫んだ。

⑦「もっと、もっと、もっと /」
しかし、メアリー・ポピンズは厳しい顔で一つの違ったスプーン一杯をジェインに与えつづけていた。



### 1-16-0「なめらか訓」

- ●彼の舌に何かとてもおいしい味が触れ、マイケルはしあわせそうにほほえみました。
- 「これ、チョコレート・アイスだ!」と彼は大声をあげました。

●「もっと、もっと、もっと!」
けれど、メアリー・ポピンズは、
いかめしい顔をして、別の一杯を
ジェインに与えようとしていまし
た。

This spoonful was green-yellow-silver, and Jane loved it.

 But then Mary Poppins carried her spoon across to the twins, and Jane cried out at once, 'No no, they're too young for medicine!'



### 1-16-B「ガチガチ訳」

- ③このスプーン一杯はみどり・黄色・銀色だった。そしてジェインはそれを愛した。
- ●しかしそれからメアリー・ポピンズは彼女のスプーンを双子の方に横切って運んだ。そしてついにジェインは叫んだ。「だめ、だめ、彼らは薬のためには若すぎる」



### 1-16-C「なめらか訳」

- ●この一杯は黄緑がかった銀色で、 ジェインはそれがとても気に入り ました。
- ●それでもそれからメアリー・ポピンズは、そのスプーンを向こうの双子の方へ持って行きましたが、そのとたん、ジェインが大声をあげました。「だめ、いけないの、この子たちはまだ小さくてお薬は無理よ!」

#### 1-15-D

感情を表現するときは、英文では受動態がもちいられることが多い

Michael was very interested. (1-15-A 4)

interestedを「興味深い」という形容詞として扱うこと が常識化されているが、これはbe surprised, be pleased, be shocked など感情、表現に用いられる動詞たちは、受 動態で表わされるという傾向の一例として理解した方がよ い。情念というのは英語で passion. これは action の対とし て受動の意味を持つくらいで、強い感情は外からやってき て人間を受動状態に置く、という発想がヨーロッパ世界に は広くある。だから「マイケルは興味を持つ」のではなく 「興味を引かれる」とする方がこの表現の意味に忠実だろ う。あるいは「ひきつけられた」なり「驚かされた」とし てもいい。普通 be interested in と in がつく形で覚えさせ られるが、ここにみるように、別になくても問題ない。た だ目的語が次に来た時には、一種のゴロあわせみたいなも のだが inを入れる。この場合の in は、言葉のつづき具合 をよくする、という働き以上のものではないが、逆にそう いう慣習というのは欠けると奇異な感じを与えるわけで, inはやはり目的語がくると欠かせない。

### 1-16-D

be動詞十前置詞の

▮形を覚えよう

But Mary Poppins' eyes were on his face, (1-16-A ●)

「メアリー・ポピンズの目が彼の顔の上にあった」という ことで、「~にそそがれていた」となる。

だから、意訳といっても、英文からそんなにかけ離れた ものではない。ここの例に限らず、be動詞+前置詞ない し副詞の形は重要。形容詞や名詞と結びついて、イコール の働きをするbeの前に、「存在のbe」を考えると、Lam in the room. I am at the desk. I am out of the house & ど、be動詞+前置詞(副詞)の結びつきが、他のあらゆ る動詞の根底にある。とさえ言える。

## Point 27

# 関係代名詞というのは、 二つの文章をつなぐ品詞

英文を列車に例えれば、関係代名詞は連結機にあたる。 つながれる車両が違えば、関係代名詞も変化する。 The last thing she took out was a bottle. 最後に彼女が取り出したものは、ビンでした。

このテキスト例文の. The last thingとshe の間に、 which という関係代名詞がかくれているのです。省略さ れていると言っても同じことでしょうが。

The thing which she took out it is a bottle.

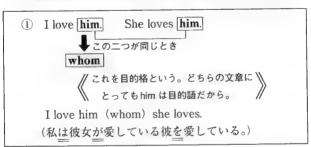
関係代名詞というのは、二つの文(列車)をつなぐため

のコトバなのですから、この例文の場合を、絵で示してみると、



というように、ただたんに、前後につないだ形ではなくて、前の機関車の中に、あとの列車が、はさみ込まれたような形になっているわけですね。時々こういう形になるのです。 ふつうは、前と後につなぐだけなのですが。

さて、関係代名詞の文を、まとめて、表にしてみましょう。



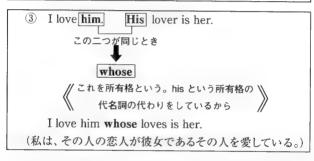
このwhomは、省略してもいいことになっています。なぜなら、その前にhim というまさしくwhomが代名しようとしたそのものがあるからです。同じ意味のコトバを二つ並べる必要はないからです。さらに言うと、この関係代名詞というのは、おしゃべり語そのものの中ではたいていは消えているのです。関係代名詞は実は書きコトバとしての英文の中で、重要な働きをしているのです。



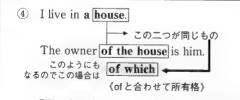
《これを主格という。後の文章にとっては主語だから。》

I love him who loves her.

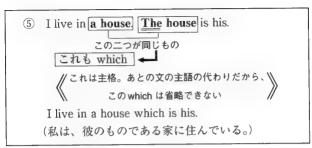
(私は彼女が愛している彼を愛している。)

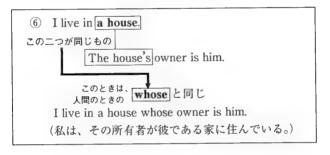


上の三つの関係代名詞 whom, who, whose は人間についてのものです。次に,物についての例文をあげましょう。



I live in a house of which the owner is him. (私は、その所有者が彼である家に住んでいる。)



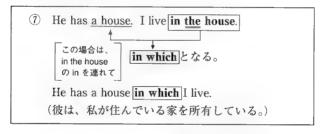


④のof which の形の方が、ご覧のとおりたいへんくどい言い方になってしまうので、実際にはあまり使われないのです。この文は物の代名詞である house でできているので、本来はこの of which の形で表現するべきなのですが、of which にすると複雑になるので、仕方なく whose を使うことにしたのでしょう。英語国民自身が。

このように、この6種類の関係代名詞の使い方のしくみ さえよく知っていれば、何もむずかしいことはありません。 そのかわり、このしくみをよくわからないで、ただがむし ゃらに英語を読んでも、英会話学校に行っても何年勉強し ても、内容を正確に読めるようにはなりませんから、この ことははっきりと申しあげておきます。

さて、あとひとつだけ発展問題として、考えてみましょ う。

④の例文を前後に入れかえてから、つないでみると、ど うなるでしょうか。



もっとも、この in は、which に連行されないで、ソッ と文章のおしりに置かれたままでいいのです。

He has a house (which) I live in.

このように. in which とか at which とか for which と かいう変わり者が、時々あるのは、関係代名詞 which が 後の文の前置詞をひっかけて、前に来てしまうからなので す。このことがまたどうしたことか試験によく出されるの です。

さて、関係代名詞の文というのは、以上のように、文章 をつなぐために存在しているわけです。このことをくれぐ

れも忘れないで下さい。「関係」とか「代名詞」とか言うと、なんだかむずかしそうな気がして、とたんに考え込む人がいますが、学問的なコトバのむずかしさに、だまされないようにして下さい。なぜ「代名詞」なのか、ということは、前頁の表でわかってもらえましたか。もう少しだけ、自分の力で考えてみて下さい。

話はかわりますが最近の日本の女の子たちが,

「あたしィ、……だからァ、なのす。それでェ……したときィ、……なわけ」という話し方をしています。私の考えでは、この文末の尻あがりと、区切りのつけ方は、まさしく、英語の接続詞 that や、関係代名詞の使い方と、同じしくみをしていることがわかります。加えて、この流行日本語は英文を読むときのリズムと速度にもよく似た話し方なのです。中学・高校では実質的に国語の勉強よりは、英語の勉強(それも文法中心の)の方に力が入れられていますので、いつの間にか全国民的におかしな日本語になりつつあるのでしょう。それを感覚的に鋭い若い女の子たちが体現したのだ、と私は思います。

例えば、「私は、朝、起きられない**人なの**」というような言い方は、完全に、関係代名詞の主格の who の用法の影響を受けています。これは、

I am a person who can't get up quickly in the morning.

という英文になります。他にも、「これは私**の**」の「の」 は、関係代名詞の what の用法そのものです。

This is what I have.

Whose thing is this?

(これは誰のなの)

このような考えは、飛躍のしすぎでしょうか。皆さんも、 自分が実際にしゃべっているコトバは、はたして、どんな しくみと影響からできているのかをいちどじっくりと考え てみるとおもしろいですよ。おしまい。



● Mary Poppins gave her a terrible look, and put the spoon into John's mouth.

Mary Poppins gave her a terrible look,

これは前にも出たtake an angry look やtake a long look と同様、looked at her terribly の変形。「目をやる」といった感じで、少し気取った表現。同じコトバをくり返していると文章が単調になるので、こうした表現上の工夫をするのは英語も日本語も同じだ。

2 They could see, from the white line round John's mouth, that this time the spoon held milk.

#### They could see,

この see は、「見える」という意味からさらに広がって「わかる」「気づく」の意味になっている。 さらに広がると「考える」という意味もある。従って I see. は「私は見る」という意味から「わかりました」という意味の間に広がる様々な感覚的感情的理解を示している。



●メアリー・ポピンズは彼 女に恐ろしい様子を与えた。 そして、ジョンの口にスプ ーンを入れた。

2彼らはジョンの口のまわ りの白い線からこの時その スプーンはミルクを保って いることを見ることができ たっ



**■メアリー・ポピンズは、ジェイ** ンに怖い目を向けて、ジョンの口 にスプーンを押し込みました。

②ジェインとマイケルには、ジョ ンの口のまわりの白い輪から、今 度はスプーン「の中身」がミルク になっていることがわかりました。

3 And Barbara was pleased to get the same spoonful.

Then Mary Poppins poured out another spoonful and took it herself.

**6** 'Whisky,' she said, and ran her tongue over her wet mouth.

**6** Then she put the top back on the bottle and put it in a cupboard.

she put the top back on the bottle....

the topは「フタ」のこと。ビンの頭。テッペンという意味。 backは「元に戻す」を示す副詞。backは動詞でも使われる。 (You) back a car into the garage「後向きで車を車庫に入れる。 (We) back a candidate「候補者を後援する」など。



### 1-17-B [ガチガチ訳]

③そしてバーバラはその同じスプーン一杯を得ることを楽しんだ。

- ◆それからメアリー・ポピンズはもう一つのスプーン一杯を注いで、彼女自身がそれを飲んだ。
- ⑤「ウイスキー」と彼女は言い、そして彼女のしめった口の上に彼女の舌を走らせた。
- ⑤それから彼女はびんの上の後ろの頂上に置いて、それを食器棚に入れた。



#### 1-17-C「なめらか訳」

- ●それからメアリー・ポピンズは もう一杯スプーンに注いで、自分 で飲みました。
- ⑤「ウイスキーよ」と言って、ぬれた口のまわりを舌でぬぐいました。
- ⑤そうして、ビンにふたをして、
  戸棚の中にしまいました。

● Jane and Michael were too surprised to speak, but she gave them no time.

**2**'Now,' she said sharply, 'straight into bed with you!' and she began to undress them.

3 She did it all very quickly.

 Buttons and hooks flew open at one look from her, and a minute later the children were in bed.

#### a minute later

「一分後に」。速いということの表現だが、最近では「ちょっと待って」と言う時、英語でも(wait) a minute ではなくて (wait) a second (一秒) というくらいになっていて、生活の 速さの尺度が大分短くなってきている気がする。



- ❶ジェインとマイケルはし ゃべるには驚きすぎていた。 でも彼女は彼らに時間を与 えなかった。
- ②「さあ」と彼女は鋭く言っ た。「あなたと共に真っすぐ ベッドの中へ! そして彼 女は彼らに服を脱がせるこ とを始めた。
- 3 彼女はそれをすべて非常 に速くやった。
- ₫ボタンとホックは彼女か ら一瞬ではずされ、そして 一分後に子供たちはベッド の中だった。



- ●ジェインとマイケルは、とって も驚いてしまって、何と言ってい いのかわからなくなりました。も っとも彼女の方もその余裕を与え ませんでしたが。
- ❷「さて」と彼女はピシャッと言 いました。「あなたたちはさっさと ベッドに入りなさい! | そして彼 女は子供の服を脱がせ始めました。
- ❸彼女は着がえをすべてすごい凍 さでやってのけました。
- ●ボタンやホックは、一瞬のうち にはずれ、次の一分で子供たちは ベッドの中に入っていました。

5 From there, they watched Mary Poppins.

- **6** She took more and more things out of her bag.
- Seven warm nightdresses, and four cotton ones, a pair of shoes, some playing cards, two rubber caps, and a lot of postcards.

#### some playing cards

some は「いくつか」とか「何か」とかではなく、「ちょっと した」や「〜みたいなもの」と覚えよう。 playing cards は遊 び用の絵札の類。 card で「トランブ」 cards だと「トランブ 遊び」となる。

8 Then came something bigger.



- 6 そこから彼らはメアリ ー・ポピンズを見張った。
- ⑥彼女は彼女のカバンから もっともっとモノを取り出 した。
- 1 七枚のあたたかい寝巻き、 いくつかのトランプ、二つ のゴムのキャップ、そして たくさんのハガキだ。

8 それからもっと大きな何 かが来た。



- 6ベッドの中から、子供たちはメ アリー・ポピンズをじっとながめ ていました。
- **6**メアリーが次から次へ自分のバ ッグから品物を取り出しました。
- ●七枚のあたたかそうな寝巻き、 四枚の綿のそれ、一足の靴、! 四枚の綿製品、靴 足、トランプ の類、こつのゴム製の「ナイト」 キャップ、そしてたくさんの絵ハ ガキ。

®それから、何かもっと大きいも のが出てきました。

It was a folding bed. She put it down between their beds, and they saw it was all ready to sleep in.



#### 1-18-B「ガチガチ訳」

⑤それは折りたたみベッド
だった。彼女はそれを彼ら
のベッドの間に降ろした。
そして彼らはそれがそこで
寝るためにすべて用意され
ていたことを見た。



#### 1-18-C「なめらか訳」

●折りたたみ式のベッドでした。 彼女がそれを子供たちのベッドの 間に置きました。これで、子供た ちにも [メアリーが] 寝る準備が すべて完了したことがわかりまし た。 1-17-D

take や give を使った表現には 少し気どったふんいきがある

Mary Poppins gave her a terrible look, (1-17-A ●)

take an angry lookやtake a long lookと同様、looked at her terriblyの変形。「目をやる」といった感じで、少し気取った表現。「見る」でいいわけだが、同じコトバを繰り返していると文章が単調になるので、こうした表現上の工夫をするのは、英語も日本語も同じ。take a lookとの違いは、take a look at herと方向を示す at が必要となるのに対し、give a look の場合には、herをはさんで、give her a lookとする点。目的語を動詞ではさむというゲルマン語系の分離動詞の形が、潜在している、とも考えられるところ。

getには日本語でいう「やる」や 「する」という意味がある

Barbara was pleased to get the same spoonful.

be pleasedは「喜ぶ」。ここの to はandと扱ってかまわないので、was pleased and got the same「喜んで飲んだ」。getはhave、take、drinkのことで、日本語で言えば「やる」「する」みたいな動詞のひとつと考えればよい。get the same…で、「飲む」となる。the same spoonful は、後にof medicine あるいは of something 具体的にはof milk が省略されていることを忘れずに。

|with というコトバのかなり |むずかしい用法

'straight into the bed with you! ' (1-18-A 2)

これはYou go straight into the bed with youの省略。 straight はここでは本来副詞として働くところだが、かなり動詞化している。goがなくても「さっさとする」「ただちにする」といった動詞風の意味合いを含んでいるので、このような用法が可能となる。「さっさとベッドに入れ」。 with youというのは日本人から見ると、非常に特殊なコトバづかいだ。You goと命令する形の you が、withをつけて後につけられていると考えるか、あるいは、to go into bed (by) yourself に近い用法、「あなたたちで、自分で」という意味ととるか、いずれにせよ、かなりむずかしい用法の with だ。



• Jane and Michael could find nothing to say.

2 But they knew that their house at Seventeen Cherry Tree Road now had someone very surprising in it.

their house at Severnteen Cherry Tree Road now had... 「桜の木通り 17番の彼らの家」が had の主語。これは叙述の視点を、二人の子供の目から一気に上空へと舞い上げて、驚きの大きさをきわだたせるといった表現上の効果をねらった言い方。この had は be と非常に接近した意味の「ある」「いる」と考えてよい。

(3) Without a word, Mary Poppins put on one of the large nightdresses and began to undress under it.

#### without a word

付帯状況を示すwithと用法は同じで、意味は逆。「~せずに」「~しないで」。ここは「ひと言もなく」「黙って」「無言のまま」。

put on one of large nightdresses and began to undress under it.

大きなスモックみたいな寝巻きをスッポリかぶるように着て、 その下で服を脱ぐという光景は、ヴィクトリア朝時代を舞台にした 映画などで、見たことがあるかもしれない。to undress は、自動 詞「服を脱ぐ」で、herself を補えばはっきりする。



- ●ジェインとマイケルは言 うべきことが何もないこと を発見した。
- 2しかし彼らは桜の木通り 17番地の彼らの家は今その 中に何かとても驚くべきこ とを持ったことを知った。

3一つのコトバもなく、メ アリー・ポピンズは大きな 寝巻きの一つを着てその下 で服を脱ぎ始めた。



- ●ジェインとマイケルは何と言っ たらいいのかわかりませんでした。
- ❷だけど、二人は、桜の木通り17 番地のこの家に、とても驚くべき 人が現われたということがわかっ たのでした。

●無言のまま、メアリー・ポピン ズは大きな寝巻きの一枚をはおり、 その下で服を脱ぎ始めました。

4 Then Michael could not stop himself.

**6** He cried out, 'Mary Poppins, you'll never leave us, will you?'

- 6 But there was no answer from under the nightdress.
- You won't leave us, will you?' he called again.



#### 1-19-B「ガチガチ訳」

- ◆そしてマイケルは彼自身を止めることができなかった。
- ⑤彼は叫んだ。「メアリー・ポピンズ、あなたはぼくらから決して去らないだろう、そうだね」
- **⑥**しかし、寝巻きの下からは 答えはなかった。



#### 1-19-C「なめらか訳」

④その時、マイケルはこらえきれなくなりました。

- **③**彼は大声をあげて言いました。
  「メアリー・ポピンズ、ぼくらのと
  こからいなくならないよね?」
  - ●でも寝巻きの下からは答えがありません。
  - 「あなたはいなくならないよね?」マイケルはもう一度問いかけました。

#### 1-19-D

could には文全体を含みを 持たせた表現にする働きがある

Jane and Michael could find nothing to say.

(1-19-A 1)

They had nothing to say.と同じ。「言うことが何もない」。 二人はあっけにとられてなんと言ったらいいのかわからない、という状態にある。

そういう情景を考えて「なんと言ったらいいのかわからない」と訳した。findは「見つける」「気づく」というよりも、いわば驚きの受動状態にあるわけだから、「浮かんでくる」「思いつく」という意味にずらしてかまわない。

could は含みを持たせる語。ここでは「なんと言ったらいいのかコトバをさがせない」という意味。読むということは単語にしがみつくことではなく、コトバが織り成す世界を自分の想像の中に映し出し、感じ取り、経験することにある。それは相手が英語の文章でもなんら違うところはない。

付加疑問文は日本語で念を押すときに使う 「ね」の気分がある

'Mary Poppins, you'll never leave us, will you?' (1-19-A 6)

leave は「去る」「いなくなる」。will you は付加疑問文の形。「ね」にあたる。相手の理解、納得を求める時、あるいは相手の意思に念を押す時に、用いる。「メアリー・

ポピンズ、あなたは、ぼくらのところからいなくなったり しないよね? | と念を押している。You'll leave us. won't vou? だと「いなくなっちゃうの? lo

## Point 28

# 再帰代名詞は自動詞を 他動詞にしてしまう?

He could not stop himself.

彼は彼自身をとめることができなかった。

このように、英文には時々、himself や themselves の ような「自分自身を」という意味の語が出てきます。日本 人でも、よく「私自身としてはね」というような念の入っ た言い方をする場合がありますから、この oneself という コトバ自体はとりたててむずかしいものではありません。

ではなぜ、こんなコトバが使われるのでしょうか。上の 例文から、himselfを取り去っても、文章としては全然、 困りません。He could not stop. だけでも「彼は止められ なかった | となって、だいたいわかるわけです。ここで注 目すべきは、「止める」と「止める」という日本語のちが いの方なのです。「やめる」「とまる」の方を自動詞、「と める」の方を他動詞と、英語文法でならはっきりとしてい ます。

しかし、日本語文法では、他動詞と自動詞の区別は明瞭 でないのです。それでも「自分をとめる」から「やめる」 になるのだ、ということはわかりますね。

自動詞	He stops. (彼はやめる)(彼は止まる)
他動詞	He stops her. (彼は彼女を止める)
自動詞なのに 他動詞扱い	He stops himself. (彼は自分を止める→彼はやめる)

このように、本来は自動詞(ふつう目的語を取らない動詞と言われています)なのに、それではなんとなく口さみしいので、himselfをつけて他動詞のようにしてしまう場合があるのです(この再帰代名詞というのはフランス語では大変よく発達しています。もっとも、発達しているからといって使いやすくて便利だとは限りませんが)。だから、ここで大切なことは、やはり、ひとつの動詞の使い方の中でそれが自動詞として使われているのか、他動詞としてなのかを、よくよく考えなければならないということですね。例えば、

I sleep. (私は寝る)

は、どう考えても、目的語を取りません。人は何かに向かって、眠ったりしません。ただ眠るからです。しかし、これを、

I sleep her.

とやると、なんだか、「私は、彼女を寝かしつける」というような意味に自動的に他動詞になってしまうのです。こ

こが英語の動詞のコワイところであり、かつ、大変おもし ろい点でもあります。

皆さんが考えている以上にその動詞が自動詞か他動詞か その両方があるのか、ということは、重要なことなのです が、残念ながら日本の英語教育では、この点が、大変、お ろそかになっています。例えば、「見る」という一語でも、 「見る」、「見える」、「見せる」、「見られる」、「見れる」、 「見させる」、「見てもらう」、「見てあげる」のようにコト バとしてはいろいろな表われ方をするのです。これらの使 い方を、ひとつずつめんみつに研究してみなければなりま th has

だから、ふつうの参考書や辞書に書いてあるように、 watchは「じっと見る | look atは「見る」で、seeは「目 に映る」だとかいうような説明だけでは足りなくてもっと 奥の深いものがあるようです。

● Mary Poppins' head came out of the nightdress and she looked very sternly at him.

**②**'One more word from you,' she said, 'and I'll get a policeman to come.'

One more word from you,

ここは If you talk one more word の意味。「もうひと ことでもしゃべったら」と脅迫的な雰囲気を含んだ意味。

(a) I mean,' said Michael more quietly, 'I hope you won't go away soon...'

#### I mean.

「私が言いたいのは」と、聞き手に自分の話すことの理解を前もって求める時に使う言い方。逆に自分の言ったことを「ほんとうなんだ」と確認する時の用法もある。例えば I love you. I mean it. 「愛している。本気なんだ」。ここでは子供の言葉らしく「ぼくはただ……」と訳した。



### 1-20-B「ガチガチ訳」

- ●メアリー・ポピンズの頭が 寝巻きから出てきて彼女は 彼をとてもいかめしく見た。
- ②「あなたからもう一つコトバが出たら」と彼女は言った。「そして私はおまわりさんが来ることを得るでしょう」

③「僕が意味したのは」とマイケルは静かに言った。「僕はあなたがすぐに出ていかないと望んでいる」



### 1-20-C「なめらか訳」

- ●メアリー・ポピンズの頭が寝巻 きの上に現われて、彼女はマイケ ルをとても厳しくにらみました。
- ②「あと一言しゃべったら」彼女は言いました。「そしたらおまわりさんに来てもらいますよ」

● 「ぼくは、ただ……」マイケルは前よりゆっくりと言いました。 「ぼくは、あなたがすぐ行ってしまわないで、って言いたかったんだ……」 • Mary Poppins looked from him to Jane and said nothing.

looked from him to Jane こういう場合の look は「見る」とするより「目をやる」 「目を向ける」とした方が、日本語にしやすくなる。

- **5** Then she sniffed.
- **6** 'I'll stay till the wind changes,' she said, and blew out the light and got into bed.



#### 1-20-B「ガチガチ訳」

◆メアリー・ポピンズは彼からジェインを見た。そして何も言わなかった。

- **⑤** それから彼女は鼻をすすった。
- ⑤「私は風が変わるまでとどまるだろう」と彼女は言った。そしてあかりを吹き消しベッドに入った。



### 1-20-C「なめらか訳」

●メアリー・ポピンズはマイケルからジェインの方に目を移して、何も言いませんでした。

- ⑤それから彼女は鼻をすすりました。

● And so Mary Poppins came to live at Number Seventeen and everyone was glad to have her.

② Mrs. Banks was glad because she now had an up-to-date nurse.

#### because

because は cause 「原因」という名詞に be がついたもの。 It be a cause that という形で「が原因となって」を表わしていたのがいつのまにか、because と言いならわされて、独立した語になった。 したがって、because は常に why と because 「原因と理由」の対で考えられていることに注意する必要がある。 これは基本としては疑問と理由づけの対の関係だが、その背景にはすべてのものごとを「原因とその究明」として考えたがる英語園民の性格がかくされている。

3 Mrs. Brill and Ellen were glad because they did not have so much work to do in the nursery.



#### 1-21-B「ガチガチ訳」

- ●そしてだからメアリー・ ポピンズは17番地に住むた めに来た。そして誰もが彼 女を持つことを喜んだ。
- ②バンクス夫人は彼女が一人の現代的な保母を持ったので喜んだ。

③ブリル夫人とエレンは子供部屋でするべきそんなに多くの仕事を持ったことがなかったので喜んだ。

#### 1-21-C「なめらか訳」

- ●こうしてメアリー・ポピンズは 17番地に住むようになり、誰もが 彼女[が来たこと]を喜びました。
- ●バンクス夫人は、今や流行に敏感な保母を雇ったことに喜んでいました。

●ブリル夫人とエレンは子供部屋であまりたくさん仕事をしなくてもよくなったので喜んでいました。

A Robertson Ay was glad because Mary Poppins cleaned her shoes herself.

Mary Poppins cleaned her shoes herself.

この cleaned は単なる過去形だが、おわってしまった行為なのではなく、慣習としての行為を表わす。いつか「みがいた」のではなく、いつも「自分でみがいている」の意味。動詞が過去形だからといって、いつも「~した」と訳さないこと。現在形として訳さなければいけない場合も多い。このことは大事です。

**6** But what Mary Poppins thought about it no one knew, because she never told anybody anything · · · ·



### 1-21-B「カチカチ訳」

●ロバートソン・アイはメ アリー・ポピンズが彼女の 靴を彼女自身がきれいにし たので喜んだ。

⑤しかし、それについてメアリー・ポピンズが何を考えていたのかを知る人はいなかった。なぜなら彼女は誰にも何も決してしゃべらなかったから。



#### 1-21-C 「なめらか訳」

●ロバートソン・アイはメアリー・ポピンズが自分の靴は自分でみがいてくれるので喜んでいました。

●けれどメアリー・ポピンズがいったい何を考えているのやら、誰もわかりません。というのも彼女は [自分のことを] 誰にもほんの少しも打ち明けなかったからです......

#### 1-20-D

have や make や get は 使役文を作る動詞たち

I'll get a policeman to come. (1-20-A 2)

「第五文型」と言われている難しい表現。I'll get him to come. が「私は、彼に来てもらう」で、get はこの「もらう」に当たる言い方。「誰々に、何々を~してもらう」という文型の「もらう」だ。have、makeなどを「使役動詞」と言い、ここに出てくる get もその仲間になりつつある。こうした使い方を「使役用法」と言う。policeman to come はポリスマンが来るということで、それをget で「させる」「してもらう」という意味になる。

I hope,I want は英語特有の しゃべりだしのフレーズだ

'I hope you won't go away soon ...' (1-20-A 3)

「すぐに出ていってほしくない」「いなくならないでほしい」。日本語では「~してほしい」「~なんだけど」と後にまわるが、英語ではI hope, I want と前につく。英語で何か話そうと思う時、とりあえずI hope とかI want とか言って始めてしまうといい。しゃべり始めるのに都合のいいコトバだから別に後の文章にかかわりなくたって、かまわずしゃべってしまうクセをつけよう。

■ get は他のさまざまな

動詞と置き換わる

blew out the light and got into bed. (1-20-A 6)

blow out は「吹き消す」。おそらく、ろうそくやランプ の時代の表現だったのだろうが、「あかりを消す」という 意味の延長で、現在にまで生きのびたのだろう。get into bed はgo into bed の言いかえ。get は他のさまざまな動 詞に置き換わる、と覚えておこう。逆に、getが出てきた ら、他の動詞に置き換えて考える必要がある。ということ でもある。例えば、I get up.「私は起きる」は、I wake up, and stand up, and take up,というような一連の動作を まとめて代替しているので、get 一語の中には「起きる」 という意味はなく、またget upという熟語があるのでも ない。~upというもののほとんどがget upで代替できる ということだ。

become という動詞は come to be が変化したものだ

And so Mary Poppins came to live at... (1-21-A 1)

come to liveは「住むようになる | become は come から 派生したので、「なる」はもともと come に含まれている。 come to be~の be が前に回ってbecomeとなったわけ。 またbe 自体に「なる」を含む。ここも Mary Poppins was (to live ) at Number~で「住むようになる |を表わす。



メアリー・ポピンズの叔父さん、 ウィッグさんの部屋で起こった 笑いガス事件…… 天井からウィッグさんがあいさつする——



•Will he really be at home?' asked Jane as she and Michael and Mary Poppins got off the bus.

#### ◆ point index ◆

be at(be 動詞+前置詞)……ポイント 3(p.28)

Mary Poppins was very displeased at Jane's question.

Mary Poppins was very displeased at Jane's question. displeased という動詞は please に dis-という否定の接頭辞をつけた形だ。「不愉快にさせる」とか「おこらせる」とかの意味。それが be pleased と同じように be displeased の方が常態化して、感情を表わす表現となった。「副詞」についてはポイント回を参照 (p.93)。

**3** 'Would my uncle ask you to tea if he means to go out?' she said.

#### ◆ point index ◆

if he means (仮定法)······ポイント回(p.112)



#### 2-01-8 | カチガチ状!

- ●「彼は本当に家にいるだろうか」とジェインは彼女とマイケルとメアリー・ポピンズがバスから降りた時たずねた。
- ②メアリー・ポピンズはジェインの質問でとても喜ばされなかった。

⑤「もし彼が外に出ていることを意味していたのなら私の叔父さんはあなたたちをお茶に呼ぶでしょうか」と彼女は言った。

#### 2-01-C 「なめらか訳」

- ●「その人は、本当に、家にいる の?」とジェインがたずねました。 彼女とマイケルとメアリー・ポピ ンズがバスを降りようとしていた 時のことでした。
- ②メアリー・ポピンズは、ジェインの質問が気に入りませんでした。

●「私の叔父さんが、あなたたちをお茶に招いたりするかしら、もし外出するつもりなら?」と彼女は言いました。

4 She was wearing her blue coat with the silver buttons, and a blue hat.

**6** When she wore these clothes it was very easy to make her angry.

## ◆point index ◆

make her angry(使役)……ポイント図(p.232)

**6** The three of them were going to pay a visit to Mary Poppins'uncle, Mr. Wigg.

Jane and Michael were looking forward to this visit, because they wanted very much to meet Mr. Wigg.



## 2-01-B「ガチガチ訳」

- △彼女は銀のボタンのつい た彼女の青いコートと青い帽 子を着ているところだった。
- 6 彼女がこれらの衣服を着 た時はそれは非常にかんた んに彼女を怒らせた。
- ⋒被らの三人はメアリー・ ポピンズの叔父さん。ウィ ッグ氏を訪問しようとして いた。
- ⋒ジェインとマイケルはこ の訪問を楽しみにして待っ ていた。なぜなら彼らはウ ィッグさんに会うことをと ても望んでいたから。

- ●彼女は、銀のボタンのついた青 いコートを着、青い帽子をかぶっ ていました。
- のこうした服を着ることがいつも 彼女を怒りっぽくさせるのでした。

- 6この三人は、メアリー・ポピン ズの叔父の。ウィッグさんを訪ね ようとしているところでした。
- ●ジェインとマイケルはこの訪問 を待ちのぞんでいたのです。とい うのも、二人はウィッグさんにと ても会いたかったからです。

(a) 'Why is he called Mr. Wigg?' began Michael, but Mary Poppins gave a loud and angry sniff and said, 'He is called Mr. Wigg because Mr. Wigg is his name.

**9** And if we have any more questions we shall just go back home.'

go back home.

go homeとgo back を二つ重ねて「家に帰る」となる。 back も home も両方ともそれぞれ副詞。



#### 2-01-B 「ガチガチ訳」

- ③「彼はなぜウィッグ氏と呼ばれるのか?」とマイケルが始めたが、しかし、メアリー・ポピンズは大きな、そして怒った鼻すすりを与え、そして言った。「彼はウィッグが彼の名前だからウィッグ氏と呼ばれる。
- ⑤そしてもし私たちが何かもっと質問を持つのなら私たちはすぐ家に戻るだろう」



#### 2-01-0 1なめらか訳

- ●「どうしてウィッグさんで呼ばれているの?」とマイケルが[質問を]始めましたが,メアリー・ポピンズは大きな音をたてて怒ったように鼻をすすって言いました。「叔父さんはウィッグさんて言うの。なぜならウィッグさんというのが叔父さんの名前だからよ。
- ⑤もし、まだこの上[こんな]質問があるんだったら、三人とも今すぐ家に帰ることにしましょう」

#### 2-01-D

asという接続詞は

■同時並行の文章を導く

as she and Michael and Mary Poppins got off the bus. (2-01-A 1)

asは接続詞、同時並行の文章を導く。and と同様に扱ってかまわない場合もある。この場合も「~たずねました。その時、彼女とマイケルとメアリー・ポピンズはバスを降りていました」でもいい。ここでは同時性をもう少し強調して「~バスを降りようとしていた時のことでした」と訳している。

ifが出てきたといっても 仮定を表わすわけではない

Would my uncle ask you to tea if he means to go out? (2-01-A 3)

これは通常の形では if 以下が前に出た仮定法の文を疑問文にしたもの。それを前後逆にしている。仮定法といっても必ずしも仮定を表わしてはいない場合があり、ここでも、「もしおじさんが、外出するつもりなら私たちをお茶に招待するわけがないでしょ」という非難を含んだ、結果の表現として用いられている。ask you to teaを「お茶に招く」と訳すが、この場合のask は「問う」「たずねる」でなく「頼む」「お願いする」から派生する形の「招く」の意味。この ask から invite が連想できるようになることが肝心。

meanは「意味する」「意図する」。ここでは「意図する」 「~するつもり」の用法。

■進行形はある動作の状態を 鮮明に表わすための表現だ

She was wearing her blue coat with the silver buttons, and a blue hat. (2-01-A 4)

過去准行形になっているが、これまでに何度か述べてき たように、進行形という形にこだわる必要はない。wear に対して動作より状態の方をより鮮明に表わしたいという 感じ。この wearing は現在分詞。現在分詞は動詞が形容 詞化したもの (ポイント300参照 p.236) と考えればよい。

■ make を使った使役の文形は

主語+make+人間目的語+形容詞だ

When she wore these clothes it was very easy to make her angry. (2-01-A 6)

these clothes は単に this cloth の複数と考えることが 一応できるが、「このような服」で「よそいきの服」の意 味ともとれる。そうすると、「彼女はこういうよそいきの 服を着ると、神経質になって怒りっぽくなる」ということ になる。it was very easy to make her angry これは使役 用法のmake。すなわち、主語+make+人間目的語+形 容詞(ないし動詞)という「第五文型」。(ポイント38参照 p.357)。it was very easy は、まるで make 以下の主語の ような形になっている。「~らしい」「~し易い」を表わす 用法なので、あまり、その意味にとらわれずに、make her angry の方を中心に読み取ることにしてほしい。

# Point 29

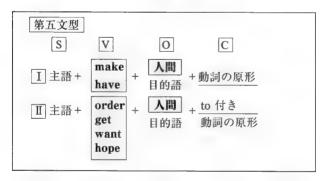
# 「使役」って何のこと?

A さんが B さんに働きかけ、 B さんに行動を起こさせる のが「使役」。

一つの文のなかで二人は違う行動をしているのです。 It makes her angry.

そのことが彼女を怒らせた。

使役動詞(causative verb)の make のことは、中学三年生で習うことになっていますから、皆さんも一応は、ご存知のことでしょう。まず、復習から始めましょう。



ここでは、主語(にくる人)が、目的語にきている人に働きかけて、その目的語にきている人が、何らかの行動を とることをうながす、とか命令するとか、強制するとか、

233

つまり「使役」するわけです。

I make her go.

(私は彼女を行かせる)

行くのは彼女ですね、それを、**私がさせる**のです。このことが重要なのです。つまり、二人の人間が、それぞれ別々の動作を行うのです。命令する人は命令される人の行動に対して命令しているのです。だからこの例題でも、「私」が「行く」のではないのです。あくまで「彼女」が「行く」のですね。ここが大切なポイントです。

さて、この go のように目的語に来るのは、はだかの動詞(原形不定詞と言ったりもします)ということになっていますが、これが、表 $\Pi$ のグループになると、この go にto がつくようになります。この点もたいへん重要なポイントですね。make と have の場合には、to がいらないのに、なぜ get や want だと to がつくのでしょう。

というよりも、動詞の不定詞形(このtoがつく動詞のことをそう言うのでしたね。ポイント国参照 p.100)の法則に従って、一つの文章の中で前の方に一個すでに動詞があると、あとの方の動詞には必ず to がつくのでした。だから、II のグループの方がふつうなのです。 I のグループの make と have の場合には to がいらないというのは、それこそかえって例外中の例外なのです。 なぜ、to が消えたのでしょう。それは、her と go の関係が、非常に強い結びつきを示しているからです。her go とは she goes. 「彼女は行く」のことなのです。ここに、一組の主語と動詞がかくれている、と考えられるわけです。だから、その

間に to をつけるのはイヤだ、と英語国民が国民語形成期間の長い歴史の間に、そのように決めていったわけです。 ここまでが、復習です。

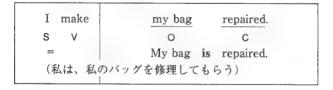
さて、では、このgoがくる場所には本来は、はだかの動詞しか来れないのでしょうか。そうではないですね。例えば、

I make her happy.

(私は彼女を幸せにする)

のように、happy という形容詞が来たりもするのですね。 すなわち、

なのです。すると、今度は、



のように、目的語のところが、人間ではなくて、物体になりますと、この例文のように my bag を修理「してもらう」という訳になるのです。これも使役動詞 make の用法であることにかわりはありませんが、この make を

「使役」というのは少しおかしいですね。人は物を「使役」 するのではなくて、「使用」するからです。そこで、私は、 このような用法を、**受益用法**と呼ぶことにしました。「私」 は「修理してもらう」、という利益を受けているからです。 すると、これはどうなるでしょう。

I make my bag stolen.

S V O C (私は、私のバッグを盗まれる。)

この場合、「私のバッグを盗んでもらう」と訳してもおかしくない場合もあるでしょうが、やはりおかしいですね。だからこの場合は、「盗まれる」となって、これを私はmake (causative verb) の被害用法と呼んでいます。

上の二つの物目的語(my bag)の文の背後にかくれているのは、

My bag

is repaired.

is stolen.

という、受動態の文ですね。物は「される」のです。人間が「する」のです。このことは、英語という言語を貫いている巨大な法則性です。「人間」がこの地球上のあらゆることの主人公なのであって、「物」は(たとえ人間の体の一部であっても)「使われる」のだ、と考えるのです。ここから受動態という考え方も起こっているのですが、話を

これ以上広げるのはここでは止めにしましょう。

さて、使役の make の用法も、第五文型、すなわち最も重要で、かつむずかしい文章の型の一種です。皆さんの頭が「文型」という貴重な考え方に、このあと少しずつ近づいて行ってくれることを心から希望します(ポイント図参照 p.357)。

## Point 30

# 現在分詞と動名詞、 形は同じなのにどこが違うんだ

They are looking forward to this visit. 彼らは、この訪問を楽しみにしている。

この言い方は、例えば私たちが新幹線(弾丸列車Bullet Trainと外国人は呼びます)に乗っていると英語のアナウンスがあってその中で必ず使われている言い方です。

We are looking forward to serving you again.

(皆様のまたのお越しを心からお待ち申しております)という言い方です。つまり、「また来てね」という内容や「楽しみにしているよ」ということを言っています。近い将来のことを願望を含んで言っている丁寧な言い方ですね。「将来のこと」を示しているのは、forward(前方を)という副詞です。そして「願望している」のは look (見る)という動詞です。ところがこの例文は、その次の前置詞toの次の語に問題点があるのです。高校2年生の試験問題に必ず出題されるのが、この例文です。というのは、この

look forward to (~を楽しみにする) という「熟語」の次には、名詞がくるということに「決まっている」とされているのです。だから、to の次に、動詞を置いて

① We are looking forward to see you.

とすると、この to see の see は不定詞だから、これでい いではないか、と私たちは一見思うのですが、それではダ メだ、バツだ、ということになります。to のあとには必 ず、「名詞」がこなければならないのです。だから、初め の例文でも, to this visit のように、visit (訪問する) と いう元々は動詞なのに、それをそのまま名詞形として使っ ているのです。だから、to see では誤りで、これを、seeingに変えなければならないのです。そしてこの seeing のことを、動名詞 (gerund) と言うのです。まさしく 「動詞の名詞形」のことですね。つまり、look forward to のtoは、次に不定詞をこさせるための to ではなくて. 「将来を見る | look forwardの方に強く結びついている前 置詞であるわけです。なんだか、ややこしい話ですが、こ ういうポイントを高校生に強制して、お前は英語ができる できないを決めているのが、日本の英語教育の実態なので す。なぜ to see がダメで、seeing にしなければならない のかは、厳密に言えばわからないのです。

この①のlook forward toの例とまったく同じような内容をしていて、ちょっと特殊ですが、現在分詞とは何かを考える上で、大切な例文があります。それは、

② Do you mind my opening the window? (窓を開けてもいいですか)

③ I can make myself <u>understood</u> in English.(私は、私の言いたいことを英語でわからせることができる)

です。そこで、以上の三つについて考えてみることにしましょう。

さて、はじめの、① look forward to seeing の seeing は、「動名詞」ということになっていますが、I am seeing you. (私はあなたを見ている)の seeing は、動名詞ではありません。この文形を「現在進行形の文」と言うのだということは誰でも知っていますね。この seeing を動名詞だと習ったりしている人が、日本人の3割ぐらいいるそうなので、はっきりと訂正しておきましょう。この seeing のことを現在分詞(present participle)と言うのです。なんだかよくわからない話になって来たなあ、むずかしい話はヤメてくれよ、と思う人は、ちょっと待って下さい。ここがわからないからあなたの英語の勉強は進まないのではないですか。もう少しだけしんぼうして下さい。

分詞には、二種類しかありません。現在分詞と過去分詞 (past participle) です。過去分詞というのは、

You are seen by me.

(あなたは私に見られている)

と、受動態の文にした場合の seen のことですね。この see を過去分詞と言うのです。ふつうは、-ed の形になっていて、過去形とまぎらわしい形をしていますね。これと同じように、現在分詞と動名詞がこれまた、まったく同じ形をしています。「ing形」とだけ習った人も多いことで

しょう。現在分詞と動名詞が実は、イギリスの昔の文法学者たちの対立から生まれた文法理論であることについては、別冊宝島『道具としての英語 しくみ編』(p.188)を読んで下さい。ここでは詳しくは述べられません(私は、「動名詞」という品詞を認めない説の方を支持している、とだけ書いておきましょう。しかし、このようなことを書いているからといって、皆さんの頭を混乱させる気はありませんので、ここからあとは従来通りの説明の線に添ってやってゆきましょう)。さて②について考えてみましょう。

Do you mind  $\sim$  の mind は、「気にする」という意味の動詞です。「あなたは気にしますか、that以下のことを」となって、

(第一段階) Do you mind that I open the window? (あなたは気にするか。私が窓を開けることを)

この接続詞 that でつないでできた文章を、ふつうは、 複文 (complex sentence) と言います。that 以下を従節 (that clause) と呼びますが、かんたんに言うと、Do you mind という列車 (機関車) に、I open the window.とい う別の列車を、まるで客車のように、接続しているのです。 だからこのthat は大変重要ですね。

たいていの英文は、ちょっとこみいるとすぐこのように 複文(二重列車)になります。あるいは、関係代名詞の文 も、これと同じことですよね。



さて、この that 列車の話を進めましょう。ところで、mind という動詞は、that 列車をあとに取らない、ということになっています。それは、mind という動詞の性格がうしろに長ったらしい文章をとりたがらないからです。他のふつうの動詞、例えば、I think that 以下の文の that のようにはならないのです。

(第二段階) Do you mind me to open the window?

これは、「that 列車」を廃止して、直接、mind の目的語として、I を me にかえて、open を不定詞にしてできあがった文です。これを、第五文型 (S+V+O+C) の文と見ることができるでしょう。ところが、これもダメなのです。前と同じような理由で、mind は、あとに不定詞を取らないキマリだからです。しょうがない。そこで、

(第三段階) Do you mind me opening the window?

このopeningは、現在分詞です。これならOKでしょう。ところが、これは、英文としては一応正しいと英語国民も認めるのですが、それでも少しだけしっくりこないらしいのです。そこで、

Do you mind my opening the window? (筆四段階)

これが正解だ、ということになっています。me を mv にしたということは、この opening は、現在分詞から、 動名詞にかわったということなのです。なぜなら、mvと いう所有格代名詞は、mv bookというように、あとに名 詞を取るからです。

mindという動詞を使うときには、このように、第一か ら第四までの段階がキチンとわかってからでないと使えな いことになっているのです。皆さん、おそれ入りましたか。 これが、日本試験用英文法なのですよ。そしてこれがわか っていない人は、実力で大学に受かることはないというこ とになっているのです(実際には、一割ぐらいの高校牛が なんとなくわかっているだけですが)。

それからさらに付言しますが、上の mind を使って質問 されたとき、どう答えるのでしょうか。 a.「いいですよ。どうぞ窓を開けて下さい」

これを英語でいうと.

No. I don't mind, please.

というふうに、No. で答えるのです。なぜなら、「私が開 けるのをあなたは気にしますか」と聞かれているのですか ら、「いいえ、気にしません」と答えなければならないの です。だからOKのつもりだったら No. I don't. なのです。

もし、Yes. I do. と言ったら、それは、「はい、私は気 にします。やめて下さい | という意味になってしまうので す。日本人は英語で尋ねられると、ついなんでもYes、と答えてしまう癖があります。私も、イギリス人にこの形の質問をされて、さんざん苦しめられた経験があります。 Yes, No,の使い方ひとつにしても、なかなか大変なのです。

では次にはじめにあげた③の例文で、過去分詞というも のについても考えてみましょう。

③ I can make myself understood in English. この文は、使役動詞 make の用法のひとつです。

I make you understand me.

(私は、私 [の言うこと] **を**あなたに理解させる) これを文型で考えると

I make you understand me

S V O + C O

という型をしているので、第五文型の典型ですね。

この使役動詞の make には「make + 人目的語 + 動詞の原形 (不定詞のこと)」という重大なキマリがありましたね (「使役動詞」についてのポイント四を参照 p.232)。だったら、

I can make myself **understand** in English. というように、ここは原形のunderstandのままにしておくべきだと自然に考えたら、そうなりませんか? 一見そのようになるのですが、ところがそうではないのです。myself(私自身)は、「英語」で「理解させる」のではなくて、「理解される」のですから、ここに、I am understood という受動態が、裏にかくれているのです。だから、ここでは過去分詞のunderstoodでなければ、いけないと

いうもうひとつ別のキマリがかくれているということにな っているのです。ということは、この例文は、

I make my English understood.

(私は私の英語を理解してもらう)

というように、実は「make + 物目的語 + 過去分詞」の形、 「~される」「~してもらう」という形だったのだ、という ことがわかります。ということは、myselfという再帰代 名詞は、「人間」扱いではなくて、「物」扱いだということ になります。このこみいった感じが理屈としてわかってい ないと、本当は「正しい英語」がわかったことにならない のです。

このように、現在分詞と動名詞はちがうのです。そして、 過去分詞と不定詞はちがうのです。

これ以上むずかしいことはもう言いません。ここまでは わかって下さい。もしあなたが、まじめに、「英語のしく み ということを考えたのであれば、「暗記 に走らない でじっくり考えてみてください。そして、同時にこのこと は私たちの「日本語のしくみ」ということも考えるきっか けになるのです。もしかしたら私たちは日本語の文法とい うものを本当は何もわかっていないかもしれないのです。

最後に、先ほどの mind の使い方が四段階に分析できた ことの中に、英語文法を考える上での最も重要な点がすべ て含まれていますから、もう一度、まとめて表にして、お きましょう。復習して下さい。

発展段階	文章として の正しさ	例 文		
1 that列車の文	×	Do you mind that I open the window?		
2 不定詞の文	×	me to open the window?		
3 現在分詞の文	$\triangle$	me opening the window?		
4 動名詞の文	0	my opening the window?		

(この△の意味は、文法的には正しいのだが、 実際には使われないということを指しています。)

## Point 31

# 英語の気取った言い回しだって スラスラ読める

They pay a visit to him.

彼らは、彼を訪問する。

この pay a visit (直訳すれば、「訪問を支払う」)というような言い方は、気取った言い方です。ただ単に、

They visit him.

(彼らは彼を訪問する)

と言えばいいものを、わざわざpayという動詞を持ってきて、そのために visit が動詞の位置からケトバされて、a をつけてもらって名詞になってしまったのです。その影響で、to という前置詞まで必要になってしまったのです。

英文の中には、このような気取った言い方が時々出てき ます。have a look (~を見る) とか, have a difficulty (問題をかかえている)とか. make a speech (演説する) とか. 数えれば、きりがありません。この種の言い方を、 いちいち「熟語」として覚えていた日には、その数だけで 膨大な量になるでしょう。このあたりはコトバのリズムか ら起きた気取り表現なのだな、とわかって、さっと横に逃 げるのが賢い勉強法と言えます。visitになぜpayがつくの か。それは、pay attention to (~に注目する) という言 い方とどこかでゴロが合っているからなのでしょう。「月 のくばりしというような感じを含んでいます。同類のもの に, give an eye (見る) take a look (見る) というよう なものがありますが、これらを「見やる」などという古語 のような変な日本語にする必要は全然ないと言えます。



• Michael and Jane decided not to say anymore.

- Mary Poppins stopped at the shop at the corner to look into the windows.
- ◆ point index ◆
  to look(不定詞)……ポイント個(p.100)
- 3 She wanted to put her hat straight.
- These funny shop windows showed each of them three times.
- 6 And Mary Poppins loved to see three of herself.

Mary Poppins loved to see three of herself.

メアリーも、こんなときには普通の女心を持った女性だったのです。子供たちの方がそのことを鋭く見抜いているということを 作者は暗に私たち読者に教えようとしているのです。



## 2-02-B [ガチガチ訳]

- ●マイケルとジェインは何 かもっと言うことをやめる ことを決定した。
- ②メアリー・ポピンズは窓 の中を見るために角にある 店で止まった。
- 3 彼女は彼女の帽子をまっ すぐにかぶることを望んだ。
- 4 これらの奇妙な店の窓は 三度、彼らのそれぞれを示 した。
- **6**そして、メアリー・ポピ ンズは彼女自身を三度。見 ることを好んだ。



### 2-02-C [なめらか訳

- ■マイケルとジェインはもうこれ 以上何も言うまいと決心しました。
- ●メアリー・ポピンズは街角の店 の前に立ちどまって窓ガラスをの ぞき込みました。
- ●彼女は帽子をきちんと直したか ったのです。
- ●奇妙なことにそこの飾り窓には、 彼ら三人のそれぞれが、三つの方 向から映っていました。
- ●そしてメアリー・ポピンズは、 「窓に映った」三つの自分を見るの が大好きでした。

- **6** She loved it even more when she was wearing her blue coat with the silver buttons and her blue hat.
- She thought there ought to be as many Mary Poppins as possible, and so she looked in all the windows with pleasure.

#### ◆ point index ◆

ought to be (助動詞になりつつある動詞)……ポイント⑨(p.49)

**8** When she was ready to go she said sharply to the waiting children, 'Come along now!'

#### Come along now!

come along は「いっしょにいらっしゃい」という呼びかけ。 You come along. のことだ。他に get along with himという 使い方があって「いっしょにうまくやって行く(暮らす)」という意 味。along には「連れそう」の意味がある。



#### 2-02-B「ガチガチ訳」

- ●彼女は、銀のボタンのついた青いコートと青い帽子を着た時のように、それを愛した。
- ❸行く準備ができた時,待っている子供たちにきっぱり言った。「さ,いっしょに来い」

## 2-02-0 なめらか訳!

- ●彼女は、銀ボタン付きの青いコートと青い帽子を着ていたのでなおのこと、窓を見るのが大好きでした。
- ●彼女は、できるだけたくさんの メアリー・ポピンズが [映って] いるべきだと考えていたので、う れしい気分でその飾り窓にすっか り見入っていたのです。
- [叔父さんのところへ] 行くための身づくろいができると、彼女は、待たされていた子供たちにきっぱり言いました。「いらっしゃい、さあ早く!」

So they turned the corner and pulled the bell of Number Three, Robertson Road.

• When it rang in the house, the children knew that, in a minute, they were going to see Mary Poppins' uncle, Mr. Wigg, for the very first time, and to have tea with him.

**①**'If he's in, of course,' said Jane in Michael's ear.



## 2-02-B「ガチガチ訳」

- ●彼らは街角をまがって、 そして3番地のロバートソン 通りのベルを押した。
- ●それが家の中で鳴った時,子供たちは、すぐに、彼らがメアリー・ポピンズの叔父さんのウィッグ氏に会いに行って来ていても、たいへん早い時間だから、彼はお茶を飲んでいることを知った。
- ●「もちろん、彼はいるでしょうね」ジェインはマイケルの耳にささやいた。



## 2-02-C「なめらか訳」

- ●そうして三人は街角をまがって、 ロバートソン通り3番地のベル [引き金] を引きました。
- ●ベルの音が家の中に響いた時, 子供たちはわかっていたのです。 一分もしないうちにメアリー・ポ ピンズの叔父さんの,ウィッグさ んに,初めて会って,お茶をいた だくことになっていることを。

●「叔父さんいるかしら。もちろん[いるわ]よね」とジェインはマイケルに耳打ちしました。

#### 2-02-D

■ テンポのある、はしょった文章は■ 状況を一つ一つ思い浮かべながら読め

So they turned the corner and pulled the bell of Number Three, (2-02-A ①)

ここは大変はしょった書き方をしているわけで、「街角をまがって」、3番地まで歩いて行って、ベルを鳴らした、ということ。pull the bell「ベルを引く」というのは、引き金などを引くと、ベルが鳴るようになっている、ということ。

# Point 32

# 形容詞の more と 副詞の more の違いがわかる?

比較詞 more は、それがかかる語によって、形容詞になったり副詞になる。

その違いが理解できれば英文は読める

①He has more books than I (have).

形容詞 名詞

(彼は、私よりもたくさん本をもっている)

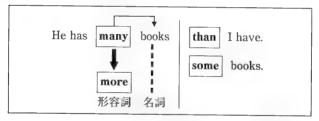
2 She is more beautiful than you (are).

副詞 形容詞

私たちは、ふつう、この"more~than"の用法を、① と②を区別しないで、とにかく形だけ暗記してきたように思います。①と②では、内容が相当、ちがっていることが、わかりますか。

①の方のmoreは形容詞です。②の方は、副詞なのです。 そして私たちが通常、わかったつもりになっているのは② の方の使い方です。

①の方がより基本的だということを、そろそろ理解して下さい。①の例文はこれも either  $\sim$  or (ポイント $\boxed{7}$  p.45) やas  $\sim$  as (ポイント $\boxed{3}$  p.79) でやったのと同じく、



というふうに、前の列車とあとの列車というふうに前後に 切れます。thanは接続詞なのです。そして、moreは、

many (much) -more-most

と三段階に変化する比較詞ですね。moreというコトバがきたら、もともとはmuchあるいはmanyなのだ、というふうに頭の中で元の形に戻して読む訓練をした方がいいと思います。ただ単に、「~より~だ」と覚えているだけだから、実際には全然使えない、ということになるのです。

②の方は

She is **more** beautiful than you (are beautiful).

となっていて、文章としての骨組みは She is beautiful. の部分なのです。①の方とは、言っている内容がちがうでしょう。②の方は、むずかしく言うと「叙述的な言い方」と言います。①の方は、物(名詞)の数量の多さを強調するために more を使っています。だから①のmore は形容詞です。②の方は、ものごとの状態のいちじるしさを強調するために more が使われているのです。だから②のmore は副詞なのです。ここがポイントなのです。だから②の型では、She is more beautiful than cute. (彼女は魅力的な美しさより、形の上で美しいのだ)というような「表現比較」が可能になるのです。

さて、moreと同じものにlessという「否定の方向への 比較」があります。否定的比較というのは、日本語にはな じみがうすいのです。「彼の方が私よりより少なく賢い」 というような言い方は、今でこそ、しだいにおかしくない 日本文として受容されつつありますが、やはりおかしいで すね。

このlessも、元の形は、little(あるいは few)なのですから、

②' He is little clever / than I am clever.

less

となります。

そして、littleというのは「少ない」という意味の他に、 ほとんど否定の not という副詞と同じ意味がありました ね。lessというのは、はっきり言うと強い否定なのです。 表面上は「より少ない」というようなやわらかい意味のよ うに見えて実は、強く否定しているのです。

lessの用法もmoreと同じように、①の型もあります。

(1) He has less money than I (have money).

(彼は、私より、お金を持っていない)

この文の基本形は.

He has little money.

ですね。つまり、彼は、全然、お金を持っていないのです。 a few や a littleを「二、三の」と覚えている人がたくさ んいますが、これらの表現は、本当は、否定なのです。 「何もない」ということを、ちょっとだけ、複雑に言って みただけなのです。このことに気づかないと、比較表現が 途中でパラパラと出てくる英文を読んで行くことは不可能 だということになります。

次に、「倍数比較」に使う times について考えましょう。

He has three times as much money as I have much money).

(彼は私の三倍お金を持っている)

この文の基本型は、

He has much money.

(彼はお金をたくさん持っている)

です。この文章のどこの部分に倍数を示す語がくるのかを

考えてみればよいのです。

ちなみに、二倍のときには、two times のかわりに twice を使います。

He has twice as much money as I have.

= two times

このように比較の表現も、一度、念を入れて詳しく分析しておくとよいのです。





- The door flew open and a thin lady in a long skirt stood there.
- 2'Is he in?' asked Michael quickly.

### ◆ point index ◆

Is he in(be 動詞+前置詞)……ポイント③(p.28)

**3** 'Thank you,' said Mary Poppins, and gave him a stern look, 'but *I'll* do the talking.'

- **4** 'How do you do, Mrs. Wigg,' said Jane politely.
- **6** 'Mrs. Wigg! Mrs. Wigg!' said the thin lady. Her voice was thinner than she was.



- ●ドアが突然開き、そしてそ こに、長いスカートのやせ た婦人が立っていた。
- ②「彼は中ですか」マイケル が急いで言った。
- 3「ありがとう」とメアリ ー・ポピンズは言って彼に 厳しい目を与えた。「しかし、 私が言う
- 「初めまして、ウィッグ夫 人しとジェインが上品に言 った。
- **⑤**「ウィッグ夫人 / ウィッグ 夫人! と、そのやせた婦 人は言った。彼女の声は、 彼女よりもっと細かった。

### 2-03-C 「なめらか訳」

- ●ドアが開くと、そこには長いス カートをはいたやせた婦人が立っ ていました。
- 「その人いますか?」マイケル が素早くたずねました。
- 3 「ありがとう」と言って、メア リー・ポピンズはマイケルをきび しい目つきで見すえました。「でも、 お話しは私がするのよ」
- 「はじめまして、ウィッグさま の奥さま | とジェインがていねい に言いました。
- ⑤「ウィッグさまの奥さま! ウ ィッグさまの奥さまですって! とやせた婦人は言いました。その 声はその人「の身体」より細い声 T1. to

'I'm not Mrs. Wigg. No, thank you! My name's Miss Persimmon — and a very good name too! I'm not Mrs. Wigg! Go straight up, now. First door on the left.' And she hurried away from them.

• But they could still hear her high thin voice, 'Mrs. Wigg! Calling me Mrs. Wigg!'



### 2-03-B「ガチガチ訳」

- ⑤「私はウィッグ夫人ではない。ありがたくない。私の名前はミス・パーシモンです──とってもよい名前です。これもまた。──私は、ウィッグ夫人ではない。すぐ、まっすぐ上がって。左側の最初のドア」そして彼女は彼らの前から急いで遠のいた。
- ●しかし、彼らはまだ、彼女 の高くて細い声を聞くこと ができた。「ウィッグ夫人、 私をウィッグ夫人と呼びな がら」

### [2-03-C [なめらか訳]

- ●「私はウィッグさんの奥さまなんかではありません。おまちいがいなく! 私の名前は、ミス・パーシモンですよ――これだってとても由緒ある名前ですわ!――私はウィッグ夫人ではありません! まっすぐ行って上におあがりなさい。左側の最初の部屋ですよ」そう言うなりミス・パーシモンは三人の前からさっさと立ち去ってしまいました。
- ●けれど、その細い声はまだ聞こ えてくるのでした。「ウィッグさま の奥さまだなんて! 私をウィッ グさまの奥さまだなんて!」

- Jane and Michael followed Mary Poppins upstairs.
- 2 Mary Poppins knocked at the door.
- **3** 'Come in! Come in! And welcome!' called a loud, cheerful voice from inside.
- 4 Jane's face was getting red with excitement.

Jane's face was getting red with excitement.

be getting red は「みるみる赤くなった」という状態の記述。 過去進行形にこだわらず、状態や変化の過程を形容しているのだと考えること。 Jane's face turned red. 「まっ赤になる」と同じ。

6 'He is in!' she said, with a look at Michael.



- ●ジェインとマイケルは二 階へメアリー・ポピンズに ついて行った。
- 2 メアリー・ポピンズはそ のドアをノックした。
- ③「入って/入って/いらっ しゃい/ 中から大きな幸 福そうな声が言った。
- 4 ジェインの顔は興奮で赤 くなった。

⑤「彼は中にいる」彼女はマ イケルを見ながら言った。



### 2-04-C [なめらか訳]

- ●ジェインとマイケルはメアリ ー・ポピンズのあとについて階段 を上がりました。
- タメアリー・ポピンズはそのドア をノックしました。
- ⋒ 「お入り! お入り! よく来た ね! 中から、大きく陽気な声が 聞こえてきました。
- △ジェインの顔が、興奮で赤くな ってしまいました。

⑤「いるんだわ!」と言って、彼 女はマイケルに目くばせしました。

6 Mary Poppins opened the door and pushed them in.

• A large cheerful room was there before their eyes.

### ◆ point index ◆

A large cheerful room(物主語の文)… ポイント⑥ (p.37)

3 At one end of it a fire was burning brightly.

**9** In the middle of the room stood a big table with everything for tea on it — four cups and saucers, lots of bread and butter, small coconut cakes and one large chocolate cake.

stood a big table with everything for tea on it...

これは a big table stood and everything was ready for tea on it と読める。つまり「大きなテーブルがあり、その上には、お茶のための準備がすっかりできていた」となる。 with は「付帯状況」の with.



## 2-04-B [ガチガチ訳]

- メアリー・ポピンズはそのドアを開け、彼らを中に押した。
- ◆大きく楽しそうな部屋が 彼らの目の前にあった。

- ❸一方のすみの暖炉は明る く燃えた。
- ●部屋の中央にある,大きなテーブルにはお茶を飲むためのすべてがあった。四つのカップに受け皿,たくさんのバターつきのパン,小さなココナッツ・ケーキ,それに大きなチョコレートケーキ。

### (2-04-C「なめらか訳」

- ●メアリー・ポピンズはドアをあけて、二人を中に押し入れました。
- ◆大きくて楽しそうな部屋が子供たちの目の前に広がりました。

- ❸部屋の一方の隅には [暖炉の] 火があかあかと燃えていました。
- ●部屋の中ほどには、大きなテーブルがあり、その上には、お茶をいただくために必要なものがすべてそろっていました――四つのカップと受け皿、山盛りのパンとバター、たくさんの小さなココナッツケーキと、ひとつの大きなチョコレートケーキです。

#### 2-03-D

■ 文中のnowというコトバは 口調を整えるために使われる

Go straight up, now. First door on the left. (2-03-A ⑤) 「まっすぐ上がりなさい。左側の最初の部屋ですよ」now は特に意味はなく、口調をつけているのだ。イギリスの家は、通常ドアを開けると玄関があって、コートをかけたりする場所などがある。その右手に階段がついていて、二階へ上がるようになっている。大変奥行きの深い造りになっている。この家は、大きな下宿屋さん(Boarding House)なので、パーシモンさんは、部屋を借りている人たちの世話をしている人。この場面は、玄関に入ってからすぐ階段をのぼってゆくように、と案内しているところ。

#### 2-04-D

■ 物が主語になったときの表現には 人間の主語をおぎなって訳そう

A large cheerful room was there before their eyes.  $(2-04-A \odot)$ 

「大きな楽しそうな部屋がそこに彼らの眼の前にあった」とこのまま前の方から訳しても日本語として異和感がなくなっている程英語は最近の日本語の文章構成に深く影響している。いわゆる「物主語の文」は今後さらに日本語の表現の中に広がってゆくことだろうが、この形は人間を主語

とした文が裏にかくれていることを忘れてはならない。

この文の場合も、書きかえてみると、there、they found a large cheerful room. 「そこに、彼らには、大きく楽しそうな部屋が見えた」という文章になるので、「物主語の文」は必ず「人間主語の文」に書きかえられるということだ。

あるいはこの例文の場合は、a room was there. から当然、there was a room.「部屋があった」という「存在を表わす文」としても考えるべきだ。before は時間の前後を表わす前置詞でもあるので、空間に限定した表現として用いれば in front of them の意味になるわけだ。

## At one end of it. (2-04-A 3)

itは「部屋」、「その部屋の一方の隅には」。ここまでで切れることがわからないと混乱してしまう。 、(コンマ)がなくても、文の構成から切れ目がわかるようにしよう。逆に言えば、At one end of it はしっかりつながってひとまとまりになっているので、この中では切れないことがわかれば、おのずと切れる場所がどこにあるかわかる。

endはこの場所の「端」「隅」のことだ。「終わり」といっても時間や出来事だけでなく、一定の空間や物体の終わりの部分をさしたりする。またendには「目的」という意味もあるから、日本語の「終わり」と、ちょっと意味がずれてくる場合があるのだ。

# Point 33

# 一見、名詞に見えてしまう副詞たち home. upstairs. backなど

私たちは家に帰る。

We go back home. She goes upstairs. 彼女は二階に上がる。

これらの言い方の. back も home も upstairs も「副詞」 と言います。homeは名詞ではないの? と思う人もいる でしょうが、これも副詞なのです。

I go home.

(私は家に帰ります)

という言い方は、

I go to my home.

と言えば、homeは名詞なのですが、to my が抜けると副 詞になってしまうのです。副詞というのは、もう何回も説 明したとおり、動詞を飾るコトバでしたね。I go there. のthere を、ポイント $\boxed{4}$  (p.31) で説明しましたが、あの there が副詞であったことと全く同じことなのです。だか ら、これらの例文は、

We go home.

We go back.

We go upstairs.

We go up.

のように、特定のすっきりした使い方をするのです。ふつ うの考えでは、この例文たちは、主語+動詞(+副詞句)

なので、第一文型(S+V)とされています。しかしこの home や back などの副詞は、C(補語)だと考えてもよい でしょう。したがって、これらの例文はすべて、第二文型 と考えてよいのです。ついでに、

We go shopping.

(私たちは買物に行く)

の shoppingは、動名詞ということになっていますが、こ れも、私の説では、第二文型ということになります。

革語教師の中には、第二文型、例えば

She is **pretty**.

S V C

のcomplement (補語) には、形容詞がくるのであって. 副詞はこない、とガンバル人たちがいますが、根拠はあり ません。しいて言えば、第二文型の動詞は、beか、「不完 全自動詞 | だけだと考えるかららしいのですが、私に言わ せれば、副詞が来てもいいではないか、と思います。なぜ なら、副詞も形容詞も、たいしたちがいはない、というよ りも、もともとが同じものだからです。

英語というのは、書かれた文章として見る以前に、しゃ べられるコトバとしてのリズムを持っています。それを, 私は「英文のリズムは、ポン・ポン・ポンだ」と名付けて います。I love vou. というふうに単語を三つ並べさえす ればそれだけで英文になってしまうのだ、と考えています。

なぜなら、そのような感じで、英語国民はしゃべってい るからです。beのあとには副詞は来ない、というような おかしな理屈にまどわされないようにしましょう。

- Well, well, this is a pleasure,' said a deep voice.
- 2 Jane and Michael looked round.
- 3 They couldn't see anyone.
- Then Mary Poppins said angrily, 'Oh, Uncle Albert, not again? It's not your birthday, is it?'

- 5 She was looking up at the ceiling.
- 6 Jane and Michael looked up too.



- ●「さて、さて、よく来た」 と深い声が言った。
- ②ジェインとマイケルは見 まわした。
- ●彼らは誰も見ることはで きなかった。
- 4その時、メアリー・ポピ ンズは怒ったように言った。 「まあ、アルバートおじさん, またか? 誕生日ではない でしょうね?し
- 6被女は天井の方を見上げ た。
- **ゆ**ジェインとマイケルもまた 見上げた。



### 2-05-C [なめらか訳]

- ●「やあ、やあ、これは楽しみな」 と肉太の低い声が言いました。
- ②ジェインとマイケルは、「あたり を1 見まわしました。
- €二人には誰も見えません。
- △その時、メアリー・ポピンズが 怒ったように言いました。「まあ. アルバート叔父さん。「またふざけ たりして]もうしないはずでし ょ? 今日は叔父さんの誕生日じ ゃないでしょ? |
  - 6被女は天井の方を見上げました。
  - 6 ジェインとマイケルも見上げま した。

To their surprise they saw in the air a round, fat, smiling man.

### a round, fat, smiling man

形容詞がいくつも重なる場合には、こうして、(コンマ)でつないでいくことが多い。すべての場合 man にかかるわけだが、ズラズラと並べるとまぎわしくなる場合があるから注意しよう。

- 8 He was just hanging there.
- **9** He wasn't holding on to anything.
- **(1)** He was sitting on the air, because his legs were crossed and he was reading a newspaper.



● 驚いたことに、彼らは、 空中に、立ってほほえんで いる男を見た。

- 3彼は、実際そこにひっか かっていた。
- ●彼は何にもつかまっては いなかった。
- ●彼は空中に座って、ひざ を組んで、新聞を読んでい た。



●驚いたことに、空中に、丸々と 太った男の人がほほえんでいるの が見えたのです。

- ❸男の人が、ただ空中に浮かんで いたのです。
- ●何にもつかまっていません。
- ⋒その人は空気にこしかけていま した。というのも、脚は組んでい たし、新聞を読んでいたのですか 50

**11** 'My dear,' said Mr. Wigg.

'My dear,' said Mr. Wigg.

My dear は親しい者への呼びかけ。一般に「ねェ君」とか「ねェ あなた」。言うまでもなく、文章の流れによって異なってくる。ふ つう日本語には訳しにくい。「拝啓」となったりするからコワイ。

**P** He smiled at the children and then looked at Mary Poppins again.

(B'My dear, I'm very sorry, but today is my birthday.'

Mary Poppins sniffed.



### 2-05-B「ガチガチ訳」

●「やあ」ウィッグ氏は言った。

- ❷彼は子供たちにほほえみ、 そしてそれからメアリー・ ポピンズをふたたび見た。
- ⑤「たいへんごめんなさい。 しかし、今日は私の誕生日 なのだ」



### 2-05-C「なめらか訳」

●「やあ、やあ」ウィッグさんは 言いました。

- ●彼は子供たちにほほえみかけ、 それからまた、メアリー・ポピン ズの方を見つめました。
- ●「やあ,とてもガッカリだな,だって,今日は私の誕生日だからね」
- タメアリー・ポピンズは、鼻をす すった。

●'I only remembered last night. There was no time to send you a postcard and ask you to come another time. It's sad, isn't it?' He looked down at Jane and Michael.

2 Their mouths were wide open with surprise. 'You see, it's like this.

You see, it's like this. 「わかるだろう, こんなふうでね」という言いまわし, 形容詞「~のような」の like。

3 I'm a cheerful man, and very ready to laugh at things.



## 2-06-B [ガチガチ訳]

- ●「私は昨夜になって思い出しただけだ。ハガキを出すためのそして別の時間に来ることをたずねるための時間がなかった。それは悲しいことだろう?」彼は、ジェインとマイケルを見おろした。
- ②彼らの口は驚きで大きく 開いたままだった。「あなた は見ます。それはこのよう なんだ。



### [2-06-C [なめらか訳]

- ●「私はきのうの夜にようやく思い出したんだよ。で、君にハガキを出して、別の日に来るように連絡する時間がなかったんだ。悲しいじゃないか、ねぇ?」叔父さんはジェインとマイケルを見おろしました。
- 二人は驚いて口を大きく開けた ままでした。「ごらんのとおり、こ んな次第なんだ。

■私は陽気な男でね、ことあるごとに [何でも] 笑っちゃうんだ。

 I find lots of things very funny, and I can laugh at almost everything.'

**6** And when he said that, Mr. Wigg began to shake with laughter.

And when he said that,

この when は and then ではなく as  $[\sim$  しながら] の同時並行として理解する方がいい。「そう言っている間にも」

- **6** And when he laughed, he went up and down in the air like a balloon.
- 'Uncle Albert!' said Mary Poppins, and Mr. Wigg stopped in the middle of a laugh.



# 2-06-B (カチカチ訳)

- ●私はたいへんおかしいと思うものをたくさん気づく。そして私はほとんどすべてのことを笑うことができる」
- **⑤**そして、彼があれを言った時、ウィッグ氏は笑いといっしょに、揺れ始めた。

- ⑤ そして、彼が笑った時、彼は、風船みたいに、空気の中で上に下に行った。
- ⑦「アルバートおじさん!」 メアリー・ポピンズが言っ て、ウィッグ氏は笑いのま ん中でピタリととまった。

### (2-06-C「なめらか訳」

- ●いろんなことがとってもおかし く思えてね、だから私はなんでも かんでも笑ってしまうんだよ」
- ●そう言っている間にも、ウィッグさんは笑いで身体を揺らし始めていました。

- ●笑っている間,ウィッグさんは,まるで風船のように空中をふわふわしていました。
- ●「アルバート叔父さんたら!」 とメアリー・ポピンズが言うと、 ウィッグさんは笑うのをピタッと やめました。

(a) 'All right, Mary, I'm sorry. I'll try not to laugh....But if my birthday comes on a Friday, and if I laugh on that day, then it's all up with me. And I go UP.'



ごめんなさい。私は笑わな 日に笑えば、それから私と … いっしょにそれはすべて終 わりだ。そして私は上がる|



③「よろしい。メアリー、 ③「わかったよ、メアリー、ごめ んよ。笑わないようにするよ……。 いように試みるでしょう… でもね、私の誕生日が金曜に当た …。しかし、もし、私の誕 ってしまってね, しかもその曜日 生日が金曜日に来るのであ に笑ってしまうとね、私はもうダ れば、そしてもし私がその メなんだよ。それで私は上にまい りますになってしまうし



#### 2-05-D

this はなにか特定のものを指すだけでなく、

₹のときの状況全体も指す

'Well, well, this is a pleasure,' said a deep voice. (2-05-A ●)

Wellは、言葉の間にはさんだり、何かを言い出す前に「エー」といった感じで置いたりするもの。「やあ、やあ」とか「さて、さて」とか、その場に合った言葉をあてよう。 this is a pleasure これは I'm pleased をかえた言い方。 this は何か特定なものを指すのではなく、日本で「これは大変だ」とか「こいつは春から縁起がいいわい」とかいうのと同じで、出来事や状況の現時点での様子全体を指して使う。 It's my pleasure の形が、普通使われる場合が多い。

■感情を強調するときには

倒置の文が使われる

To their surprise.... (2-05-A 1)

これは It is surprised that ~という言い方が短縮されたもの。本来は They were surprised, because ~となるところ。あるいは、続く次の文章の後にまわして、,and they were surprised としてもいいところ。驚きを強調するために「驚いたことには」と先に言って、次にその理由を述べるという順番にしているわけ。

■ smile には好意を表わすときと

冷笑や皮肉を表わすときがある

He smiled at the children.... (2-05-A 19)

「子供の方へ笑いかけた」。ここでは、もちろん、好意を

表わす smile だが、 smile で冷笑や皮肉を表わす場合もあ る。またdream a dream「夢を夢みる」と同じような用 法があって、smile an ironical smile「皮肉な笑い方をす る」という風に使う。

#### 2-06-D

形容詞が副詞の前について

副詞の働きをする

Their mouths were wide open with surprise. (2-06-A 2)

「彼らの口は、驚きで大きく開いていました」。wide openのwide は本来形容詞だが、副詞のopenの前に重ね られて使われているので副詞だ。事実 Lopen widely の意 味。「彼らの口」と物主構文のまま訳さないで、「彼らは、 驚いて口を大きく開けていた | あるいは「彼らは、口を ポカンと開けていた」とする方がいいだろう。

■接続詞のwhenと、

接続詞のasは、よく似ている

And when he said that, (2-06-A 6)

このwhen は、ここではand then (そしてそのとき) の 意味で訳さずに、「~しながら」の as の使い方と同じも のと考えて、「彼はそう言っている間にも」と訳した方が 適当だ。when と as は非常によく似ている。

●'But why...' began Jane. 'But how...' began Michael.

**②**'Well, you see, if I laugh on that day, I become full of Laughing Gas. And then I can't stay on the floor.

3 The first funny thought I have —I go up like a balloon. And I can't get down until I think of some- thing sad. It hasn't happened to either of you?'

### ◆ point index ◆

I think of(前置詞の of) ······ポイント20(p.115)



### 2-07-B「ガチガチ訳」

- ●「しかしなぜ」ジェインが 始めた。「しかしいかに」と マイケルが始めた。
- ②「さあ、あなたは見る。も しあの日に私が笑うと、私 は笑いガスでいっぱいにな ってくる。そしてそれから、 私は床にとどまることがで きない。
- ●私ははじめのおかしい考えを持つ。私は風船みたいに上がる。そして、私がなにか困ったことを考えるまで、私は降りられない。それはあなたたちのどちらかそれぞれに、起こらなかったか?」

### 2-07-C「なめらか訳」

- ●「でもどうして……」とジェインがきり出しました。「でもどうやって……」とマイケルもきり出しました。
- ●「うん,えーと、金曜日に私が 笑うとだね、私は笑いガスでいっ ぱいになってしまうんだよ。で、 私は床に**ついて**いられなくなっち ゃうのさ。
- ●ちょっとでもおかしなことを考えると――もう私は風船みたいに 舞い上がっちゃうんだ。そして、何か悲しいことを思いつくまでは、 降りて来られないのさ。こんな経験は君たちにはないだろうね?」

4 Jane and Michael shook their heads.

**6** 'No, I can see that it hasn't. It happens only to me. Once I was up here for twelve hours. Then, at midnight, down I came with a bang. That was funny, wasn't it?

No. I can see that it hasn't.

この種の can が、「できる」の意味ではなくて、 may(かも しれない)に近いことについてはポイント® (p.46)参照。

### down I came with a bang.

l came down の倒置。「おちる」を強調した言い方。bang は強打した音を表わし「ドスン、ドタン、バーン」といった擬 音に相当する。

6 And now it is Friday, and my birthday again, and you two and Mary Poppins are visiting me...Now, don't make me laugh, please don't...'

### ◆ point index ◆

make me laugh(使役)……ポイント図(p.232)



#### 2-07-B「ガチガチ駅」

- ジェインとマイケルは彼らの頭を振った。
- ⑤「いいえ。私はそれは持たないことを知ることができる。それは私だけに起こることだ。かつては私は12時間の間ここに上がった。それから、真夜中に、私は大きな音をたてて落ちた。それは奇妙だったでしょう?

●そして、今は金曜日だ。そして私の誕生日がふたたびだ。そしてあなたたち二人とメアリー・ポピンズが私を訪ねてくる。今、私に笑いを作るな、おねがいだ。するな

#### 2-07-0 「なめらか訳」

- ●ジェインとマイケルは首を [横に]振りました。
- ●「そうだろうね、そんなことなかったって私にはわかるよ。こんなこと私にしか起こりはしないさ。一度なんて、12時間もここ [空中]に浮いていたことがあってね。それから、真夜中になって、[ようやく] ドスンと落ちるわけだ。おかしいだろう?

●で、今日は金曜日で、そのうえ 私の誕生日で、君たち二人とメア リー・ポピンズが私をたずねて来 ているとなったら……さあ、私を 笑わさないでおくれよ、お願いだ から笑わさないで……」

- Jane and Michael weren't making him laugh.
- They were only looking with open eyes and mouths at the most surprising thing in their lives.
- 3 But Mr. Wigg began to laugh again loudly.

- **4** And when he laughed he bounced all over the ceiling like a ball.
- **6** Like a big rubber ball he bounced off the ceiling, hit the top of a cupboard, and went up again.



## 2-08-B「ガチガチ訳」

- ●ジェインとマイケルは彼 に笑いを作っていなかった。
- ②彼らは彼らの人生で初めての最もたくさんの驚きで目と口を開いてただ見ているだけだった。
- ③しかし、ウィッグ氏は大声でふたたび笑い始めた。
- ●そして彼が笑う時にボールのように天井中にはねかえりました。
- ⑤大きな、ゴムボールのように、彼は天井からはねかえり茶碗棚のてっぺんを打った。そしてふたたび上がった。

#### (2-08-C「なめらか訳」

- ●ジェインとマイケルは笑わそう としていたわけではありません。
- ●二人はただ、目と口を開けたま ま生まれて初めて見る、何とも驚 くべき出来事をながめていただけ なのです。
- ●ところが、ウィッグさんはまた もや、大声をたてて笑い始めたの です。
- ◆笑っている間じゅう,ウィッグ さんは、天井のあちこちにボール のようにはねました。

**6** He looked very funny, and Jane and Michael couldn't help it.

## ◆ point index ◆

help it(it)……ポイント(11)(p.70)

They shut their mouths and tried hard to be polite.

They shut their mouths and tried hard to be polite. このような副詞の hard は、簡単すぎて逆に日本語に直しにくい。「上品であろうと努力した」けれども「なかなかむずかしくて」結局「無理だ」というような長い意味を、hard 一語で表わしているからだ。



6被は、たいへんおかしく 見えた。ジェインとマイケ ルはそれを助けることがで きなかった。

⑦彼らは彼らの口をとじて。 そして上品であるために堅 くあることを試みた。



❸ウィッグさんがとってもおかし いので、ジェインとマイケルは [おかしくて] がまんできません。

けんめい礼儀正しくしていようと していました。

**8** But they had to laugh. And so they laughed and laughed. Louder and louder.

Louder and louder.

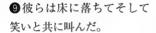
「ますます大声に」。単語をポンポンと置いて、その単語の意味を強調させるというのは、英語によく見られる表現法。

**9** They fell to the floor and cried out with laughter.



#### 2-08-B「ガチガチ訳」

③しかし、彼らは笑わなければいけなかった。そしてだから彼らは笑いに笑った。
より大きく、より大きく、





#### 2-02-C「なめらか訳」

●でも、二人は笑い出さずにはい られませんでした。それで二人は 笑いに笑いました。笑い声がだん だん大きくなっていきます。

●二人は床にしゃがみこんで、ゲラゲラ笑いました。

#### 2-07-D

yes のときは nod「うなずく」 no のときは shake「首を振る」

## Jane and Michael shook their heads. (2-07-A 4)

この shake は他動詞(先ほど出たのは自動詞で、「身をふるわす」だった)。「首を横に振る」という場合、質問への答えとしては、Noを意味する。Yesの時には、nod「うなずく」。「首を振る」shake one's headは、日本語の表現では「横に振る」であり、一般に「たてに振る」の nod はYesになる。

## That was funny, wasn't it? (2-07-A 6)

このthatも、特定の何かを示すのではなく、すでに述べられたことから推測できること、ここでは、笑いガスで宙に浮かんでしまうこと、一度は12時間も浮かんでいたことがあること、そしてドタンと落ちたこと、などをさす。itと同様の用法で that も使われるということで、事実、ここの付加疑問文は、thatのかわりに wasn't it? と it にかえられている。こういう場合には、「それ」「あれ」「これ」などと無理に訳さず、文脈に沿って、「おかしいだろう?」というように、それまでの話しの筋を指すようにする必要がある。

│ help は can や cannot を伴って 「避ける」「やめる」の意味となる

He looked very funny, and Jane and Michael couldn't help it. (2-08-A 6)

このlook は「見える」。「彼はとてもおかしく見えて、ジェインとマイケルはがまんできなかった」。help は can、cannot を伴って「避ける、やめる、抑える、禁ずる」を表わす。it はこれまた漠然とした形だが、一応「おかしさ」や「笑い」を指すとすれば、ここは「おかしさ」と「笑い」を「抑えきれない」となる。もっと漠然とした状況全体を示す it だとすれば「こらえきれない」とか「がまんできない」とかがふさわしい。例えば、何かにうんざりして、I can't take it.「やってられないよ」とか「もういや」と言う場合の it。

## But they had to laugh. (2-08-A 3)

have to は must で「~しなければならない」「~せざるを得ない」。正確には「二人は笑い出さざるを得なかった」ということだが、ここは、they couldn't help laughing. 「二人は笑わずにはいられなかった」と言いかえて考えてみよう。they can (cannot) help. は名詞を目的語に取るので、動詞を使う場合は、動名詞化しなければならない。この場合they cannot help laughing. 「二人は笑わずにはいられなかった」この動名詞の使い方についてポイント図(p.236)参照。

- 'Really,' said Mary Poppins, 'really, what bad children!'
- ◆ point index ◆

what bad children!(感嘆文)……ポイント図(p.306)

2'I can't help it!' I can't help it! cried Michael.

3'It's so very funny. Oh, Jane, isn't it funny!'

- 4 Jane did not answer.
- **5** Something was happening to her.

#### Something was happening to her.

この thing (物)主語の文でかつ過去進行形の文は日本文 に直訳してもそのまま意味が通る。そのことがかえって英語 というものをわかりにくくしている。



#### 2-09-8 |ガチガチ訳]

●「本当に」とメアリー・ポピンズは言った。「本当に何と悪い子供たち」

- ②「どうすることもできない。 どうすることもできない」 とマイケルは叫んだ。
- ●「それはとっても非常に奇妙です。おお、ジェイン。
  それはおかしくないか」
- 4 ジェインは答えなかった。
- 5何かが彼女に起こった。



#### [2-09-C [なめらか訳]]

●「本当に、」とメアリー・ポピンズが言いました。「本当に、なんて悪い子たちなんでしょ!」

- ②「どうにもならないよ! どう にもならないよ!」とマイケルが 声をはりあげました。
- ⑤「おかしくておかしくて、ねえジェイン、おかしいよねぇ!」

- ●ジェインは答えません。
- ●ジェインに何かが起こっていました。

**6** Every time she laughed, she became lighter and lighter until she was full of air.

- ♠ And suddenly, with a bounce, she shot right up into the air.
- (8) Her head touched the ceiling, and then she bounced along until she met Mr. Wigg.

(9) 'Well,' said Mr. Wigg, 'are you going to tell me it's your birthday too?'

1 Jane shook her head.



#### 2-09-B「ガチガチ訳」

- ●そして突然,彼女ははね ることといっしょに空中に まっすぐ浮き上がった。
- ❸彼女の頭が天井についた。 そして、それから彼女は彼 女がウィッグ氏に会うまで 体をはねた。
- ⑤「やあ」とウィッグ氏は言った。「あなたはそれは自分の誕生日でもあると私に言うでしょうか」
- ●ジェインは彼女の頭を振った。



#### 2-09-0 「なめらか訳」

- ●笑うたびに、だんだん軽くなって、ついに、空気でいっぱいになってしまったのです。
- ●そして突然, ひとはずみすると, 彼女は空中に浮き上がったのでし た。
- ⑤その頭が天井について、そこではねかえっているうちに、ジェインはウィッグさんとご対面することになりました。
  - ●「やあ」ウィッグさんが言いました。「あんたの誕生日も今日だったのかい?」
  - ●ジェインは首を振りました。

●'It's not? Then it's this Laughing Gas. Hi, there,look out!' This was to Michael.

It's not?

口語ではイントネーションだけで疑問を表わすことが多い が、ここもその例。It's not. で「そうじゃない?」「違うの?」 で、続く Then は「そうであるなら」「だったら」というふうに なる。

**2** He was no longer on the floor, but was flying through the air.

He was no longer on the floor, but was flying through the air.

no (あるいは not) ~, but という文章のつづけ方は、 日本語の「~ではなくて、~だ」という言い方よりも、もっと強い、言い切り方を含んでいる。「~ではない。そうで はなくて~だ」と訳した方がよい。

3 He was laughing loudly.



●「それは違うか? それか らそれはこの笑いガスだ。 はい、あそこ。見上げろし これはマイケルに対してで した。

②彼はもはや床の上にはい なかった。しかし、彼は空 気を通って飛んでいた。

3彼は大声で笑った。



●「違う? それでは笑いガスの せいだな。やあ、ほら、気をつけ て!」これはマイケルに「言った のでする。

②マイケルはもう床にはいなくて、 空中に浮かんでいたのです。

●彼は、大声で笑い続けていまし to

**4** His feet just missed the top of the cupboard, and then he landed with a bounce right on Mr. Wigg's knee.

**6** 'How do you do,' said Mr. Wigg, and shook Michael's hand.

**6** 'This is really friendly of you. You came up here because I couldn't come down to you, didn't you?'

• And then he and Michael looked at each other and threw back their heads and shouted with laughter.



- △彼の足が食器棚のいちば ん上を失った。そして、そ れから、彼は一はねといっ しょにウィッグ氏のひざの 上にまっすぐ到着した。
  - ♠「ごきげんよう」とウィッ グ氏が言った。そしてマイ ケルの手と握手した。
  - 6 「これが本当にあなたと友 人的だ。私が君たちのとこ ろへ降りられなかったから. 君たちが昇って来た
  - ルはお互いに顔を見合わせて、 そして彼らの頭を後に投げた。 そして笑い声とともに叫んだ。



## 2-10-C [なめらか訳]

- ●足が戸棚のてっぺんをかすめて. 天井でひとはねしてから、 ぴたっ とウィッグさんのひざにとまりま した。
- ▲「はじめまして」とウィッグさ んは言って、マイケルと握手しま した。
- ⋒ 「本当に友だち甲斐があるんだ ね、君たちは。君たちの方がここ まで来てくれたんだね。なにせ. 私の方は君たちのところまで降り て行けないもんだから、ね?」
- ●そこでウィッグさんとマイケル は互いに見つめあい。頭をのけぞ らして大笑いしました。

2-09-D

until は until 以下の時や場所に

「至る」と覚える

she became lighter and lighter until she was full of air. (2-09-A 6)

「どんどん軽くなっていって、空気でいっぱいになった」。untilは「~まで」ということで、「空気でいっぱいになるまで~」とやりたくなるが、これまでに何度も述べたように、文は前から読むべきだから、そもそも英語を漢文なみに返り点つきで読んでいる方がおかしいのだ。untilはむしろ到達点ないし帰結を示すものと考える。つまり、ここでは「どんどん軽くなって」その結果「空気でいっぱいになる」に至った、という風に。until は until 以下の時や場所や事柄に「至る」という風に覚えよう。しかし、もちろん、「まで」がなくなってしまうわけではない。時間が直接問題の場合には「まで」を使えばいい。

文中にはさまれる with は

■付帯状況を表わす with だ

And suddenly, with a bounce, she shot right up into the air. (2-09-A ①)

with は付帯状況の with だ。「ひとはねで」「ひとはねして」。この shoot は他動詞「撃つ」の方ではなく,自動詞で「弾が飛びでる」方だ。「勢いよく動き出す」という意味でPrices are shooting up. と言えば「物価が急激に上がっている」。ここでは,shot right up into the air「空中へ

真上に飛び上がる」。笑いガスでいっぱいになってどんどん軽くなった結果だから、「勢いよく飛び上がる」というより、「浮き上がる」という感じだろう。

and then she bounced along until she met Mr.Wigg. (2-09-A ♠)

bounce alongは天井にあたってポンポンはずんでいる, というところ。until はすぐ前に出たのと同じように扱っ て,「ミスター・ウィッグと対面することに」至った。

'are you going to tell me it's your birthday too?' (2-09-A 4)

ここのbe going to はほとんどwillと同じ、未来というより意志「~するつもり」。「君は今日が君の誕生日でもあると私に言うつもりかね」ということ。つまり、ジェインが笑いガスで浮き上がったのを見て、「君も誕生日には浮き上がるのかい」で「今日がその誕生日なので、そうやって浮かんでいるのかい」という風に聞いているわけ。ウィッグさんの冗談だ。are you going to tell me で切れ、it's your birthday too と続く。間に that を入れて考えてもいい。とにかく切れ目がわかればいいわけだ。

# Point 34

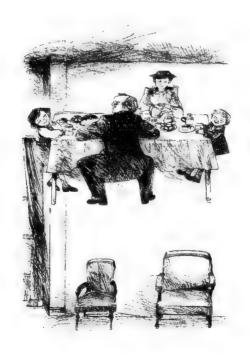
# 感嘆文のしくみは、こんなにカンタン!

- I What a beautiful girl she is! 彼女は何て美しい少女なのだ。
- II How beautiful she is! 彼女は何て美しいのだ。
- **II** How beautiful the girl is! 彼女は何て美しい少女なのだ。

上の三つの文をよく見比べて下さい。what と how で作る感嘆文と言われているものの、それぞれの特徴がわかるでしょうか。Whatで始まる方は、冠詞 a がついて、その次に形容詞 beautiful + 名詞 girl が来ていますね。それに対して、Howの方は、すぐそのあとに形容詞の beautiful が来ていますね。そして、名詞はその次につづいているのではありません。ここが、二種類の感嘆文を区別するミソなのです。感嘆文というのは、疑問文と似ていますから、同じような、コトバのひっくりかえり(語順の倒置)になっているのですね。元の形にもどしてみましょう。

- 1. She is what a beautiful girl. very
- 2. She is how beautiful.
- 2'. The girl is how beautiful.

これだけのことさえ、わかっていれば、どんな感嘆文も 全然怖くないのです。そして、二つの種類を混同すること もないのです。what と how が、それぞれどの語にかか って、それを強めているのかさえわかればよいのです。 what は girl (名詞) にかかっています。そして how は beautiful(形容詞)にかかっているのです。



● Then Mr. Wigg turned to Jane.

②'You must think I'm not very polite. You're standing, and you ought to be sitting — a nice young lady like you.

#### You're standing,

「あなたは立ったままでいる」と状態を描写している。立ったままといっても空中でのことだ。

I'm sorry I haven't got a chair for you here, but you'll find the air is quite comfortable to sit on.'

#### ◆ point index ◆

to sit on(不定詞)……ポイントIB(p.100)

**4** Jane tried it, and found she could sit quite comfortably on the air.



- ●それからウィッグ氏はジ エインのほうを向いた。
- ②「あなたは、私が非常に上 品でないと考えるに違いな い、あなたは立っている。 そして、あなたは座ってい るべきだ。あなたのような ステキで若い淑女は。
- 3 私は、ここにあなたのた めの椅子を持っていなかっ たことをすまない。しかし、 あなたは、空気は座るため にまったく気持ち良いと見 つけるでしょう。!
- ④ジェインはそれを試して. そして彼女はまったく気持 ちよく空気の上に座ること ができるのを発見した。



## 2-11-0 なめらか訳

- ●それからウィッグさんはジェイ ンの方を向きました。
- ❷ 「あなたは、私があまり礼儀正 しくないとお思いだな。あなたは 立ったままだ、 当然座ってなけれ ばいけないのに---あなたのよう な立派な若いレディはね。

- 3あいにくなことに、私には、あ なたのような立派な女性にすすめ る椅子がない。でもあなたは、こ の空気の上がとっても座りごこち がいいことがわかりますよ。」
- ジェインがためしてみると、本 当に具合よく空気に座れるのがわ かりました。

- **6** She took off her hat and put it down beside her.
- 6 It hung there without anything at all under it.

It hung there without anything at all under it. 「帽子はその下に何も(支えとなるものが)ないのにそこにかかっていた」だが、hang there は hold there, keep itself 「自らをその状態にとどめておく」の意味ととっていい。「そこに浮かんでいた」という意味。ふつう帽子は、Hat was hung on the wall.「帽子は壁にかかっていた」このようなhangのもっと基本的な動詞は place と put 「置く」「置いてある」だ。

- That's right,' said Mr. Wigg.
- ◆ point index ◆

That's right.(that について)……ポイント國(p.318)

Then he turned and looked down at Mary Poppins.



- 6被女は彼女の帽子をとっ て、そしてそれを彼女の横 に投げおとした。
- 6 それはその下にまったく 何かが無しに、あそこにひ っかかった。

- イッグ氏は言った。
- 8 それから彼は振り返ってメ アリー・ポピンズを見おろ した。



- 60ジェインは帽子をぬいで、そば に置きました。
- ●帽子は下に何もないのにそこに 浮かんでいました。

- 「それでよろしい!とウィッグ さんが言いました。
- ❸それから首をかしげて、メアリ ー・ポピンズを見おろしました。

●'Mary, you don't look pleased. You don't really like all this ...' and he waved his hand at Jane and Michael.

#### ◆ point index ◆

look(be動詞に近づきつつある動詞)……ポイント団(p.81)

**②** He said hurriedly, 'I *am* sorry, Mary, my dear. But you know how it is with me.

3 I never thought that my two young friends here would get Laughing Gas, really I didn't, Mary! Now I must think of something sad....'



## 2-12-B「ガチガチ訳」

- ●「メアリー、あなたはよろこんで見えない。あなたは本当にすべてこのようではない……」そして彼はジェインとマイケルに彼の手を振った。
- ②彼は大急ぎで言った。「私はごめんなさい。メアリー。 私の親しい人。しかしあなたは私にとってそれがどうであるかを知っている。
- ③私はここの私の二人の若い友人が笑いガスを取るだろうとは考えなかった。本当に私は考えなかった。メアリー / 今や私は何か悲しいことを考えなければならない」



## 2-12-C「なめらか訳」

- ●「メアリー,君は嬉しそうじゃないね。君にはこうしたことがみんなまるで気に入らないようだね……」そう言いながらウィッグさんはジェインとマイケルに手を振りました。
- ●彼は急いで言いました。「すまないね、メアリー、ねぇ。でもわかるだろう、私がどんな風かってこと。
- ●私はね、この二人の若いお友だちがここで笑いガスを吸い込むなんて思ってもみなかったんだよ、ほんとなんだ、メアリー。今から、何か悲しいことを思いつくことにするからね……」

**4** 'Never in my life,' said Mary Poppins sternly, 'have I seen such a thing. And at your age, Uncle .....'

And at your age, Uncle.... 「いい年をして」という日本語の表現がこれにあたる。

**6** 'Mary Poppins, do come up! called Michael down to her.

**6** 'Think of something funny, and you'll find it's quite easy.'

Oh, yes, please do that, Mary,' said Mr. Wigg.



## 2-12-B 「ガチガチ訳」

- ●「私の人生には決してない」 とメアリー・ポピンズは厳 しく言った。「私はこんなこ とを今まで一度も見たこと はない。そしてあなたの年 齢で、おじさん」
- 「メアリー・ポピンズ, 上がって来い」とマイケル が彼女に呼びおろした。
- 「何かおもしろいことを 考えろ。そして、あなたは それがまったくかんたんだ と見つけるだろう」
- ⑦「おお、はい、どうぞあれをやって下さい。メアリー」
  ウィッグ氏が言った。



## 2-12-0 「なめらか訳」

- ●「こんなことってあるんですか」 とメアリー・ポピンズは冷たく言 いました。「こんなことこれまでに はなかったわ。それにその年で, 叔父さんたら……」
- ⑤「メアリー・ポピンズ、上がっておいでよ!」とマイケルが彼女に呼びかけました。
- ●「何かおもしろいこと考えるんだよ、そうすれば、「浮き上がるのが」かんたんだってわかるよ」
- ●「そうとも、そうおしよ、メアリー」とウィッグさんが言いました。

#### 2-11-D

不定詞の副詞的用法に

気をつける

but you'll find the air is quite comfortable to sit on. (2-11-A 3)

you'll find that 「あなたは気づく」, the air is quite comfortable to sit on. 「空気が座るのにちょうどいい具合だということに」。この不定詞 sit は副詞用法で形容詞 comfortable にかかっている。そこで、ここは「でも、あなたは気づくでしょう。空気が座るのにちょうどいい具合であることに」となる。

■ That's right は

「それでよろしい|「結構だ」

'That's right,' said Mr. Wigg, (2-11-A 1)

ジェインが、ウィッグさんの言うとおり、空気にすわって落ち着いたことに対し、「それでよろしい」「結構だ」と言っているところ。承認を与えるというより、行為や動作に対して肯定の意を表する、といった表現。That's right. はまた、質問に対する答えとして言われる時には、「そのとおり」「あなたのおっしゃるとおり」という意味になって、質問がYes を求めている場合にはYes、Noの場合にはNoととれる受け答えを可能にする。相手の意向にさかわらずその場をやりすごす受け答えの典型で、Yes、Noがはっきりしていると言われる英語世界にも、こうしたあいまいさを含んだ言い方はやはりあるのだ。これがThat's

OK. となると、承諾、受け入れの意志、選択の意味が働くので、That's right. とは形は似ても意味は少し違うので注意。

#### 2-12-D

■ be動詞に近づきつつある ■ 不完全動詞の用法を確認する

Mary, you don't look pleased. (2-12-A 1)

このlook は不完全自動詞「見える」。このlook は be 動詞 に非常に接近していて、ここはYou are not pleased. とほ とんど同じ。lookは「見える」わけだから当然「見る」を 前提とし、「見る-見える」の関係の一方向を「見える」 という自動詞の方で示しているわけだ。これが buv 「買 う」なら sell「売る」と対応することで、二つの向きが区 別されるが、look の場合「見る-見られる」のどちらの 方向も look に含まれているため、look がこの関係の存在 そのものを表わす形になり、「存在のbe」に接近すること が生じる。つまり look も be も、その中では主体と客体 の関係の向きが、未分化なままになっているという点で類 似していて、そこから用法における接近が導かれている、 ということ。ちょっと難しいかもしれないが、こういう最 も深いところにある関係のあり方が、そのうちにいろいろ な種類の文を派生させて行ったのだ、ということを覚えて おいて欲しい。だからここではyou don't look pleased. you are not pleased. 「君はうれしそうに見えない」 「君は

うれしそうじゃない」。

# Point 35

# that をどう訳すかで キミの読解力が試される

"That's right," said he.

「それでいいんだよ」と彼は言った。

"That's right," said he.

(「それでいいんだよ」と彼は言った)

That's all right. を直訳すると「あれは、すべて正しい」であるのに、実際には「そのとおりだ」「それでよろしい」「だいじょうぶだ」になるのは何故なのでしょう。

私たちが、Thatを「あれは」Thisを「これは」とだけ 覚えているから、たいへんな間違いを起こすのです。「こ れは」という意味のThatもあるのです。この「これ」「そ れ」「あれ」のような指示代名詞と言われるものは、どこ の国の言葉でも、たいへん微妙な使い方をするに決まって いるのですから、それを、しゃくし定規にThatは「あれ」 とだけやっていると、いつまでたっても、肌で英語を感じ ることはできません。例えば、

That's entertainment.

(これがショウの世界だ)

を「あれが娯楽だ」とやってもピンとこなくなりますね。

その場の情量に合わせて、訳語をあてはめる努力をする。 ということは大切なことですね。

しかし、だからといって、反対に、自分勝手な思い込み で、いい加減な訳をすると、これまたたいへんな間違いを 引き起こすことになります。言葉の勉強は、キチンとした 基礎からの積み上げが必要なのであって、それは、この本 のテキストの訳を、原文忠実訳となめらかな訳に分けたこ との理由でもあります。原文忠実訳がしっかりとできるこ とがまず大切なことなのです。その訓練の上に立って、な めらかな訳にする能力が養われるのです。

試験の長文英文解釈問題の、「下線部を訳せ」の答案で、 いつもどうやっても全然点数がとれないという人の欠陥は、 実は、忠実訳となめらか訳をいいかげんにゴチャマゼにし たような答案を書くからです。学校の先生たちですら「涿 語訳をやるべきか意訳にすべきか悩むね | などと、愚かな ことを言っていますが、そうではないのです。二つの訳 (あるいはそれ以外にもある)をはっきりと区別できるよ うになることが、実はほんとうに、英文と日本文を平等に 考えるということなのです。原文忠実訳が亡びないで、い まだに強い説得力を持っている背景には、原文忠実訳から は、もう一度、ほとんどそのまま英文への反訳ができるか らです。この点は忠実訳が、今後も絶対にすたれることの ない最大の理由だと思います。そして、意訳(なめらか訳) の方は、訳す人のあまりに個人的な癖と日本語の文章を書 く能力の問題が露出してしまうのです。ほんとうに美しい 日本文を書く能力がある人だけがなめらか訳の最高の仕上

がりに向かって努力すればいいのです。

日本には翻訳家という職業がありますが、その中で名訳家と呼ばれる人びとは、必ず、原文忠実訳を文法知識に基づいて、しっかりできる人たちです。辞書だけをたよりに適当に訳している人たちを翻訳家にしてはいけないのです。

このことは、学校で英語を教えている先生たちが、英文 を訳すときに、いつもは忠実訳をやっているのに、ちょっ と苦しくなるとすぐになめらか訳の方に逃げてしまうこと が、私たちの英語力をなかなか進歩させない大きな原因に なっているのだ、とここではっきり申しておきましょう。 原文忠実訳を、くれぐれもおろそかにしてはいけません。

## Point 36

# Thank you. よりも You are kind. の方が好感がもてる

This is really friendly of you. 君はほんとうに友達甲斐のある人だ。

このような言い回しが、英文にはときどき、見られます。このThis is... という表現形は、かんたんなようでいて実はなかなかむずかしい内容を持っています。このThis is... と、It's...... と There are... が、元来、同じしくみ、すなわち、「存在の文」(あるということ、それだけを示している文) だということになります。

321

さて、私たちは、「ありがとう」という大切なコトバを、いつも Thank you.だと思っていますが、それだけではないのです。(I) thank you.は「私はあなたに感謝する」という、第三文型(S+V+O)の型をしているのですが、この文には、「私はお前に感謝しているんだゾ」という感じも入っているように思えます。これを、

You are kind. (あなたは親切ですね) という言い方にかえても内容の点からは「ありがとう」だと思います。こっちの言い方の方が、Thank you. より暖か味があるでしょう。こっちは第二文型(S+V+C)ですね。主語はYou「あなたは」となっていますから、自分が「感謝する」よりも相手の「親切」のことを言っているので好感が持てるのです。さて、ところがこのYou are kind.を、ふつうの英米人は、すぐに変形して、

This is very kind of you.

あるいは,

It's very kind of you.

という言い方にしてしまいます。これは初めの例文とまったく同じ形ですね。このようなThis is の言い方は、たいへん、気取った言い方なのです。This is のthisに「これは」というような意味は、もうありえません。このthisが何かを指しているとは考えられないのです。だから、このThis is やIt'sなどのような言い方は、表面的にはすごくかんたんなように見えて、実は、たいへんひっくりかえった(転倒した)言い方なのです。This is が来たら注意して下さい。

• We want you up here with us,' said Jane, and she held out her arms to Mary Poppins.

We want you up here with us, up は単なる副詞を越えて動詞化しつつあるコトバなので、ここは主語+動詞+目的語+補語の第五文型と考えていい。 We want you come up here with us. と come をおぎなえば、まったく第五文型になる。

2'Please try to think of something funny!'

3'Ah, she doesn't need to,' said Mr. Wigg.

**a** 'She can come up if she wants to. She doesn't need to laugh, and she knows it.'



### 2-13-B「ガチガチ訳」

● 「私たちは、あなたが私たちといっしょにここに上がってくることを欲する」とジェインが言った。そして彼女は彼女の腕をメアリー・ポピンズにさし出した。

- ②「どうぞ、何かおかしいことを考えようと試みてください」
- ③「ああ、彼女は必要ないのだ」とウィッグ氏が言った。
- ●「彼女はもし彼女がしたいと思えば、上がってくることができる。彼女は笑うための必要がない。そしてそれを彼女は知っている」



## 2-13-C「なめらか訳」

●「あなたもここに来ていっしょ になって」と言って、ジェインは メアリー・ポピンズの方に手を差 しのべました。

- ②「お願い、何かおもしろいこと 考えてみて!」
- ●「いや、メアリーにはそんな必要ないのさ」とウィッグさんは言いました。
- ●「その気になれば上がってこれるんだ。笑わなくてもいいんだよ。 それにそのことを自分でも知ってるのさ」

**6** He gave Mary Poppins a look.

**6** He knew something about her that the children did not know.

• Well,' said Mary Poppins, 'I don't really like it. But you're up there, and if you can't come down, I'll come up too.'

### Well.

近い将来には、この Well「ウェル」と Ah「アー」はきっと 日本語としてみんなが使うようになるだろう。 それくらい英 語感覚は日本語の中に浸透してしまっている。

She put her hands down by her sides, and, without a laugh, without the smallest smile, she shot up through the air and sat down beside Jane.

# ◆ point index ◆

without(付帯状況のwith)……ポイント図(p.338)



## 2-13-B「ガチガチ訳」

- 飯はメアリー・ポピンズにひとつの凝視をあたえた。
- 動彼はその子供たちが知らない、彼女についての何かを知った。
- ●「そう」とメアリー・ポピンズが言った。「私はそれを本当に好きでない。しかし、あなたたちはそこに上がった。そしてもしあなたたちが降りることができないのなら、私も上がるだろう」
- ③彼女は彼女の手を彼女の両側におろして、そして、笑わずに、最も小さな微笑なしに、彼女は空気中を通って飛び上がり、そしてジェインの横に座った。



# 2-13-C「なめらか訳」

- 動ウィッグさんはメアリー・ポピンズに目をやりました。
- ●彼は、メアリーについて子供たちの知らないことを知っていました。
- 「そうね」とメアリー・ポピン ズは言いました。「私は本当はこん なことをするのはいやなのよ。で も,あなたたちは上の方にいるし, それにあなたたちが降りてこれな いんだったら,私もそちらへ行く しかないわね」
- ●彼女は両手をわきにビタッとつけて、笑いもせず、ほんのわずかなほほえみさえせずに、空中に浮き上がり、ジェインの横に座りました。

• 'How many times,' she said angrily to Jane, 'how many times have I told you to take off your coat when you come into a hot room?'

### How many times,

コートを脱ぎなさい、と言うかわりに「何度言ったらわかるの」という言い方を日本人のお母さんも言うのと同じことだ。 疑問文の問いかけの型でジェインに教えさとしている。

② And she unbuttoned Jane's coat, and put it down on the air just beside her hat.

3'That's right, Mary, that's right,' said Mr. Wigg.



●「何回」と彼女はジェイン に怒ったように言い「何回、 私はあなたが暖かい部屋に 入るときには、あなたのコ ートを脱ぎなさい。とあな たに言ったかし

- ②そして彼女はジェインの コートのボタンをはずして. そしてそれを空気の中の彼 女の帽子のちょうど横に置 いた。
- あれは正しい」とウィッグ 氏が言った。



●「何度」メアリーはジェインに 怒ったように言いました。「何度、 あなたに言ったでしょう。暖かい 部屋に入ったらコートを脱ぐんで すよってし

- ●そして彼女はジェインのコート のボタンをはずし、「先ほど空中に 置いた]帽子のすぐ横に置きまし た。
- 3 「あれは正しい。メアリー、 ③「それでよろしい、メアリー、 それでよろしい とウィッグさん が言いました。

**4** 'Now that we're all comfortable we can have tea.' And then he hit his head with his hand.

**6** 'How terrible! I've just remembered — the table's down there, and we're up here.

### How terrible!

「なんておそろしい」とは訳さないこと。terrible は口語では「ひどい」とか「大変だ」とかいう意味で、日本人もこの「大変」というコトバを「大変」よく使うように、実は、それほど「大変」ではない。ここでは「なんてことでしょう」という中年ご婦人方がよく使うコトバだ。

**6** What *are* we going to do? We're here, and it's there!



# 2-14-8 「カチカチ訓」

- ●「今や私たちはまったく気持ちよい。そして私たちはお茶を飲むことができる」 そして、それから彼は彼の手で彼の頭をたたいた。
- ⑤「なんて恐ろしい/私はちょうど思い出した──テーブルは下のあそこにある。 そして私たちはここに上にいる。

●何を私たちはするのか。私たちはここにいる。そしてそれはあそこにある。



# 2-14-C「なめらか訳」

- ●「さて、これでみんな気持ちよくお茶にすることができるな」その時、ウィッグさんは手で頭を [ポン]と打ちました。
- ●「なんてこった!すっかり忘れてた――テーブルが下にあるのに、 みんなは上だ。

動どうしたもんかな?みんなはここ。あれはあっち!

Tt's very sad, isn't it — but it's very funny too.'

**3** And he hid his face in his handkerchief and laughed loudly into it.

9 Jane and Michael did not want to miss the cakes, but they laughed too.



# 2-14-B 「ガチガチ訳」

- → それはたいへん悲しいことですね。しかし、それはとてもおかしいことでもある
- ⑤そして彼は彼の顔を彼の
  ハンカチに隠した。そして
  その中に大声で笑った。
- ③ジェインとマイケルはケーキを見失うのは欲さなかった。しかし、彼らもまた笑った。



# 2-14-C「なめらか訳」

- ●これは悲しいことじゃないかい──でもやっぱりおかしいな」
- ●彼はハンカチーフに顔をうずめて、大笑いしました。
- 動ジェインとマイケルは、ケーキをのがしたくはなかったものの、 やはり笑ってしまいました。

● Mr. Wigg said, 'There's only one thing to do. We must think of something sad.

### There's only

thing とか something の後には, something good to drink (なにかおいしい飲み物) のように形容詞がきて to do という不定詞形がくることになっている。

② Something very, very sad. And then we shall be able to get down. Now — one, two, three! Something very sad, remember!'

3 They thought and thought, with their heads in their hands.

♠ Michael thought, 'Some time soon I'll have to go to school.'



# 2-15-8「カチガチ訳」

● ウィッグ氏は言った。「ただ一つだけすることがある。 私たちは何か悲しいことを 考えなければならない。

- ②なにか、非常に、非常に 悲しいこと。そして、それ から私たちは、降りること ができる。今、いち、に、 さん/何か非常に悲しいこ とを思い出せ/
- ③彼らは彼らの両手の中に 彼らの頭を入れて考えに考 えた。
- ●マイケルは考えた。「時々, すぐに私は学校に行かなければならない」



# 2-15-0 なめらか訳!

●ウィッグさんが言いました。「残 るはただ一つだ。何か悲しいこと を考えなくちゃならないな。

- ●何かとても悲しいことをね。そうすれば、みんな下に降りられるよ。さあ――いち、に、さん! 何かとても悲しいことを、思い出せ!
- ●三人は両手に頭をかかえ込みながら考えに考えました。
- ●マイケルは考えました。「もうしばらくすると学校に行かなくちゃならなくなるな」

- 6 But today that thought was funny, and he began to laugh.
- **6** Jane thought, 'I shall be grown up in another fourteen years!'
- 1 But that was not really sad, but rather nice.

### But that was not really sad.

ここは内心の独白が地の文となって流れ出ている。本来ならジェインのセリフとなるところだが、情景描写の一部としてあつかわれている。そこでここでは会話体のままで訳しました。

She smiled when she said to herself, 'And I'll be wearing long skirts and carrying a handbag.'



### 2-15-B「ガチガチ訳」

- ⑤しかし、今日あの考えは変で、そして彼は笑い始めた。
- ⑤ジェインは考えた。「私は、 もうひとつ違った14年間で 成長するでしょう」
- **②**しかしあれは本当に悲しい ことではなかった。しかし むしろ素敵だった。

③彼女は彼女自身に言ったときにほほえんだ。「そして私は長いスカートをはき、そしてハンドバッグを持ち運ぶでしょう」



# 2-15-C [なめらか訳]

- ●でも今日はそんなこともおかしくて、笑い出してしまいました。
- ●ジェインは考えました。「あと14年たつと大人になってしまうんだわ」
- ●でも、それは本当は悲しくなくて、むしろ素敵なことよ。

●ジェインはほほ笑みながら、自 分自身に言いました。「だって、長 いスカートがはけるようになるし、 ハンドバッグだって持てるんだわ」

### 2-13-D

She doesn't need to laugh, and she knows it. (2-13-A 4)

ここまで、She can、She wants、She doesn't、She knows、と並べてリズムをつくっているのに気づいた?正確には韻をふんでいるのではないが、それに近い感じが出ている。韻をふむ rhymingといってもさまざまな形があって、ここで近いと言ったのは頭韻。つまり語の頭で韻をふむ、というもの。

■ 関係代名詞の which は

「もの」「こと」を代名する

He knew something about her that the children did not know. (2-13-A 6)

ここのthat は関係代名詞which のかわり。which というのは「もの、こと」を代名するので、ここは当然 something 。前に説明したように the thing which は what で表わせるので、ここは She knew what the children didn't know about her. としてもいいわけだ。「彼は子供たちが彼女について知らない何かを知っていた」

## 2-14-D

英語は動詞の前後に補助語をつけ 一つのコトバに広がりをもたせる

she unbuttoned Jane's coat, (2-14-A 2)

undress と同様の動詞 unbutton「(ボタンを) はずす」

あるいは「~のボタンをはずす」。 つまり「ジェインのコ ートのボタンをはずす」。前に述べたように英語の場合、 日本語の助詞に当たるものがないので、動詞の前後に補助 語をつけて意味を広げたり折り曲げたりする方法を発達さ せたが、同時に、こうした名詞から動詞を作ってしまうこ とでも、動詞の領域の拡大をはかってきた、と言えよう。 いわば、折りたたみ式の動詞とでもいうか。「~のボタン をはずす」と目的語の一部を内側に折り込んでいる動詞だ。

■ that は判断の根拠や理由を示す接続詞。

「~だから」「~なので」を示す

'Now that we're all comfortable we can have tea.'  $(2-14-A \bullet)$ 

これは通常, we can have tea that we're all comfortable. とする文の倒置形。このthat は判断の根拠や理由を 示す接続詞として働いているので、前に出して「~だから」 「~なので」と先に理由を述べ、急いで判断を表わすとい う形にすることができる。「われわれはみんな気持よくな ったので、お茶をいただいてもいいな」あるいは「お茶に することができるな | という意味。ここのcanは許可によ る可能。状態がよくなったので「~していい、できる」の can<sub>o</sub>

# Point 37

# with というコトバは「して」 「で」という言い方を表わす

**(You go) straight into bed with you.** (1-18-D参照) さあ、さっさとベットに入りなさい。

この文末のwith youの言い方は、ちょっと変ですね。「あなたがベッドといっしょで」という意味には、とても取れません。このような一風変わったwithの使い方が、英語の中にあります。

She went out with her eyes shining.

(彼女は、目を輝かせて飛び出して行った)

He listens to the music with his eyes closed.

(彼は、目をとじて、音楽に聞き入っている)

これらのwithは、もともとは、with以下は別の文章だったのだと思います。それを、withという前置詞を使って、分詞構文(ポイント図参照p.172)にしてしまったのでしょう。

こんなことより皆さんは、この種のwithがきたときは、 とにかく、日本語の「で」というコトバを大切にして下さい。この「で」という助詞をうまく使うコツがわかると、 長ったらしい英文のおわりの方の付録の部分を、なんとか 自動的に読み取っていけるようになります。



●'There was my poor old Aunt Emily,' said Mr. Wigg out loud.

**2** 'A bus knocked her down. Sad. Very sad. Terribly sad. Poor Aunt Emily!

3 But they saved her umbrella. That was funny, wasn't it?'

# But they saved her umbrella.

このtheyは「人々」「そこに居合わせた人々」のことを指す。 日本語では「世の中は」と言ったりするところを英語では Theyとか You とかいう漠然とした主語を使うことが多い。 これらを非人称主語という。

♠ Before he could stop, he was shaking with laughter at the thought of Aunt Emily's umbrella.



# 2-16-B「ガチガチ訳」

- ●「私の気の毒で年老いたエミリー叔母さんがいた」ウィッグ氏が大声で言った。
- ②「一台のバスが彼女を打ち 倒した。悲しい。たいへん 悲しい。恐ろしく悲しい。 気の毒なエミリー叔母さん!
- ③しかし彼らは彼女の傘を 救った。あれは変だったで すね」

●彼はやめることができた前に、彼はエミリーおばさんの傘の考えについて大笑いといっしょに揺れた。



## 2-16-C [なめらか訳]

- ●「私には、エミリー叔母さんというかわいそうな年寄りがいたんだ」とウィッグさんは声に出して 言いました。
- ●「バスがね、彼女をひいちゃった。悲しい。とても悲しい。ひどく悲しい。あわれなエミリー叔母さん!
- ●ところがだ、叔母さんの傘の方は助かっちゃった。どうもこれよくないな!

●話し終わる前に、[早くも] ウィッグさんはエミリー叔母さんの傘のことを思って笑いで体をふるわせてしまうのでした。

6 'It's no good,' he said, and blew his nose.

**6** We can't do it. Mary, can't *you* do something? We want our tea.'

The children never knew how she did it.

The children never knew how she did it.

「あなたはちょっと変わってますね」という言い方と「ちょっと変わった方ね」という言い方が日本語にもあるように、形容詞の unusual だけで、その人物を表わせる。

8 But the big table began to shake on its legs.



# 2-16-B 「ガチガチ訳」

- 6 「それはよくない」彼は 言い、そして自分の鼻を吹 いた。
- 6 「私たちはそれをするこ あなたは何かできないか? 私たちは、私たちのお茶が ほしい
- **か**その子供たちは、彼女がそ 知らなかった。

⑧しかし、その大きなテー ⑤けれど、大きなテーブルの脚が ブルは、その足たちの上で 揺らし始めた。



# 2-16-C 「なめらか訳

- ●「いかんな」と言って、ウィッ グさんは鼻を鳴らしました。
- とができない。メアリー、どうにかできないかい? お茶に したいんだよ

●子供たちには、彼女がどういう れをいかにやったか決して … ふうにやったのか、まるでわかり ませんでした。

揺れ始めたのです。

Then the cups began to shake on their saucers, the cakes began to fall off the plates, and the table rose up through the air.

• It turned round beside them and stopped when Mr. Wigg was at the head of it.



- ②それからコップたちがそ れらの受け皿たちの上で揺 らし始め、ケーキたちがお … 盆からずれ落ち出し始め、 そしてそのテーブルが空気 中を通って上に上がった。
- ●ウィッグ氏がそれの頭にあ った時、それは彼らのまわり をまわって、そして止まった。



⑤それから、カップが受皿の上で 揺れはじめ、ケーキがお皿からず れ落ち始めると、テーブルが空中 にのぼって来たのでした。

⑩テーブルはみんなのそばで回転 して、ウィッグさんが上座になっ た時に、止まりました。

●'Good girl!' said Mr. Wigg and smiled at Mary Poppins.

### 'Good girl!'

「いい子だね」「よくやった」という表現。相手が男なら good man,good boy となる。当然 good には有能さや器 用さを示す意味もあるので、何事かをじょうずに、あるいは 見事にやりとげた場合などに用いる。

Ya knew you could do it. Now, will you pour out the tea, Mary? And the children must sit on either side of me.'

will you pour out the tea, Mary?

メアリー・ポピンズの薬ピンの話しの時にも出たが、pour ロボ できの場合ポットからカップへ注ぐという動作全部が表

out でこの場合ボットからカップへ注ぐという動作全部が表わされている。

# ◆ point index ◆

must(助動詞)……ポイント⑨(p.49)

3 There they were, all together, up in the air round the table.



●「良い少女だ!」ウィッグ 氏は言い、そしてメアリ ー・ポピンズにほほえみま した。

② 「私は、あなたがそれをす !! ② 「君にはできると思ったよ。さ ることができると知った。 今や、あなたはそのお茶を 注ぐでしょうか? メアリ ー? そしてその子供たち は、私のそばのどちらかに 座らなければならない

ないっしょに、テーブルの まわりで空気中にいた。

●「いい娘だ!」と言って、ウィ ッグさんはメアリー・ポピンズに ほほえみかけました。

て, お茶をついでくれないか。メ アリー? それから、子供たちは 私の両わきにお座りよ|

3 あそこで、彼らは、みん : 3これでみんな、空中のテーブル のまわりに、そろいました。

- **4** Not one piece of bread and butter or one cake was missing.
- **5** Mr. Wigg smiled happily.
- **6** 'It's usual, I think, to begin with bread and butter,' he said to Jane and Michael.

Thus, and so we'll begin the wrong way—and that, for me, is the *right* way—with the cake!'



- ●ひと切れのパンも、バタ ーも. 一個のケーキも失わ れていなかった。
- **5**ウィッグ氏は幸福そうに ほほえんだ。
- 6 「それはふつうだ。私は 始めることは一彼はジェイ ンとマイケルに言った。
- ⑦「しかし、それは私の誕生 日だ。そしてだから私たち は悪いやり方を始めるでし ょう――そしてあれは、私 にとっての正しいやり方だ が---そのケーキといっし ょにノ

- ●パンもバターも。それからケー キも、ひとかけらも落ちていませ h.
- 動ウィッグさんは、うれしそうに ほほえみました。
- ⑥「たしか、パンとバターから始 考える。バターつきパンで !! めるのがふつう [のやり方] だよ ね」彼はジェインとマイケルに言 いました。
  - ●「だけど、今日は私の誕生日だ から、間違ったやり方で始めよう ----それに、私には、それが正し いやり方なんだから――ケーキか ら始めようね!

- And he cut a very large piece of the chocolate cake for everybody.
- O'More tea?' he was saying to Jane when there was a quick, sharp knock at the door.

when there was a quick,....
この when は、文の前の方からそのまま訳していけばよい。
when=and then (そして、そのとき)だ。

- 3'Come in,' called Mr.Wigg.
- **4** The door opened and there stood Miss. Persimmon, with a jug of hot water.



- ●そして彼はみんなのため に、非常に大きなチョコレ ートケーキを切った。
- ②「もっとお茶を? | ドアへ ⑤「お茶をもっといかがかな?」 の一つの早い鋭いノックが あったときには、彼はジェ インに言っていた。

- ③「入れ」とウィッグ氏は呼 んだ。
- **4**そのドアは開いた。そし て熱いお湯のジャグといっ しょに、ミス・パーシモン が立っていた。

- ●そうしてウィッグさんは、チョ コレートケーキをみんなにとても 大きく切り分けました。
- とジェインに話しかけていると、 その時、ドアに素早く鋭いノック がありました。

- ❸ 「お入り」とウィッグさんが応 えました。
- ●ドアが開くと、そこにミス・パ ーシモンが立っていました。熱い お湯の入った水差しを持って。

**6** 'I thought, Mr.Wigg...' she began, as she looked round the room.

'I thought, Mr. Wigg...' she began, as この thought は「あの、ちょっと」といった感じで話しの 間をもたせるもの。as も前からつなげて訳そう。

**6**'I thought you'll want some more hot.... Well, well, I never saw... *never*.....' Her eyes came up to them, in the air, round the table.

In never in my life saw anything like this.



# 2-18-B「ガチガチ訳」

⑤「私は考えた。ウィッグ氏 ……」と彼女は始め、そし て彼女は部屋中を見た。



## (2-18-C 「なめらか訳」

⑤ 「私,あの,ウィッグさん……」
と彼女はきり出して,部屋の中を
見まわしました。

- ⑤「私,お湯をもっと [おいりようになるだろうと思いまして]。……まあ、まあ、私,見たことありません。……こんりんざい……」ミス・パーシモンは、空中でテーブルをかこんでいるここの人たちに、目がいったのでした。

**3** I always knew, Mr.Wigg, that you were a little unusual. But this now—tea in the air, with your friends—Mr.Wigg, I'm surprised at you! A man of your age!'

you were a little unusual.

形容詞に冠詞をつけて名詞化したもの。「ちょっと変わった方」「ちょっとした変人」というところ。例えば、the social で「社会的なもの」「社会的存在」といった使われ方をする。

**9** 'But perhaps you'll catch the Laughing Gas too,' said Michael.



## 2-18-日「ガチガチ訳」

動私はいつでも知った。ウィッグ氏,あなたは少しふつうではなかった。しかし、これは今空気中でお茶,あなたの友人たちといっしょに──ウィッグ氏,私はあなたに驚く/あなたの年齢の男/|

①「しかし、たぶんあなたもまた笑いガスをつかむでしょう」とマイケルが言った。

## 2-18-C「なめらか訳」

●私わかっておりました,ウィッグさん,あなたがちょっと変わった方だってことは。でもこれはまた――空中でお茶を,お友だちとごいっしょになんて――ウィッグさん,私はあなたにびっくりしておりますわ! あなたのような年配の方が!」

●「でも、あなただってきっと笑いガスを吸い込んじゃうよ」とマイケルが言いました。

### 2-16-D

# 日本語独特の言いまわしを英文を訳すときに生かそう

# But they saved her umbrella. (2-16-A 3)

they は「人々」、「そこにいた者たち」をさす。日本語で「世の中は」なんて言うところを、英語ではThey と置く。不特定の複数の人間は They で表わせる。「人がなんと言おうと」なんて言う場合だね。逆に英語でThey と出た時には、日本語では、例えば They said なら It was said に直して訳した方が、シックリする。ここでは「人々は彼女の傘を救った」とするより「彼女の傘は助かった」のだ、彼女自身は助からなかったのに、という意味合いを生かして、「傘の方だけ助かってしまった」とすると、一層おかしみが増す。

### 2-18-D

# I thought は会話の中で話の間をとるフレーズだ

# I thought. Mr. Wigg... (2-18-A 6)

I thought はこの場合「私は考えた」ではない。「あの、 ちょっと」といった感じで話しの間をもたせるもの。as も前からつなげて訳そう。

# Well, well, I never saw... never.... (2-18-A 6)

まあ、まあ、と驚いて、「私は決して見たことない…… 決して……」と、何を見たことがないのか、その「何を」 の表現にとまどっている様子。

# Point 38

# 五文型って いったい何なんだろう?

英文のしくみは三つの方向から考えられ 文型という考え方はそのうちの一つにしかすぎない。

五文型, 五文型と, この本で私はくりかえし言っていますし, 皆さんも学校の英文法の教科書で何回か習ったことでしょう。

五文型というのは、では一体、どういう考え方のことな のでしょうか。

この五文型理論というのは、オニオンス(C. T. Onions)というイギリスの学者が1932年に発表した論文によって、この世に誕生したものです。実は、日本の学校英語文法を支えている理論は、「ユプリスキニヌスの8品詞論という、品詞(word)分類法という古代ラテン文法以来の理論と、この②五文型理論と、③修飾・被修飾(関係詞、修飾語)という三つの教え方だけからできているのです。同じく日本語文法というのも、「上品詞分類法と②活用という考え方と③修飾・被修飾という三つの考え方の大きな柱からできているにすぎません。

世の中には、他にもっともっと、いろいろな考え方や理論があるのです。自分が知っているだけの理論とその枠の中だけで、この広大な世の中を勝手にわかったふりをするのは、たいへん、危険なことです。しかし、悲しいことに

人間という生き物は、自分のわかっていること以上のことは、なかなかわからないものです。その人よりも、少しだけ秀れた人が、いくら時間をかけて説明しても、わからない人にはわからないのです。そのとき、「自分にはわからないけど、きっと、他にも考え方というのはあるのだろう」と考えることが、よりよいことなのではないでしょうか。

さて、今日では、「五文型」というのは、ひとつの理論、 それもきわめて秀れた理論であることがみんなに認められています。しかしだからといって、それが、大学の文法学者の間でも通用しているというのではありません。ただ、 英語というよくわからない、「動きの激しい」コトバを、 なんとか「しくみ」にまで解剖してみようとした場合に、 このオニオンスという人の五文型論が、ピタッと来たのです。ここが、目のつけどころであったわけです。ですから、 私も一応、この五文型という使利な考え方に従って、皆さんに、「英文のしくみ」をあれこれ説明しているのです。

しかし、ここでもう少し、大切なことをお伝えしておきましょう。

「五文型」というのは、ある方向から見た場合の、英文の しくみの解剖ということに過ぎないのです。私の考えでは、 英文のしくみは、少なくとも三つの方向から観察しないと いけない。それは、

表現形	アスペクト aspect	現在形とか進行形とか	時間の流れ
文型	ケイス case	五文型に分けること	品詞分類学上の 語と詞のちがい
法	ムード mood	仮定法とか命令法とか	文章のつながり方

# この三つです。

五文型は、このひとつにすぎないのです。そして、「形」と「法」と「型」がちがうことを、もっとしっかり英語の 先生たちが皆さんに教えなければいけないのです。他にも、 「人称」「時制」「構造」などを基準にする考え方もある、 とだけここでは書いておきましょう(参考になる本として、 黒川泰男・早川勇・小山内洗者『英文法の新しい考え方学 び方』三友社出版、があります)。 • Miss Persimmon shook her head angrily.

**2**'I hope, young man,' she said sharply, 'I never do.

## I hope, young man,

hope は強い意志の表明。希望や皮肉をこめた否定,などを表す。ここでは、次の 'I never do' に続くので、「とんでもありません,おばあちゃま」という感じ。つまり、「あなたも笑いガスにやられるよ」というマイケルのコトバに対して I hope I never do. と強く否定している形。

3 I'm not going to bounce about in the air like a rubber ball.



# 2-19-B「ガチガチ訳」

- ●ミス・パーシモンは怒って 彼女の頭を振った。
- ②「私は希望します,若い人」 と彼女は鋭く言った。「私は 決してやらない。

③私はゴムボールみたいに、 空気中ではね上がらないで しょう。

# 2-19-C「なめらか訳」

- ●ミス・パーシモンは怒ったよう に首を振りました。
- ②「とんでもないことですわ、は っちゃん」彼女はきっぱりと言い ました。「私はごめんこうむります。

③空中でゴム風船みたいにはねま わるなんてまっぴらですよ。 **4** I'll stay on my feet, thank you, or my name's not Amy Persimmon, and ... oh dear, oh dear, oh dear... what is the matter?

thank you, or my name's not Amy Persimmon, 「そうでなければ私の名前はエイミー・パーシモンとはいかなくなるだろう」。足で立っている「私」の名前がエイミー・パーシモンなのであって、空中に浮かんだりしたら、それは違った名前を持った存在になってしまう。と彼女の論理では名前と存在が一致しているわけだ。

3 I can't walk, I'm going ... I ... oh, help, help!

6 Miss Persimmon tried very hard to keep her feet on the floor, but she couldn't.



4 私は私の足でとどまって いるでしょう。ありがとう。 または私の名前はエイミ ー・パーシモンではない. そして……おやまあ、おや まあ. おやまあ……何が問 題か?

- **5**私は歩けない。私は…… 私は……おお、たすけて、…あら、たすけて、たすけて!」 たすけてノー
- ⑤ミス・パーシモンは床の上 に両足を保つためにすごく 強く試みた。しかし、彼女 はできなかった。



●私は自分の足で立っております わ, せっかくですけど, そうでな いと、私の名前もエイミー・パー シモンとはいかなくなりますでし ょうし、それに……あらまあ、ま あ、まあ……何ですのこれ?

- ⑤歩けないわ、私、何を……私…
  - ●ミス・パーシモンは、床に足を つけていようとがんばっていまし たが、だめでした。

- **7** She rose through the air.
- 3 She was jumping from side to side, like a very thin doll, with the jug still in her hand.

**9** She was almost crying when she arrived at the table and put the jug down.

**①** 'Thank you,' said Mary Poppins in a cold, polite voice.



# 2-19-B「ガチガチ訳」

- ⑦彼女は空気を通って上がった。
- ❸彼女は側から側へ、非常に薄い人形のように、手の中にジャグを持ってジャンプしていた。
- ●彼女はそのテーブルに到着して、そのジャグを置いた時には、彼女はほとんど叫んでいた。
- ⑩「ありがとう」とメアリー・ポピンズは冷たく,上品な声で言った。



# 2-19-C「なめらか訳」

- ●彼女は空中に上がってしまいました。
- ●彼女は、あっちこっちにはねて しまいました。とてもやせた人形 みたいに、あいかわらず水差しを 手に持ったまま。
- ●彼女は、ほとんど泣き出さんば かりになりながら、テーブルにた どり着き、水差しを置きました。
- 「ありがとう」と、メアリー・ ポピンズは冷たくていちょうな口 調で言いました。

■ Miss Persimmon turned in the air and got down again with less difficulty.

### with less difficulty

「難なく、あまり困難なしに」空上への「舞い上がり」の方は あっちフラフラこっちフラフラしていたが、「くだり」の方は スッとおりてきた、という描写。

② She was saying over and over again to herself, 'Oh dear, how did that happen to me? At my age.... I've always been so careful.... I must see a doctor....'

### I must see a doctor....

see a doctor は「医者を見る」のではない。医者に会って「私」の方を「見せる」んだ。look もそうだが、see も「見る一見せる」の関係を分けないまま、一語の中に潜ませている。 文脈に応じて、それが一定の方向を与えられて現われてくる。



# 2-20-B 「ガチガチ訳」

●ミス・パーシモンは空気中で向きを変えて、そしてより少しの困難と共にふたたび降り立った。

②彼女は何度も何度もふたたび自分自身に言っていた。 「おおまあ、あれがいかにして私に起きたのか? 私の年で。……私はいつでもたいそう用心深い……私は医者にかからなければならない……」



# 2-20-C 「なめらか訳」

●ミス・パーシモンは空中で向きを変えて、今度は難なく下に降りました。

●彼女は何度も繰りかえしひとり ごとを言いつづけていました。「あ らまあ、私いったいどうなっちゃ ったのかしら? この年で……ず っとあんなに慎重にしてきたとい うのに……お医者さんに行かなく てはいけないわ……」

- When she touched the floor she ran out of the room.
- 'Her name can't be Amy Persimmon, because she didn't stay on her feet,' said Jane to Michael.

But Mr. Wigg's eyes were on Mary Poppins, and he did not look very happy.

Mary, Mary, really you ought not..... That poor old woman will never get over it.



- 3 彼女は床についたとき、 部屋から走り出た。
- ▲ 「彼女の名前はエイミ ー・パーシモンであること はできない。なぜならば彼 女の足の上にとどまらなか った」とジェインはマイケ ルに言った。
- ⑤しかしウィッグ氏の眼はメ アリー・ポピンズの上にあ った、そして彼は非常に、 幸福そうには見えなかった。
- **6** 「メアリー、メアリーあな たはほんとうにすべきでは なかった。……あの気の毒 な年老いた女性は、これを 決して回復しない。

## 2-20-C 「なめらか訳」

- ●床に足がつくなり、ミス・パー シモンは部屋から飛び出して行き 主した。
- ●「あの人の名前、エイミー・パ ーシモンじゃないかもしれないわ ね。だってさ、「あんなに言ったの に] 自分の足で立ってられなかっ たもん | とジェインがマイケルに 言いました。
- ●でも、ウィッグさんはメアリ ー・ポピンズをじっとにらんで. あまり嬉しそうではありません。
- ⑤「メアリー、メアリー、実際、 あんなことして……。かわいそう にあのご婦人はショックから立ち 直れないかもしれないよ。

• But oh, didn't she look funny when she rose up through the air like that? Oh dear, she was very funny!'

8 And he laughed and laughed.



- ●しかしおお、彼女はあのよ うに空気中を通って上がっ た時に、変に見えなかった か? おやまあ、彼女はす ごく変だった /
- 8そして彼は笑いに笑った。

- ●でもねえ、おかしかったね、あ の人があんな風に空中に上がった 時ねぇ? いや、まあ、ほんとに おかしかったね!
- ⑥そしてウィッグさんは「また〕 笑いに笑ったのでした。

# **1** IT IS TIME TO GO HOME!

- 2 Mary Poppins' voice cut into the laughter like a knife.
- **3** And suddenly Jane, and Michael, and Mr. Wigg came down.

Jane, and Michael and Mr. Wigg came down.

前に出てきた go home と、この come down はちょっとむずかしい。基本として、go は現在いる場所から離れて行くという動き、come はどこかへ近づいて行く動きを示す。go home は今いるここから離れて家へ行く $\rightarrow$ 「帰る」。come down は下の床に近づいて行く $\rightarrow$ 「落ちる」だ。

4 They landed on the floor with a bang, all together.



- **●**「それは帰るための時間で す/
- は、ナイフのようにその笑 :: いを、切った。
- ③そして突然、ジェイン、: ●すると突然、ジェインとマイケ マイケルそしてウィッグ氏 は落ちてきた。

バンと音をたてて床に着陸 した。



- ●「もうお家に帰る時間ですよ!」
- ②メアリー・ポピンズの声 ② [と, その時] メアリー・ポピ ンズの声が笑い声をナイフのよう に切ってしまいました。
  - ... ル、そしてウィッグさんは落っこ ち始めました。

床につきました。

**6** Mary Poppins' words gave them the first sad thought of the afternoon, and the Laughing Gas went out of them at once.

**6** But Mary Poppins came down through the air slowly.

• She was carrying Jane's coat and hat in her hands.

Mr. Wigg said, 'I never enjoyed an afternoon so much — did you?'

9'Never,' said Michael.



# 2-21-B「ガチガチ訳」

- ⑤メアリー・ポピンズの言葉は、その午後で初めての悲しさを彼らに与え、そして笑いガスはすぐに彼らから抜けて行った。
- ⑤しかし、メアリー・ポピン ズは空気中をゆっくりと降 りてきた。
- ●彼女は彼女の手の中にジェインのコートと帽子を運んでいた。
- ⑤ウィッグ氏は言った。「私は一つの午後をそんなにたくさん楽しんだことは決してなかった──あなたたちは?」
- ⑨「決して」とマイケルは言った。



# 2-21-C「なめらか訳」

- ●メアリー・ポピンズの言葉で、 三人は、その午後初めて悲しい気 持ちになって、笑いガスがいっぺ んに抜けてしまったのでした。
- ⑥けれど、メアリー・ポピンズは ゆっくりと空中を降りてきました。
- ●ジェインのコートと帽子を手に 持って。
- ●ウィッグさんが言いました。「私 はこんなに楽しい午後をすごした ことはないよ――君たちは?」

●「本当ですね」とマイケルは言いました。

**(1)** It was very unexciting to be on the floor again, with no Laughing Gas inside him.

It was very unexciting to be on the floor....

It ~ to ~ の構文。否定の意味を含んだ形容詞 unexciting を very で強めるという形。「まるで興ざめ」、「床の上にいること」 なんて。ここの un や in 、その他の接頭辞は、動詞の意味を広げる 働きをしている。 つまり、前置詞や副詞と同じような働きを持って いると言えるわけだ。

**1** 'Never, never,' said Jane.

Pack She kissed Mr.Wigg's apple-red face. 'Never, never, never....'



# 2-21-B「ガチガチ訳」

●それは、彼の中の笑いガスがないのといっしょにふたたび床の上にいることは、非常に興奮的でなかった。

- ●「決して,決して」とジェインが言った。
- ❷彼女はウィッグ氏のリンゴの赤の頬にキスした。「決して,決して,決して……」



# (2-21-C「なめらか訳」

●また床についているなんてまるで興ざめでした。もう笑いガスは抜けてしまったし。

- ●「本当だわ」とジェインは言いました。
- ●彼女はウィッグさんの真っ赤なほっぺにキスをしました。「本当, 本当,本当よ……」

### 2-19-D

be on one's feet で「立っている」という表現

I'll stay on my feet, (2-19-A4)

「私は立ったままでいます」「足で立っているだけで結構です」空中に浮きたくはない、という意思表示。be on one's feetで「立っている」。存在が足に「ついて」いる、といった語感かな。日本語だと「地についている」というところか。

### 2-20-D

again は「ふたたび」と訳すより 「今度は」と訳した方が感じがでる

Miss Persimmon turned in the air and got down again with less difficulty. (2-20-A ●)

ミス・パーシモンは、空中で向きを変えて、「今度は難なく下へ降りました」。again は前の rise up に対応して言われているので日本語の語感としては、「再び」というと同一の動作の反復が想像されてちょっとズレる。英語の方では、「のぼる」も「降りる」も動作にはちがいなく、副詞の up, down でしか違いが表わされないような同一の動作として示されるので、again でいいのだが、日本語では「今度は」と、「降りる」方は別の動作としてあつかう必要がある。

can'tにはmustの否定、may notの意味がただよう

Her name can't be Amy Persimmon, because... (2-20-A 4)

この can't は、「~に違いない」の must の否定「~であるはずがない」。あるいは may not の「~ないかもしれない」を含む。because「だって、彼女は足で立ってられなかったから」、そうでなければパーシモンの名がすたると見栄を張っていたんだから。

### 2-21-D

第四文型を使ってちょっと気分を出した言い方をする

Mary Poppins' words gave them the first sad thought of the afternoon, ... at once. (2-21-A 6)

「メアリー・ポピンズの言葉が、その午後初めての悲しい思いを彼らに与えた」これは第四文型 (S+V+O+O)。 ちょっと気分を出した言い方だ。普通にやると、She made them sad by her words first in the afternoon. 「彼女は、その言葉で、その午後初めて、彼らを悲しませた」。 at once は「いっぺんに」。

英語では yes (肯定), no (否定) の表現がはっきりとしている

'I never enjoyed an afternoon so much—did you?'
(2-21-A 3)

「こんなにもおおいに午後を楽しんだことはない」。この

enjoyは「楽しむ」という便利な動詞。I enjoy myself in the afternoon. が、裏に見える。

neverは何度も出てきてわかったと思うが、こうした用法では、「~しない」ではなくて、「~したことはない」というふうに、個々の動詞の部分だけを否定するのではなく、動詞以下の構文全体をいったん呈示して、それをまとめて否定するような働きをする。

an afternoon が an となっているのは、「完全な午後」の意味。それ自体で欠けるところのない、という意味のa、anの用法だ。ここは「私はこんなに楽しい午後をすごしたことはない」としていい。——did you?「君たちはどうだった?」「ふーんそうだったの」というあいづちの意味も入っている。

# Never, (2-21-A 9)

「ないよ」。質問者と同様、「こんな楽しい午後をすごしたことはない」という答え。ここでYesと言うと「もっと楽しい経験があった」という答えになる。日本語だと「うん、なかった」となって、英語と逆になるというふうに一応言われているやつだ。だが、日本語の「はい」「いいえ」はYes、Noの肯定、否定とはそもそも違った働きをする言葉で、極端に言えば、日本語では「はい」「いいえ」なしで受け答えをすませることができる。ここの例で言えば、「うん(はい)ないよ(ないです)」でも「いいえ(いや)ないです(ないよ)」でもどちらでも同じ。「ない」という動詞の方さえはっきりしていれば、「はい」「いいえ」は、とにかく答えるという意志を表すだけで、英語のように論

381

理上の決定力を持たない。現在、日本語でも英語のYes、Noに対応した「はい」「いいえ」を使う人がでてきているのも、そもそも日本語の「はい」「いいえ」は、文の構造を決するような位置を持っていなかったからだ。日本語もしだいに、英語流の「はい」「いいえ」に統一されつつある。ここは「ないよ」と動詞を出しておけば間違いない。

# Point 39

# 動詞の後についた upやonやoffは前置詞じゃない!

テキストのページにいくども出てくる up や on や out というような,何だか動詞のあとにくるふろくのようなコトバたちは「副詞」です。これを前置詞だと思っていた人はすぐに考えをかえて下さい。

これらの shake off, fall off, rose up, turned round のように使われるコトバたちは、外国人である私たち日本人には、よくわかりません。なぜ up なのか、なぜ off なのか、ということは、「その場の情景からそうなっている」という言い方と、「おしゃべり英語そのものの使い方」としか言いようがありません。こんなものまで「熟語として覚えよう」と言いだす先生たちもいますから気をつけて下さい。ほら、あるでしょう「7up」という名のドリンクが。その他にも show up nighter という変な日本語英語などが、あの up なのですよ。

• In the bus on the way home they sat on either side of Mary Poppins.

In the bus on the way home .....

いかにも英語らしい表現。前置詞二つと名詞二つ、それに 副詞一つで「家に帰る途中のバスの中で」を表わしてしまう。 日本語では、どうやっても「帰る」という動詞を入れないと、 文章にならないところだが。

- 2 They were both very quiet.
- Then Michael said sleeply to Mary Poppins, 'How often does your Uncle get like that?'

How often does your Uncle get like that? get は do, あるいは be 。 be like that だと, be full of Laughing Gas の代用とも考えられる。 do like that 「あんなことをする」なら、この午後のウィッグ叔父さんの振るまいの全体を指す。 How often は「どんなにしばしば」ではないよ。「しょっちゅう、あんなふうなの?」



# 2-22-B「ガチガチ訳」

●家に帰る途中のバスの中で、彼らはメアリー・ポピンズのどちらかの側に座りました。

- ②彼らは両者とも非常に静かだった。
- ③それからマイケルは眠そうにメアリー・ポピンズに言いました。「いかにしばしばあなたの叔父さんは、あのようになるのか?」



# 2-22-C「なめらか訳」

●帰りのバスの中で二人はメアリー・ポピンズの両側に座っていました。

- ②二人ともとても静かでした。
- ●それからマイケルは眠そうにメ
  アリー・ポピンズに言いました。
  「叔父さんはしょっちゅうあんな風
  にしてるの?」

4 'Like what?' said Mary Poppins sharply.

### Like what?

質問の中の like that を受けて、「あんなことって、どんなこと?」 あるいは「あんなふうって、どんなふうのこと?」と聞き返している。

- **5** She was very angry at Michael's question.
- **6** Well, all laughing and bouncy and going up in the air.'
- 'Up in the air!' Mary Poppins' voice was high and angry 'What do you mean—up in the air?'



▲「何のように?」メアリ ー・ポピンズは鋭く言った。

- **5**彼女はマイケルの質問に 非常に腹を立てた。
- 6 「そう空気中でのすべての 笑いと、飛びはねと上がり 21
- ⑦「空気中に上がって」メア リー・ポピンズの声は高く そして怒っていた。「空気中 に上がった――あなたは何 を意味するか? |

●「どんなふうに?」とメアリ ー・ポピンズはピシャッと言いま した。

- ■彼女はマイケルの質問にとても 腹を立てたのです。
- ⑥「だから、笑いっぱなしで、は ねまわって、空中に浮かんでし
- ●「空中に浮かぶですって!」メ アリー・ポピンズの声は怒ってい るようでした。「何を言ってるの--一空中に浮くなんて? |

- 1 Jane tried to make her understand.
- ②'Michael means—is your Uncle often full of Laughing Gas? Does he often bounce about the ceiling?'

**3** 'Bounce about the ceiling! Bounce about the ceiling! You'll tell me next that he's a balloon.'

- 4 Mary Poppins sniffed loudly.
- 6'But he did!' said Michael.

'But he did!'said Michael.

こういう場合、日本語としては「彼はやった」では通らない。「でも、そうだったんだ」というふうに、主語を落として、状況の方を 漠然とさした方がわかりやすいのだ。日本語っておもしろい言葉 だよね。



- ●ジェインは彼女に理解さ せようと試みた。
- 2 「マイケルは意味する ――あなたの叔父さんはし ばしば笑いガスでいっぱい になるのか? 彼はしばし ば天井のあたりを飛びはね るのか?し
- ③ 「天井を飛びはねる / 天 井を飛びはねる!あなたは 私に次には彼は風船である ことを聞くでしょう?」
- 444567787889899899 な音で鼻をすすった。
- ⑤「しかし彼はした」とマー イケルが言った。



# 2-23-C「なめらか訳」

- ●ジェインはなんとかわかっても らおうとしました。
- 「マイケルは聞いたのよ――あ なたの叔父さんはよく笑いガスで いっぱいになるの? 叔父さんは よく天井ではねまわるのかしら?」

- ▲ 「天井ではねまわるですって! 天井ではねまわるですって!こん どはあなたたち。私の叔父さんは 風船だって言い出すんでしょ!
- ▲メアリー・ポピンズは音をたて て鼻をすすりました。
- ■「でもそうだもん」とマイケル は言いました。

- 6'We saw him.'
- What? Bounce like a rubber ball? What do you mean?

**8** My Uncle is a good, hard-working man, and you must speak politely about him.

you must speak politely,

この must は義務というより、話者の相手に対する強い意志 ほとんど命令として働いている。

And don't bite your bus—ticket! My Uncle—bouncing like a balloon!'



- ⑥「私たちは彼を見た」
- 「何を? ゴム・ボール みたいに飛びはねること? 何をあなたは意味するか?
- 8私の叔父さんは良くて、よ く働く人で、そしてあなた は彼については上品に話さ なければいけない。

母そして、バスの切符をかむ な / 私の叔父さん――風船 のように飛びはねていた!」



- 「ぼくら見たもん」
- ●「何を? ゴム風船みたいには ねかえるのを? 何を言っている んです?
- ❸私の叔父さんは立派な、働き者 ですよ、叔父さんのことは礼儀正 しくお話しなさい。

母それから、バスの切符をかんで はいけません! 私の叔父をはね まわる風船だなんて!

Michael and Jane looked across Mary Poppins at each other, and said nothing.

Michael and Jane looked across Mary Popins at each other.

メアリー・ポピンズがまん中にいて、両側にマイケルとジェイン。「二人はメアリー・ポピンズ越しに、互いに顔を見合わせ」たわけだ。間に何かがあって、それを「越して」あるいはその「向ごうへ」を示すのが across.

They knew now to leave Mary Poppins alone when she spoke like that.

They knew now to leave Mary Poppins alone.

この to 不定詞は know の目的語の位置にあるので、want to ~の形と基本は同じ。つまり to 以下のことを知っていた、となる。ただし、意味としては be + to 不定詞「すべき」「することになっている」、あるいは have to ~「しなければならない」の特殊用法に準ずる使い方をしているので、ちょっとわかりにくい。ここは、They knew that they were to (had to) leave ~を、縮めてしまった形と考えればいいだろう。



# 2-24-B「カチガチ訳」

●マイケルとジェインはお 互いにメアリー・ポピンズ を横切って見て、そして何 も言わなかった。

②彼らは今,彼女があのように話した時は,メアリー・ポピンズを一人でそのままにしておくことを知った。



# 2-24-C (2051)R

●マイケルとジェインは、メアリー・ポピンズ越しに、たがいに顔を見合わせましたが、何も言いましたでした。

②二人にはもうわかっていたのです、メアリー・ポピンズがこんな ふうに話す時にはほうっておくしかないと。 3 But their eyes said to one another, 'Is it true or isn't it? About Mr. Wigg. Is Mary Poppins right, or are we?'

**4** But there was no one to give them an answer to *that* question.

**6** And soon, because they were very tired, they crept closer to Mary Poppins and fell asleep, still wondering....

They crept closer to......

creep は「はう」。ここでは「からみつく」意味の方だ。 closer to 「より密藩して」つまり「よりかかって」。



# 2-24-B「ガチガチ訳」

- **③**しかし、彼らの眼は一人からもう一人に言った。「それは本当か、あるいは本当でないか? ウィッグ氏について。メアリー・ポピンズは正しいのか、それとも私たちが正しいか?」
- ●しかし、あの質問に対する解答を彼らに与える人はいなかった。
- 動そしてすぐに、なぜなら 彼らは疲れていたので彼ら はメアリー・ポピンズによ り近づきすり寄ってそして、 眠りにおちた、いぜんとし て不思議に思いながら……。

# 2-24-C「なめらか訳」

- ●でも、二人は目で話し合いました。「ほんとかな、それともそうじゃないのかな? ウィッグさんのこと。メアリー・ポピンズが正しいのかな、それともほくたちの方?」
- ●でも、この質問に答えてくれる 人が一人もいないのです。
- ●そしてしばらくすると、とても 疲れていた二人は、メアリー・ポ ピンズによりかかって、眠り込ん でしまいました。あいかわらずい ぶかしく思いながら……。

### 2-22-D

名詞化された表現は「~したこと」という形で訳す

'Well, all laughing and bouncy and going up in the air.'
(2-22-A 6)

Well,は「つまり、だから、ええと」といった感じ。all laughing以下、すべて名詞化した表現。日本語だと「~したこと」という形。「笑いどおしだったこと、はねまわっていたこと、空中に上がったこと」。ただ、ここはもう眠くなったマイケルが思いつくまま言っているセリフというところなので、「~して、~て、~で」とやった方が感じがつかめる。

'What do you mean—up in the air?' (2-22-A **②**) 「どういう意味 -空中でとは?」よりここは「何を言ってるんですか」という叱責の感じにした方がいいところ。

# 2-23-D

第五文型と複文に書き換えてみるとわかりやすい

# Jane tried to make her understand. (2-23-A 1)

try toの方はいいとして、make her understand はいわゆる第五文型というやつで、make + 人間目的語 + 動詞の原形からなる。これは Jane make that Mary Poppins (should) understand it の複文の形に変えて考えることもできる。「ジェインは、メアリー・ポピンズがそのことを理解するように、する」。あるいは、Jane make that it

was understood by Mary Poppins 「ジェインは、それが メアリー・ポピンズによって理解されるようにする」。こ の二つの形をあいまいに両方含むのが第五文型なわけだ。 ふつう. make her understand は make her to understand. 「考えることを、彼女にさせる」の to が脱落して 原形の動詞がくるようになった、と説明されるが、複文の 二つの形が両方とも含まれるので、原形の動詞がくる、と 考えた方が自然だろう。

Imean 以下の文は肯定文が導かれる ■ダッシュをおくことで疑問文も引かれる

Michael means—is your Uncle often full of Laughing Gas? (2-23-A 2)

「マイケルが言いたかったのは」として、ダッシュで疑問 文をつないでいる形。ふつう mean と置くと、以下の文は 肯定文になるので、ダッシュをおくことで疑問文を次にも ってこられるようにしている。だから Michael means は 「マイケルがたずねたかったのはね」つまり、ダッシュ以 下の質問だった、ととらえる方がいい。ようするに、ここ では、Michael wants to ask you if your uncle is often full of Laughing Gas, and often bounces about the ceiling. という内容を、ふつうの疑問形にしないで言うときに Is he right?にI wonderをつけるとI wonder if he is right となって、ふつうの文の形のままで疑問文となる。



# 文庫版のためのあとがき

日本の英語教科書は高校一年生にあがるところで急に難しくなります。中学生の教科書はうしろの方が単語集になっていて、その単語さえ知っていれば簡単な英文は読めるということになっていました。ところが高校に入ると、英語の基礎事項は中学で習得したもの、と見なされて内容がどんどん難しくなってゆくのです。そして、私たちの多くは、じつはその基礎事項が理解できないまま高校生になってしまったのです。だから、「基礎ができていない」と言われても、その基礎とはいったい何なのかがわからないでポカンとしてしまいます。高校生になった私は、中学校の教科書をやり直そうと何度か思ったことがあります。でも、どこをどうやればよいのかついにわかりませんでした。

ふつうの日本人にとって最良の英語勉強法は、今でも、やっぱりNHK ラジオの英語講座を毎日聞くことだと思います。日本の英語秀才たちのほとんどは、中学生の時にNHK ラジオに毎日かじりついて上達した人たちなのです。しかし、この国で最良の先生たちによるラジオの授業でもまだ欠けているものがあります。英文の読み方と根本的な文法規則についての教え方において伝統的な硬直が見られるからです。そこで、この本では、私は私なりのわかりやすい英文の読み方のくふうをしてみました。

私の尊敬する哲学者のヴィトゲンシュタインという人は若い頃オーストリアの田舎の小学校の先生をしながら『国民学校のためのコトバ集』という本を書いています。その本には、オーストリアの子供たちにとって必要な日常単語が丁寧な解説付きで集めてあります。基本的なコトバをやさしく説明することを私はこの本でうまくできることを目指しました。

別冊宝島49号『道具としての英語―基礎の基礎』を改訂したものです。 本書は、一九八五年十月に小社より刊行された



# 道具としての英語 基礎の基礎(どうぐとしてのえいご きそのきそ)

1999年12月9日 第1刷発行

編著者 副島隆彦

発行人 蓮見清一

発行所 株式会社 宝島社

〒102-8388 東京都千代田区一番町25

電話:営業部 03(3234)4621 編集部 03(3234)3692

振替: 00170-1-170829 (株)宝島社

印刷·製本 図書印刷株式会社

乱丁・落丁本はお取替いたします Copyright © 1999 by Takahiko Soejima First published 1985 by Takarajimasha, Inc. All rights reserved Printed and bound in Japan ISBN4-7966-1650-0

# 1月の新刊

別冊宝島編集部 

別冊宝島編集部◎編

定価:本体562円+税

定価:本体600円+税

http://www.takarajimasha.co.jp/ 完品社

定価:本体600円+税 富永俊治◎著

+税

別冊宝島編

集部

〇編

定価

本体600円

別冊宝島編集部◎編

定価:本体562円+税

野田峯雄◎著

定価

本体600円+税

定価:本体600円

+税

別冊宝島編集部◎編

別冊宝島編集部

定価

本体562円

+税

別冊宝島編集部◎編

定価:本体562円+税



Cの福音 輸周平

クーデター 楡 周平

猛禽の宴

精神病を知る本別冊宝島編集部編

本物の心理テスト 12 津田秀樹 編・著

「陰謀」大全 別冊宝島編集部編

口説きの理論 麻生カイコ+NAMPAの鉄人

目からウロコの漢字問題 津田秀樹 編・著

発明成金 別冊宝島編集部編

伝染る「怖い話」 別冊宝島編集部編

音楽誌が書かない「Jポップ」批評 別冊宝島編集部編

> ザ・風俗嬢 別冊宝島編集部 編

この本のテキストは『メアリー・ポピンズ』の楽しい物語。たったの900語で書かれています。辞書を必要とするような単語は使われていません。それなのに、中学、高校の英語教育では、この物語をきちんと読めるようにはならないのです。それは、どうしてなのでしょうか? この本は、本当に役に立つ英語の勉強がしたい人のために作られ、多くの読者を得たロングセラーの符望の文庫版です。





1920182005626

定価: 本体562円 +税



ISBN4-7966-1650-0 CO182 ¥562E